

THE ARUN CHRONICLES · 60

ARUN RPG

世界がまだ私たちの名前を呼ぶとき



日本語版

arunrpg.com

読者の皆様へ

世界はその人を敗者、失敗者、変人、またはここには属さないものと呼ぶかもしれません。しかし、世界が与えた名前が人生の最後の言葉である必要はありません。

この本は、オリジナルの 10 クラスのキャラクターと 50 の新しいコンセプトのキャラクターを組み合わせた、ARUN RPG の新しい創造的なストーリーの世界です。同じストーリーラインの中で、誰もが名前、歴史、関係、武器、力、制限を与えられます。物語は戦いの前から進みます。アイデンティティを変える決断を経て、あなたがアルン連合とともに立つことを選択するその日まで。

そのルックの一部は、多くの文化の芸術、物語、伝説からインスピレーションを得ています。出典を尊重することでこの本の登場人物は名前を付けて新しい物語を書く架空の人々です。それは信仰を語るものでも、自分が神であると主張するものでもありません。聖なる人物、または実在の伝説上の人物 物語の中の力やルールはこの架空の世界の一部です。

最初の 10 クラスは、ゲームの Web サイトで入手可能なクラス名とキャラクター画像を参照しています。人名や伝記はすべて新規のストーリー案です。書籍に登場する力、武器、イベントを含む 50 人の新しいキャラクター これは、すべてがゲームでプレイできることを確認する発表ではありません。

各章にはキャラクター紹介ページと完全な起源の物語が含まれています。最後にはチームアップイベントやアニメのさらなる展開に向けた情報も掲載。物語の方向性が明らかになります。歴史だけを追いたい読者は、登場人物の章を自由に閲覧してください。後で接続を見つけるために戻る前に

この本の中で、美しい武器を持っているという理由だけで戦闘機になる権利を獲得した人は一人もいません。彼らは自分のエネルギーを何に使うかを選択しなければなりません。あなたには何の責任がありますか?そして誰もが彼らの隣を歩くことを許可します。これは、そもそも立つ場所を用意できなかった人々の物語です。しかし、他の人がそう簡単に押しのけられないような空間を作るために一緒に働きましょう。

第一章 — 世界から人口が減った夜。

雷が鳴る前に、鐘が不規則に三回鳴りました。

少年アランは、父親が触ることを禁じている時計に歯車を入れようとしている。彼はそれをテーブルの下に落として、かがみました。そのため、窓から差し込む白い光は見えませんでした。彼が覚えているのは、ガラスが割れる音と、シャツの襟を引き上げる大きな手だけだった。ボールが頭上に落ち、全世界が濡れた鉄の匂いに変わる前に。

「シャツの裾をつかんでください」とお父さんが言いました。「手が滑ったら、名前を呼んでください。ただ助けを呼ばないでください。」

その命令はとても奇妙に聞こえたので、子供は恐怖よりもそれをよく覚えていました。橋の上の人々は一斉に助けを求めた。非常に多くの音が互いに衝突し、どこから聞こえてくるのか誰も分かりませんでした。でも、誰かが誰かの名前を呼ぶとき、必ず片方の顔が向きます。

多くのルートはアルン村から遠く離れています。機能を停止した実験用ドアの前に、ネラムという青年が立っていた。彼の手には血まみれの旅行者の帳簿があった。彼は登録簿に携わっており、この数字が人々が公平な分配を受けるのに役立つと信じています。今夜、アカウントの数字とドアを通過する人の数は一致しません。彼の妻は見えない側にいます。通信端末からの音声は残高確認の有無のみを尋ねます。

ネラムは、タイミングをコントロールせずにドアを開けた場合、双方が噴火の矢面に立つ可能性があることを知っていました。彼は、本当の数字を調べるためにもう少し待ってほしいと言いました。しかし、各チェックポイントからの情報は一致しません。名前の綴りは異なります。旅行者は書類を持っていません。そして、将校の中には、自分が見たものではなく、指揮官が望む金額を記入した人もいた。

彼が選択する前にドアが閉まった。通信機のライトが消え、不明とマークされたフィールドの1つに妻の名前が表示されました。ネラムは長年にわたって毎晩そのチャンネルを読んでいました。決定的に間違っているものよりも、答えのないものを嫌いになるまでは。

彼は有識者を集め、都市間の援助ネットワークからホワイト・アザラシ連合を創設した。彼らの最初の仕事は、医薬品の手配、ドアの修理、行方不明者の追跡など、まさに命を救うものでした。ホワイトシールが米と毛布とともに到着したため、人々はホワイトシールを信頼しました。しかし、混乱を防ぐための規制が次々と、誰がそれらに値するかの条件になりました。

システムが名前を読み取れなかった人は待機するよう命じられた。フォームのフィールドと一致しない数値を持つものは、さらなる検査のために送られます。質問者は救助が遅れたため呼び出されました。ネラムは目覚めて世界に害を与えたわけではありません。彼は一部の人が苦しむことを許しただけです。そのため、彼らが支配している世界の一部分が年々確実になっているように思えます。

18年後、父が戻らなかった橋の上で、アランは剣を持って立ち、同じ連合から賃金を受け取っている。彼は、すべてを理解するよう求められる可哀想な男であることにうんざりしていた。他人の命を奪うことなく、命令通りに仕事をやり遂げるつもりだ。

すると女の子が壊れた時計を彼の前に置きました。おばあちゃんのパスと交換したいのですが。

時計はもう動いていません。検問所では何も買えるほどの値段ではなかった。隠された力は何もなく、それはアランに、人々のために価値のないものを修理した人々の手を思い出させた

けです。彼は子供を見て、ドアを見て、今夜自分が立っているのは、いつか子供が一生忘れることのない場所に立っていることに気づきました。

預言の声が選ばれし者を告げたから世界が変わったのではありません。一人の男が給料を返還したとき、世界は変わり始めた。出入り口に身を置きます。とその場にいた9人を振り向かせる言葉を発した。

「まだ力があるのは誰だ？まずはここで助け合おう。」

夜明け前、橋はまだ未完成でした。行方不明者全員はまだ戻っていない。そして首都からの命令は今も続いている。しかし、時計店のテーブルの上で本が開かれました。生存者はランタンを持った女性に自分の名前を書き始めた。自分の人生の価値を数字で書くことを強制する枠はありません。

これは闇が打ち破られた夜ではなかった。人々がお互いの名前を思い出し始めているのが闇の中でわかった夜だった。

雷雨の夜の後の世界

サンダーの夜は、この本のタイムラインのゼロ年における大きな亀裂でした。領域と電力層の間の通路が損傷しています。一部地域では条件が変更となっております。形を変えてしまう命もあれば、失われる人もいます。変容は、影響を受けた人の善性、悪性、または価値を示すものではありません。

メインワールドはアルン村、月の谷、火の石の国、冬の峰、千年翡翠の森、太陽のオアシスを繋いでいます。光る霧の池コーラル諸島、ライトニングシティ遺跡、そしてパープルスター王国物語に出てくるゴーストタウンとしてはルートと登録が一致しない辺境の地域である。Shadow Moving HouseやSi Fak Gate Stationなどのマイナーな場所。それはフィクションの世界の延長です。これは、現在のゲーム内マップの状態を確認するものではありません。

絆とは、空が壊れた後、身体、精神、物体、環境が力とつながるときに発生する能力です。重要な選択を行うことで、ユーザーはその力を理解したり、解放したりできる可能性があります。しかし、善は自動車の燃料ではありません。ユーザーは引き続きトレーニングし、限界を確認し、アクションの結果を受け取る必要があります。権力は所有者の善悪を決めるものではありません。

権力は無限の資源を生み出すわけではありません。熱を逃がす必要があります。水は特定の水源地から来ている必要があります。回復中の体には食べ物が必要です。保護には限界があり、疲れは休まなければなりません。したがって、魔法は協力をより意味のあるものにします。むしろ、普通のスキルが無価値になってしまいます。

エコーとは、音、感情、またはイベントの後に残される部分です。人全体と同等ではないリスニングには境界を尊重する必要があります。この本の登場人物は誰も望みどおりに故人を連れ

戻したり、証拠なしに行方不明者がまだ生きていると証明したりしません。

ホワイトシール連盟は、支援を志す人々が参加する組織です。習慣に従う人 職を失うことを恐れている人、およびシステムのユーザーがそれを利用する 企業の不正行為と闘っても、自動的にすべてのメンバーが敵になるわけではありません。統一戦線は人々を指揮から切り離し、陣営を変えた人々が検証可能な方法で証言できるようにしなければならない。

センタースタンピングマシンは、Acharlekha Neram のプロジェクトでした。ゲートと電源ネットワークが中央レジスターを 1 つだけ受け入れるように設計されています。それは人々を現実から排除するものではありません。しかし、基準を満たさない人々は、旅行し、電力を受け取り、重要な構造物にアクセスする権利を剥奪されます。このドアに命がかかっているとき アカウントから削除されることは命を脅かすことになります。

アルン同盟は、アルン橋の返還後に生き残った人々によって結成されました。ルートを開く責任があります。人々が逃げる原因を解決するために、放棄された人々を助け、証拠を保存してください。メンバーは同じ武器や同じ信念を持つ必要はありません。ただし、リスクを明らかにし、拒否を受け入れ、注文を確認する必要があります。そしてグループのイメージを保つために被害者に許しを求めないでください。

共有タイムライン

0年目 — 空が裂けた夜、地域中の門が被害を受けた。一部の能力や見た目が変化します。行方不明者の数についてはまだ結論が出ていない。その夜、アランは7歳になった。

1 年目から 17 年目 — ホワイト アザラシ連合は補助単位から登録および交通管理単位に成長します。コミュニティの回復は不均一である 各キャラクターには、この時期に独自の生活、訓練、葛藤があります。物語は、全員が雷から生まれるのか、それとも全員が同じ年齢なのかを決定しません。

18 年目 — アルン橋の帰還。本来の職業に就いている 10 人のキャラクターが、通行を拒否された人々を助けます。イベント後、彼らはアルンフロントを結成した。生存者の本を開いて実験ゲートルートの探索を開始

19 年目 — 道を切り開き、コミュニティを支援し、電力制御システムを監視するという使命。新しいメンバー 11 ~ 32 を連合に接続します。多くの人が、家を修復したり、過去の問題を償ったりするために戻るという重荷を負っています。したがって、いつも同じ電車に乗らないでください

20 年目 — センタースタンブ機の証拠が明らかになりました。新しいメンバー 33 ~ 60 人は、海、山、端の都市、オアシスを結ぶミッションを通じて参加します。1 年以内のイベントは積み重ねることができます。リストされているミッション参加者と一致するように適応されたエピソードを順序付けることによって。

20 年後半 — 60 人のメンバーがシャドウ ハウスに集まりました。一緒に大きなミッションを始めることを決める前に この出来事は本のエピローグにあります。センタースタンピングマシンプロジェクトの終了と行方不明者問題への答えは、今後も展開される予定です。

ARUN RPG・01 / 60



アラン・ヴェララック

アラン・ヴェララック・AR-001

役割: 暁の剣士

故郷: アルン村

武器: 最後の朝の剣

能力: 打撃の力を刃で受け止め、光の線となって道を切り開く。

制約: わずか3ストロークで力を保持できる 限界を超えると骨折を引き起こす。

加入年: 18

ドアが開くまで立っていた人

アランは子供の頃、すべての時計には心臓があると信じていました。家が静かになるたびに、お父さんはそれを耳に当てていたからです。それから彼は、あたかも病人を慰めるかのよう
に、心の中の小さなものたちに話しかけました。彼らの店はアルン村の橋頭堡にあります。お
金のある人は小銭で支払います。お米で支払うお金がない人。父は借金をすべて書き留めまし
た。しかし、要求に行ったことはありません アランは、他人のために時間をかけて修理する店
のことを理解していません なぜ自分の屋根を修理するのに十分な時間がないのですか？

彼が7歳のとき、夜が来た。鐘が間違った順番で鳴った。空の真ん中に暗い線が現れる前に。橋
に向かって走ってくる人々 父親はコートを着て、横木を持ち上げるのを手伝うために外に出
た。アランは二枚の木の間に父親の手を見た。ナッツの亀裂に血が流れ込むのが見えました。
しかし、父が助けてくれた人々の顔は誰一人思い出せません。朝パトロール隊が到着すると、

死亡者リストに父の名前はなかった。したがって当局は補償を拒否した。あたかも、死が起こる前に死を許可しなければならないかのようです。

アランは父親が返さなかったシャツをベッドの下に保管していた。一人で梁を持ち上げられるほど強くなりたくて、橋の番人と一緒に剣術の修行をしていた。成長するにつれて、彼は商人の警備の仕事を引き受け、食料、薬、失われた時間など、あらゆるものを代償として計算するようになりました。彼は、子供を残して借金を抱えて育つような心優しい人間にはなりたくなかった。しかし、時計が止まる音が聞こえるたびに、彼は無意識に頭を上げました。誰かが店に戻ってくるのを待っているようなものです。

空が割れてから18年後、白アザラシ連合はアルン橋を閉鎖するよう命令を出した。ムーンバレーからの難民は未登録として分類された。アランには、戦線に立つために3倍の代償が支払われた。屋根が再び父親の修理テーブルに雨漏りしたため、彼はお金を手に入れました。勤務初日の夜、ある女の子が鉄格子に懐中時計を渡し、「歩けるなら。おばあちゃんを中に入れてくれませんか？」と尋ねました。彼は、そのドアは修理工場ではないと答えました。そこで子供は一晩中そこに座って待っていました。

朝、橋の下の電線が切れた。川の水が何の前触れもなく増水した。船長は兵士たちに門を守るよう命じた。外側に取り残された人は検査の順番が来る前に水に流されてしまう。アランは手に持った給料硬貨を見た。それから彼は、意識を失った祖母を起こしている同じ子供を見た。彼はほとんど命令に従った。人がヒーローになった瞬間に恐怖は消えるわけではありません。それは今でも存在しており、一人ではどうしようもないことを理性的な声で言っています。

彼はお金の入った袋を船長に詰め込み、剣でドアを塞いだ。剣は瞬時に折れ、腕の骨も音を立てた。アランは大声で宣言したわけではない。彼は最も近くにいた人の名前を叫び、彼を持ち上げるのに助けを求め、ロープを握るのを助けを求めました。お子様が歩き続けられるよう導いてあげてください。リンユが駆け込んできて封印ピンを切った。マリンはおばあさんを岸まで引きずっていきます。名前は知られていないフードをかぶった男が、中にあった鎖をこっそり外します。アランは初めて、一人で立つことが必ずしも勇気があるわけではないことを認めた。

彼の手に持っていた剣の破片が輝き始めた。扉からの力はまだ消えていなかった。それは流れ、鋼鉄の中に蓄積され、剣の亀裂が地平線の朝の光のように見えました。アランは子供の時計の音に合わせて三拍を数えた。その力をすべて地面に解放する前に、彼は人々が通れる十分な幅の道路を開けました。しかし、最後の人々がドアを通過した瞬間に彼は倒れてしまいました。回復したとき、右腕がギプスで固定されていることに気づきました。そして、窓を修理するお金さえ残っていませんでした。

女の子は時計を持ち帰った。まだ歩いていないのです。彼女は何も見返りがなかったことを謝った。アランは笑いながら、自分がもたらしたのは、恥ずかしがらずに父親の息子になれるチャンスだったと言う。橋から生き残った人々は店の修復を手伝った。1週間以内に、彼が何年も修理のためにお金を貯めていた屋根は、もはや雨漏りをしなくなった。彼は古い借金帳を

理解し始めました。それは人々が父親に借りているものについての説明ではないかもしれませんが。しかし、それは彼らがかつてお互いに助け合って生き残ったことの証拠です。

監察部門はドア破壊者の逮捕を発表した。10人の投稿者が時計店で集まりました。アサラは、隠れるだけでは相手の助けにはならないと言う。Netdaoはテーブルの上に白紙のノートを置きました。誰かが削除する前に、生存者全員の名前を書き留めてください。アラン氏はアルン連合を指名した。彼が自分を光だと思ったからではありません。しかし、夜明けは一般の人が起きて仕事に行かなければならない時間だからです。昨夜がどんなに残酷だったとしても

彼は剣の切れ端を職人に渡し、新しい剣を求めた。亀裂を維持することを主張することによって。したがって、最後の剣は儀式用の武器のようにきれいな刃を持っていませんでした。それは、いかなるものも自分たちの力を超えたことを常にその使い手に告げる剣です。出発する前に、アランは子供用の時計を店のドアの上に掛けます。そして橋が開く時間に止めてもらいました。彼は二度と倒れないと誓ったわけではない。彼は電車ごと転落する前に助けを呼ぶと誓った。

最初の光が地面に触れるとき、アランは他の9人とともに歩き出した。彼は今でも父親がいなくて寂しいです。お金がないのがまだ怖い。そして、連合に勝つ方法がまだわかりません。しかし初めて、未来は一人で立ち向かえる余裕のある部屋ではなくなりました。彼の後ろには、村全体が物を修理する店がありました。彼の目の前には、まだ閉まったままの扉がたくさんあった。彼は左手で鞆を締めた。そして、全員がついていける速度で歩き続けることを選択します。

ARUN RPG・02 / 60



リニュー・チャルヨク

リニュー・チャルヨク・AR-002

役割: 翡翠の双剣士

故郷: 千年翡翠の森

武器: 根脈剣

能力: 材料内の力の流れを読み取り、溶接点のみを切断します。

制約: ジェイドは読んだものを感じなければなりません。翡翠の素材に含まれる毒により、使用者の手を傷つける可能性があります。

加入年: 18

ケージ内では根が生えない

リニューはヒスイの温室で育ちました。木には本数があり、子供には維持費がかかる。母親は肺に緑の粉がたまるまで鉱石を磨いた。仕事ができないとき 果樹園の所有者は、その費用を子供への借金として記録することで治療を続けることに同意しました。したがって、Linyu は利息の計算に必要な数字だけを研究しました。彼女は、契約書の「慈悲」という言葉が常に最も高価なラインを上回っていたことを鮮明に覚えています。

フエンおばあちゃんという名前の年老いた庭師が、この帳に載っていないことを彼女に教えてくれました。木の根は愚かさのせいでまっすぐに歩けないことを教えてください。でもそれは見えないものを避けているから。リニューさんはナイフを使って繊維に沿って枝を切る練習を始めた。彼女の手はとても軽かったので、若葉はそれに耐えることができませんでした。彼女

が16歳のとき、祖母は彼女にルートアザラシを切るために使用された古い剣を与えました。たとえ最も正確な武器であっても無価値であるという警告とともに。所有者が自分が何を守っているのかを知らなければ、

彼女は母親の自由を買いたかったのです。そこで彼は、有毒な雨の夜に成長を促進するためにヒスイを切り出す仕事を引き受けました。それが水源を汚染することを知っていたにもかかわらず。彼女は、森はたった一人の人間の影響に耐えるのに十分な広さだと自分に言い聞かせた。納屋の隣の子供たちがよく飲んでいて運河に、死んだ魚が浮かんでいるのが見つかるまでは。その時、Linyulはフレームに入れられませんでした。彼女は本物の実行者です。かつて彼女を誇りに思っていた植物の知識は、彼女があえて自分の手を見ない理由となった。

庭の所有者は借金をすべて清算すると申し出ました。彼女が排出記録を破棄した場合、リニューはその文書を炉に運び込んだ。紙の端がカールするのに十分な時間、熱の前に立ちます。かろうじてドアまでついて行く力しかなかった母は、母を止めず、道徳についても話さず、ただ尋ねました、「もしここを出たら、どんな胸で呼吸したいですか？」その問いはどんな連鎖よりも重い。それはあなた自身が選択できるように開かれているからです。

リニューは火を消して日記を取り出した。彼女はすぐには逃げなかった。しかし戻って、運河に毒を送っているパイプを切断してください。家を囲む衛兵たち 古い剣が手がしびれるまで鉄の盾と衝突した。一瞬のうちに、彼女は怒りのあまり切り返しそうになった。足下の根っこの音が低いリズムに混じって響く。彼女は盾の強力なサポートを見た。ガードアームに接続されている小さなリベットが見えます。そして一点だけを切りました。持ち手がまだ家に帰る手を残したまま、盾は落ちました。

縫合の力で剣の翡翠の根元が光った。しかし、読み物の毒で指先が黒くなり始めた。Linyuは、能力は代償を払わずに問題を解決できるライセンスではないことを、初めて使用したときから学びました。彼女は労働者たちが納屋から出られるように道を空けます。それから最後に母親を抱いて戻ってきました。フエンおばあちゃんは苗木を放棄することを拒否しました。そこで彼女はまず人間の髪の毛を選ばなければなりません。そして彼が愛した庭園が奪われることを許すだろう。その決断が正しかったからといってその悔しさは消えない。

数か月後、彼女は日記をアルン橋まで運びました。首都の検査官に証拠を送りたいと考えています。しかし、門の役人は果樹園の所有者から金を受け取っていたのと同じ人たちだった。書類は没収された。母親は治療を拒否された。アランが剣を使って木の門を壊すのを見たとき、リニューは門番を殺そうと考えていた。彼は彼女の借金のことさえ知りませんでした。しかし、それは彼女に、殺すことから始める必要のない選択肢を与えている。

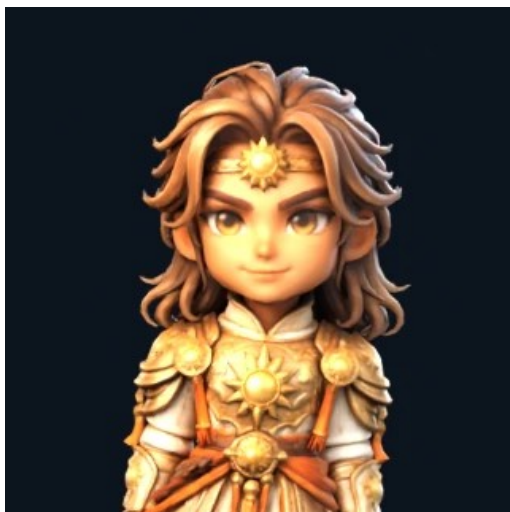
彼女は剣を使ってシールピンを一本ずつ切り落とした。無理に一度に全部やろうとしないでください。イベントが終わる前に倒れた人は誰も助けられないことをすでに知っているからです。穏やかな出来事の後、マリンは母親のアランを癒し、村の人々に水のテストを教えるように彼女に頼みます。リニューは、彼女が毒を放ったのではないかと心配していないのかと尋ねます。アランは怖いと答える。そこで壊し方を知っている人に守り方を教えて欲しいです。他の

誰かも彼女をチェックしています。

責任を消し去ることのできなかった許しに、リニューさんは数年ぶりに涙を流した。彼女は自分がしたことについて証言した。たとえそれがまだ返済されていない古い借金を意味するとしても、証人として署名し、収入の一部を運河の修復に使用することに同意しました。アルン連合があなたを旅行に招待するとき、彼女は水源を含めることを規定しました。通過するすべての都市は知識を持ち帰る必要があります。戦争で若者を失うだけではありません。

出発の前夜、母は震える手で私の髪を結ぶのを手伝ってくれました。リヌは若い種子を一粒取り、布で包みました。元の庭園を再現するものではありません。しかし、根には自分の道を選択する権利があることを思い出してください。彼女はその剣をルートラインと呼んだ。そして、彼の代わりに支払わなければならなかった人々の名前を隠すために「必要」という言葉を決して使わないと誓った。ファイターであることは、自分の罪を認めることから始まります。美しい姿勢を始める前に

ARUN RPG・03 / 60



サシン・ヴェラソン

サシン・ヴェラソン・AR-003

役割: 月の魔剣士

故郷: ムーンバレー

武器: ナイトクレセントソード

能力: 同じ光の下で見える 2 つの影の間の距離を短くします。

制約: 見えない影へ 繰り返しの動作はバランスを崩します。

加入年: 18

一夜遅れて来た光

月の谷で 光の塔の番人はサシンに、剣士の義務は最後の鐘が鳴る前に到着することだと教えた。彼は同世代の中で最も足の速い弟子だった。彼は柱の影を非常に正確に移動するため、大人たちは他の子供たちへの褒め言葉として彼の名前を使い始めます。しかし、毎晩家に帰ると、シンという名前の弟が遅いと不平を言います。冷めるまで座って食べさせてもらったからです。サシン氏は、人々があらゆる分野にすぐに到着できるとは考えていませんでした。そして同時に愛することができる人にとっては遅すぎる

ある夜、警部たちは彼に貴族の食堂車の護衛を命じた。教師たちは北部で行方不明者が出ていると警告している。しかし、太鼓判を押された者の使命はもっと重要です。サシンさんは断りもなくその仕事を引き受けた。私が家に帰ると、彼は二つの茶わんと消えたランプを見つけました。シンは北へ探しに出かけたまま戻ってきませんでした。遺体も確認もできなかった。小

さな足跡しかなく、放棄されたドアの影で止まっていました。

サシンさんは、時間が経つ前に髪が真っ白になるまで探しました。彼はその少年を見たと言主張する人全員から情報を仕入れた。嘘だとわかっていても、お金を払ってしまう場合もあります。他に何もすることがないと認めるよりも、お金を失う方が簡単だからです。彼は月明かりの下で影と影を結ぶ線が見えるまで剣の練習をした。そしてついに常人では越えられない距離を越えた。しかし、その力は必要な日の後に現れます。だから彼は自分の弱さよりもそれを嫌っていた。

月影の剣士の評判により、彼は閉鎖された書庫に入れられた。そこには、多くの行方不明者が試験の門を通して送られてきたことが記録されていた。獣に捕らえられなかったサシンは承認票に教師の手書きの文字を見つけた。彼はすぐに剣を抜いた。老人は避けなかったが、数人を失っても正門を守れると信じていることだけを認めた。「先生、数人の名前を知っていますか？」サシンが尋ね、相手が答えられなかったとき、彼はもうあの寮には入れないことを悟った。

彼は先生を殺しませんでした。その決定は平和的に行われたわけではありません。しかし、死体よりも多くの答えを求めた怒りから、サシンは文書のコピーを盗んで逃走する。しかし、逃げる途中で彼はあまりにも多くの影を連続して越えたため、バランスを崩して奈落の底に落ちました。ルートの一覧の一部のみが残っています。彼の能力ではすべての間違いを修正できるわけではない。また、スピードが自動的に優れた意思決定につながるわけでもありません。

難民たちが反対側に閉じ込められた夜、一方の道はアルン橋に通じていた。サシンは裁判のドアに、書類に書かれているものと同じような標識があるのを見た。彼は警官の車を追跡する機会があった。それが資産につながる可能性がある。しかし同時に水位が上がり、数人の子供たちがワゴンに閉じ込められた。彼は屋根の上に立っています。心の議論に耳を傾けてください。ある人は、十分に待った、と叫びました。別の人は、自分と同じような兄弟をあと何人作るつもりかと尋ねた。

サシンは警官の車を通り過ぎさせた。それから彼は逃亡者を見つけるために飛び降り、ランプの光を反射するように剣を構えた。カートから壁に影を1ブロックずつ接続します。目に見えない距離に人を連れて行ってはいけません。最後の少年は首を強く抱き締め、息もできなかった。岸に引き渡された後、バランスを崩して嘔吐し、怒りのあまり泣き叫んだ。彼は、自分の名前を知らない誰かのために、ここ数年で最も重要な手がかりを残したところだった。

Netdaoはすぐに良くなるだろうと彼を安心させることなく、やって来て彼の隣に座った。彼女は、彼が見たものを、疲労で詳細が消えてしまう前に書き留めておこうと申し出た。アサラは、車が通過しなければならないチェックポイントのリストを与えます。ワリンさんに関しては、車道をたどっていた人が他の人を助けるために立ち止まったからといって、車道が消えたわけではないと述べた。サシンさんは、弟を探すのをやめるよう頼まなかった人に会ったのは初めてだった。しかし、全員を置き去りにするという犠牲を払って捜索する必要がないのは助かります。

アルン同盟に門の測量士として加わった。まだ閉鎖されていない財産の名前を生存者の帳簿に残しておくことを要求することによって。アランは、自分がまだ生きていると確信しているか尋ねます。サシンは、よくわからないと答えた。そして自分たちの希望を言い訳にして他人を死に追いやるようなことはしません。彼は証拠を追うつもりだ。リスクを明らかにし、何も見つからなかった日でも戻ってきて報告する。これは、弟を助けると宣言するよりもはるかに難しい誓いです。

出発する前に、彼は食事が終わるまでみんなと一緒に食事をするのをやめました。月が出ると立ち上がって剣術の練習に逃げるのが習慣だったのに。他の人はそのわずかな変化に気づきませんでした。しかし、サシンは、自分がちょうど過去のどこかに戻ってきただけであることを知っていました。ナイトクレセントソードはまだ彼を影の彼方まで運ぶことができた。しかしそれ以来、イエスは一步を踏み出す前に必ず振り返って人の数を数えました。最速ルートなんて無意味だから。目的地に一人しか残っていない場合

ARUN RPG・04 / 60



エイリン・ヘマントラ

エイリン・ヘマントラ・AR-004

役割: 氷霜の魔法使い

故郷: 冬山の頂上

武器: 溶けたクリスタルコア

能力: 1つの領域から熱を遠ざけ、形状制御された氷を作成します。

制約: 熱が消えない。排水ポイントがあるはずですが。そうしないと、本体が過熱します。

加入年: 18

氷が諦める日

永琳は冬山の頂上にある気象台で育った。母親は毎朝、彼女に氷の入ったグラスを爪で軽く叩き、その音を聞くように言われました。最も透明なガラスが常に最も強いとは限りません。葉には目に見えないほど小さな亀裂が入っているものもあります。彼女は母親から話を聞くことを学びました。試験官の前で手を震わせただけでも減点される魔法の塔の亀裂を隠す方法を学んだ。

彼女は若くして冷凍倉庫オペレーター試験に合格した。その仕事は、山全体の種子と薬を保存することです。永琳はその仕事が本当に大好きです。倉庫の静かな音が気に入りました。彼らのきちんと感が春をもたらすのを知るのは大好きです。しかし、ホワイトシール連合が国庫を掌握すると、維持する必要がある品目のリストが変わりました。村の薬は撤去されました。代わりに査察チームの核となる力を結集するため

エイリンは、下の温室がどのくらいの過剰熱を受け取ったのかを尋ねることなく、温度を承認しました。彼女は自分の部屋で数字を記入します。そして他の人たちも同様に自分の役割を果たすことを願っています。ある日、配達員が根のついたままの茹で野菜をテーブルに持ってくるまでは、「お母さんは、雪がまだ溶けていないと言っていたのに、なぜ土が沸騰しているの？」子供は尋ねた。彼女の報告フォームにはその質問を記入する欄がありませんでした。

倉庫の下のパイプを調べたところ、冷電力が熱を放散していないことが判明した。図面を読む権利のない人の家庭に負担がかかるだけだ。永琳はコアを閉じることを申し出る。しかし署長は、検査官が戻るまで水準を維持するよう命じた。彼女は手術手順にサインをもらうためにもう一晩待ちました。その夜、母の種子温室が被害に遭った。母親は一命を取り留めたが、両手の指の感覚を失った。

自己嫌悪に陥りながら管制室に戻った映琳。彼女は被害を防ぐためにほとんどすべてを凍らせました。作業員宿舎に通じるパイプに熱いゲージが突き刺さるのを見る前に、彼女が得意とするように世界を静止させることは、反対側の人々を殺すことになるだろう。そこで彼女は傷がなくなるまで磨かれたガラスの壁を叩き壊した。外からの本当の冷気を入れて空気交換をしましょう。氷が彼女の顔を切りつけ、賞状が彼女の名誉とともに吹き飛んでしまう。

その混乱の中で最初の縫合糸が形成されます。彼女は手に糸のような熱の流れを感じた。ただし、すべての行を同時に引き出すことはできません。永琳は整備士にシャフトを開けるよう頼む。料理人に炭を取り除いてもらいます。そして配達員を走らせて、パイプの先の家に知らせてください。全員が自分の役割を果たせば、彼女は反対側の誰も火傷することなく、亀裂に氷の橋を架けることができました。彼女の力で解決策が見つかる。他人を入れるから

魔法の塔は器物損壊の罪で彼女を解雇した。お母さんは自分がすべて正しかったとは言っていない。でも、戻ってきて、まだ発芽中の種を分けるのを手伝ってください。彼らは座って、永琳を手、母親を目としてゆっくりと作業しました。彼女は、袋の半分にも満たない種をゼロから始める方法を学びました。彼と別れる前に、母は割れた氷のグラスを私に返してくれました。「次回からは、静かになるまで待たずに、自分が壊れていることを認めてください。」

18年目の終わり、エイリンは麻薬トラックを追ってアルン橋まで下った。洪水のとき、彼女は川全体を凍らせたいと思っていました。しかし、その熱は人々に戻ってくることを私は知っています。したがって、短い段差しか生じず、放棄された車両の板金に熱が伝わります。そしてシートが赤くなる前に全員に警告を叫びました。アサラは最後のサポートランスを使用します。一方、マリンは最近痛いと言った腕の傷の手当てをしている。

アルン戦線創設時、永琳は供給ルートとエネルギー排出計画を担当していた。彼女は、危険を発見した場合、誰でも停止する権利があるという規則を定めました。たとえその人が物を持ち上げる子供だったとしても。彼女は宝物庫からコアの破片を鍛造して、メルテッド・クリスタル・コアという名の杖を作りました。亀裂が見えるように側面に穴が開けられました。見た目を完璧にするためのコーティングはもう必要ありません。

出発前の最初の夜、彼女は薬のために角氷を作り、熱が消えたと確信するまでそこに座っていました。アランが温かいお茶を持ってきてくれた。永琳は震える手でグラスを取り、隠さなかった。彼女はいつも寒さを制御する人になりたいと思っていました。今、彼女は自分がめちゃくちゃだとすぐに認めて、みんなに助けてもらえる人間になりたいと思っている。そして朝が来れば、氷が溶けることはもはや敗北の証拠ではありません。

ARUN RPG・05 / 60



ワリン・ロンプライ

ワリン・ロンプライ・AR-005

役割: 風の弓使い

故郷: アルン村とムーンバレーの間の森林限界

武器: 弓を返す

能力: 風に響くエコーを利用して進路を見つけ、矢の軌道を調整します。

制約: 息を止めて最後まで聞く必要があります。音が届かないものは狙えない

加入年: 18

撃たれていない矢

ワリンは、母親の足音を市場にいるすべての人から聞き分けることができます。お母さんが先頭に立って、少し左側に体重をかけて歩きました。護送船団が森から戻ってくるたびに、少女は誰よりも早くドアに駆け寄ります。でも母が私に弓の持ち方を教えてくれた日 最初の教訓は撃てないことだった。「まだ聞き終えていないのなら、これから何が起こるか判断しないでください。」と母親は言い、午前中ずっと矢をそばに置いたままにさせました。

ワリンは成長して、検問所を回避するルートを見つけることに努めました。米を買ったり、屋根を修理したりするのに十分な賃金を貯めましょう。彼女は誰が何を運んだのかは尋ねなかった。なぜなら、人を雇う人は沈黙に対してより多くのお金を払うことが多いからです。彼女の専門知識により、彼女は誰よりも森についてよく知っていると信じていました。彼は、立ち入り禁止の樹林帯で村の物資を盗む危険な獣がいると告げた地区の検査官を警護する仕事も引き

受けた。

彼女は揺れる藪を見つけるまでその跡をたどった。激しいあえぎ声が聞こえ、金属の火花が見えた。警官は撃てと叫んだ。ワリンは音が届く前に矢を放った。矢の先端が老ガイドの足を突き刺した。窒息死した子供を動物の罠から引きずり出していたのは彼女が見た金属は、彼女の腰に巻き付けられた単なる水のカップでした。盗まれたとされる物資は、地域住民が森に残した食料だった。

警察官は仕事上の事故だと書きます。その代わりに、彼女は前哨基地のレンジャーの職を引き受けた。ワリンはほぼわかった。家を高めた評判を失うのが怖かったから しかし、私がその老人に会いに行ったとき、彼は彼女を叱りませんでした。彼はただ、自分の子供が次回どんな声を出すかを尋ねただけでした。その時、彼女は自分が傷つけた人は一人ではないことに気づきました。彼女はコミュニティ全体に、家を出る前に自分たちが人間であることを証明する方法を考えるよう強制します。

ワリンさんは正直に証言し、治療費を支払い、老人が杖を使って歩けるようになるまで農作物栽培を手伝うために滞在した。彼はすぐには許しませんし、悔い改めの報酬として信頼を返しません。彼女はその条件を受け入れた。数か月間、弓に触れずに風の音を聞く練習をしてください。かつては単なる方向性の目標だった音は、徐々に生活の詳細になりました。人が歩く濡れた落ち葉 お腹を空かせた子供が袋を噛む音。

ある日、伐採キャンプからの火災が森に燃え移りました。彼女は中に閉じ込められた人々を探します。煙で前が見えなくなり、風が崖で跳ね返りました。ワリンはみんなを行き止まりに導きそうになったので、立ち止まり、息を止めて、岩の後ろで水が滴る音が聞こえるまで耳を傾けました。その沈黙とともに彼女の縫合糸が開いた。彼女は風が抜ける穴からロープの矢を放ちます。生き物は一匹も撃たなかった。しかし、矢は17人を火の中から運び出しました。

彼女が連盟に送った嘆願書は、地域登録簿からコミュニティの名前とともに欠落していた。生き残った人々は避難しなければなりませんでした。18年目にワリンは彼らをアルン橋に連れて行き、ドアが閉まっていることに気づきました。彼女は前哨基地の位置を知っている。矢が首に届くほどの小さな穴が見えた。彼を殺せば、すぐに道が開けるかもしれない。しかし、彼の後ろには、さらに多くの人々が鍵を持っていました。そして彼女の後ろには、すべてを覚えた子供がいました。

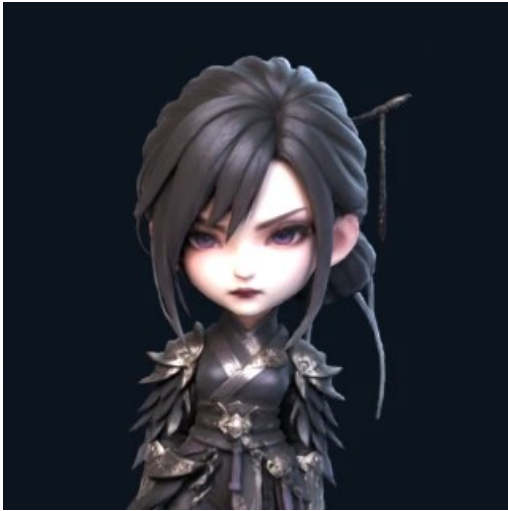
彼女は船首を下げて信号塔に登りました。代わりに、ロープを発射してカートを強い側に接続します。水の音の中で、彼女はマリンの鐘を基準点として使用します。サシンに、まだどこにでも人がいると伝えてください。彼が取り残された人々を影の向こう側に運んでいると、風は一瞬静まり、やがて力が使えなくなった。それからワリンは普通の声で彼らの名前を一人ずつ叫びました。たとえ奇跡が起きなくても、助け続けることができる。

その夜遅く、彼女が撃った老人は古い棒を手に取り、彼女に弓を作らせた。彼は忘れていないと言いました。しかし、私は彼女がそれをどのように使うかを見ました。ワリンは武器にその

昔の名前を付けました。そして森林の人々を故郷に戻して権利を主張するという最初の使命を申し出てアルン同盟に加わった。彼女は測量の仕事を引き受けた。森での失踪を責任逃れの言い訳にしてはいけない。

列車が発車する前に、地域の子供が、最も優れた射手はどのくらい遠くまで射ることができるかと尋ねました。ワリンは視線が同じ高さになるようにしゃがんだ。「私たちの姿が見えない人たちを助けるには十分です」と彼女は答え、前哨基地を危うく殺しかけた矢を脇に置いた。シャフトの切り込みは、正確さとは矢を的に当てることだけではないことを彼女に思い出させました。時には、その目標が何であるべきかを正確に知ることが重要になります。

ARUN RPG・06 / 60



ニラック・ンゲラツリー

ニラック・ンゲラツリー・AR-006

役割: 影の暗殺者

故郷: パープルスターキングダム

武器: ノーブランドのナイフ

能力: 繋がり、声をかき消す影の間を移動する。

制約: 途切れない明るさが道を切り裂く 不安定な炎で歪む影

加入年: 18

バツアウトできない名前

ニラックという名前が生まれる前、キャンバスには数字だけがありました。影の訓練所の子供たちは、間違いを犯しても殴られることはありませんでした。しかし、誰もがそれを見て見ぬふりをするように言われました。したがって、彼は幼い頃から、自分の存在は自分がコントローラーに提供する利益に依存していることを学びました。あなたが十分に静かに歩き、十分に従順であれば、そしてあなたの隣のベッドから行方不明の子供について尋ねないでください。翌朝、温かいご飯と電話が届く。

彼がナイフを持てる年齢になったとき、彼は連邦が市内の漏洩と呼んだものを排除する仕事を引き受けた。講師は、封筒に書かれた名前は命ではなく危険であると言いました。ニラックは素早く仕事をし、続きを読むために封筒を開けませんでした。彼は、詳細を知らないほうが手がきれいになると信じています。お針子を解雇するよう命じられるまでは。難民向け旅行切手

偽造で告発

女性は小さな家の中で座って待っていました。彼が横切る影がなくなるまで、すべてのランタンを点灯します。ニラックはそれが罠だと思う。しかし、彼女ははっきりと見ることはできなかった。たくさんの光を使わなければなりません。テーブルの上にはまだ縫われていない子供のシャツがありました。彼女は、最後の腕を縫うのを待ってもいいですかと尋ねました。その声には呪いはなかった。彼に魔法のように良い人になってほしいという願いはありませんでした。彼女には、寒さの中で他の人に任せたくない仕事が1つだけありました。

彼は初めてナイフを下ろし、彼女の名前を尋ねた。「ヌアン」と彼女は答えた。"あなたも?"ニラックには数字以外の答えがなかった。彼は彼女を屋根から連れ去り、バッジを部屋に残した。ただし、支援しても古いアカウントが消えるわけではありません。彼は自分が殺した人々全員をまだ思い出していませんでした。そして、彼の記憶の中の空虚さは、忘れられない死体のイメージよりも恐ろしいことに気づきました。

訓練所は人々を追従させた。そのうちの1人は、よく一緒にご飯を食べていた子供だった。ニラックはキャンパス上の数字を見る前に、ほとんど本能的に子供を殺しました。彼は相手の武装を解除するために脇腹に傷を負った。それらの間にガソリンを注ぎ、影の道を破壊します。光は両方の命を救います。しかし、そのせいで彼は敵からはっきりと見える道路で立ち往生してしまいました。権力は、自分を間違った立場に置く人を助けません。彼は初めて助けを求めてドアをノックしなければなりませんでした。

ヌアンがドアを開けてくれた。彼が出血している間、彼女は病歴を聴取しなかった。しかし、傷がふさがった後、思い出したように自分の名前を書き留めるために紙が置かれました。ニラックはゆっくりと書き、数行に場所と服装の詳細だけを残して続きを書きます。彼はその夜、自分の名前を決めた。過去を隠すことを選ばなかったでも、答えを求める人が名前を呼ぶことができるように。

18年目に、彼はヌアンと縫製ネットワークの人々をアルン橋に連れて行きました。そして検問所の部屋で鍵を管理している老調教師を見つけ、その男は復職を申し出た。未登録の人を川岸に放置した場合ニラックはアランがドアのところに立っているのを見た。お金を払う価値がないと思われることを他の人がやっているのを見てください。それで彼は制御室に逃げ込みました。内側からチェーンを外します。そして命令の証拠を誰もが見つけられるテーブルの上に残しました。

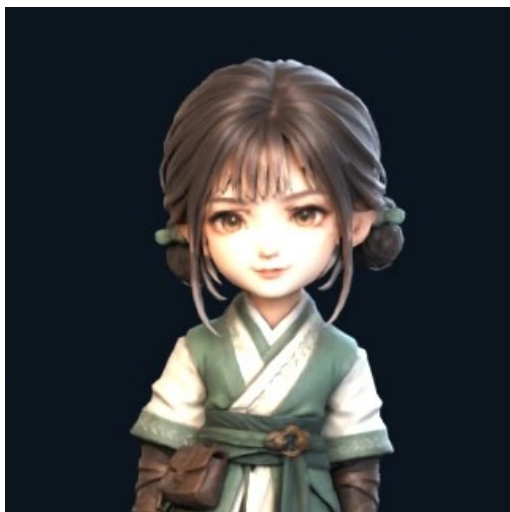
危険が去っても、彼は朝まで逃げなかった。ニラックはアサラの前にナイフを置き、責任を取るべきことがあると言った。統一戦線はまだ結成されていない。しかし、生存者は監視下で刑務所のファイルを搜索するのを手伝わせることに同意した。暗殺の仕事は受けないでください。そして、彼に会いたいと思っている被害者に証拠を提示しなければなりません。洗礼を説教する人は誰もいません。共に生きることは、誰にでも見える境界線から始まります。

ブランドレスの双剣は、所有者の刻印を取り除いたオリジナルの武器から鍛造されたもので

す。ニラックは人々を排除するために潜入する任務を引き受けます。それは人々を消滅させることではありません。彼は、家族によっては彼に会えない人もいることを知っていました。そして彼は、新たな善行を利用して彼らに許しを迫るつもりはなかった。彼はサバイバースブックの中で、まだ回収できなかった名前のページを開き、そのスペースを要約番号と呼ぶことを誰にも許しませんでした。

出発前の朝、ヌアンは修理したローブを持ってきて、それに小さな名前を付けました。ニラックはかつてナイフを持つためだけにあると信じていた指で糸を撫でた。それから彼は友達を光の中へ案内するために出て行きました。彼もまた、陰で動く人物である。しかし、私は再び闇を利用して答えを隠すつもりはありません。そしてある日、悪事を働いた者として彼の名が呼び出されたとしたら。彼は最後までそこにいて聞くつもりだった。

ARUN RPG・07 / 60



マリン・ブファラク

マリン・ブファラク・AR-007

役割: 蓮の治癒師

故郷: アルン村

武器: ガラスのシードベル

能力: 植物の根と同意したドナーの力を利用して組織の統合を促進します。

制約: 復活することはできず、同意なしに病気を患って他の人に投げることはできません

加入年: 18

すべての人を助けることを約束しない花。

アルン村の人々は、マリンの顔を思い出す前に、マリンの鐘のことを覚えていました。子供の頃、彼女は漢方薬医だった祖母に従っていました。体には重すぎるカゴを担ぎ、病人の家の前のベルを鳴らします。おばあちゃんは誰もが治るとは決して約束しませんでした。彼女はその警戒心が気に入らなかった。私を治療する人は、この病気を克服する十分な希望を与えるべきだと思うからです。

マリンの能力は、巣から落ちた雛鳥を持ち上げたときに明らかになります。手のひらの下の根が明るく輝き、小さな羽が動いた。村全体が負傷した動物を彼女のところに連れてきました。マリンは呼ばれて嬉しいです。家の周りの草が黄色くなり、輪になって枯れていることに気づくまでは。おばあちゃんは、新しい患者を受け入れる前に彼女に歩き回って土を観察させました。一人の命を救った力が、さらに多くの命を支える力を奪いつつあります。

出水期が過ぎて熱が広がるとまだ空が暗い頃から人々が家の前に並んでいた。マリンは、みんなを助けることができると答えました。彼女は倒れるまで治療を続けた。医薬品区画全体が干上がり、消滅した。そして力では治せない症状の薬も枯渇してしまいます。待っている間に男性1人が死亡した。朝からリヤカーに乗って山の医者に診てもらはずだったのに。彼女の約束は彼を引き留める助けにはならなかった。そのせいで家族は遅くまで待たされることになった。

男性の父親は彼女が葬儀に出席することを許可しなかった。マリンは戻ってきて、一晩中ドアの前に座っていました。彼女はベルを持つのをほとんどやめた。おばあちゃんは私に自分の間違いを忘れるように言ったわけではありません。しかし、彼は彼女を連れて、植え替えが必要な種の入った袋を見に行きました。「希望は生き残るために嘘をつく必要はないのよ」とおばあちゃんは言いました。マリンさんは、自分の時間の限界を告げることが治療法の一部であることを学び始めました。たとえその答えが人々を彼女に怒らせたとしても。

彼女は多くの医療施設を練習するために旅行します。傷に圧力を加え、症状を区別し、エネルギーを提供する人に同意を求める方法を学びましょう。助ける人は必ずしも強い人である必要はありません。植えた植物の根に光を通すだけで十分な場合もあります。マリンは、眠っている人、強制された人、効果を理解していない人から力を引き出さないことを規則にしました。そして、いかなる指導者もこのルールをスキップするよう命令することはできない。

アルン橋の夜、彼女はかつて恐れていたものと再び直面した。人よりも死傷者の方が多かった。服用している薬の数は待っている人よりも少ないです。彼女は、孫が先に通行する代わりに時計をくれた老婦人を助けた。それはまだ緊急の問題を解決できるからです。それから、歩ける人に布を煮て息を数えるのを手伝ってもらいます。代わりに、彼は全員を治すと発表しました。彼女はやるべきことを一つ一つ挙げました。恐怖が、多くの人が力を合わせて助けられる仕事になるまで。

リンユさんは息を切らしながら母親を呼び寄せた。マリンさんは、この力が傷をふさぐことができると言う。しかし、肺に溜まった塵をすぐに取り除くことはできません。彼女は彼の状態を安定させ、宿泊施設を手配し、紹介状を書いてくれました。真実を聞いたリンユの目には、失望と安堵が入り混じった表情が浮かんでいた。その間、また負傷者が出た。マリンは指先が冷たくなるまで手を握り、残った人々を見つめ続けた。損失を小さな問題とは言わずに

水が引いた後、彼女は生存者のグループが前哨基地から拒否された人々と一緒に移動する医療部隊を創設することを提案した。アサラは護衛戦闘機が何人必要か尋ねます。マリンは、木を植える人、荷馬車の運転手、そして人命救助と戦闘が対立するときに将軍と議論できる人が必要だと答えた。したがって、彼女の戦線への参加は、誰もそれを装飾的とは考えないという条件から始まりました。

彼女は祖母の鐘をもとにガラスの種鐘を作りました。狭いスペースに数種類の種を入れて、電源を使うたびに植え替えます。おばあちゃんは今も生きて村を守っています。Malinは、できる人にもできない人にもメモを送り返します。家の前で亡くなった男性の父親が土の入った袋

を送ってくれたことがある。手紙も許しの言葉もなかった。彼女はその土を使って移動診療所の隣に薬用植物を植え、黙々と手入れをしていた。

最初の旅行の前 子供はなぜヒーラーが武器を持たなければならないのかと尋ねました。マリンはそっとベルを振り、中の種の音を聞いてほしいと言いました。「今も待っている人たちに届けるために」と彼女は語った。彼女には全員を連れ戻せるかどうか分からない。しかし、私は誰にも、温かい嘘と、もう誰もいないという真実のどちらかを選択させるつもりはないことを知っています。

ARUN RPG・08 / 60



タラン・ワチラバット

タラン・ワチラバット・AR-008

役割: 雷の武僧

故郷: サンダーシティ遺跡

武器: 接地スリーブ

能力: 動きからのチャージを捕らえ、拳と足の裏を通して放出します。

制約: 地面に入る道があるはずだ。充電が長く続くと不整脈が発生します。

加入年: 18

負け方を学んだ男

タランは、家の上に降る雨の音よりも、ステージ上で人々が自分の名前を呼ぶ音の方が好きです。彼はライトニングシティの廃墟で石炭輸送の少年だった。手には洗っても落ちない黒い跡が付いています。しかし、戦って勝つと、視聴者は彼がどの地域の出身か忘れてしまうでしょう。ボクシングの先生は、しっかりと立ち、深く呼吸し、いつ止めるかを教えます。彼は最初の2つのポイントをよく覚えていました。最後の点に関しては、敗者への慰めだと思います。

ホワイトブランドのスポンサーから料金を徴収するための腕章を受け取るまで、彼は勝利した。どのパンチにも光があった。勝利するたびに、雨漏りしたモーターの部屋から母親を連れ出すためのまとまったお金が得られました。タランさんは目に見える成果を目にした。したがって、ステージが指定された制限を超えて放電電力を増加させた理由については尋ねません。戦闘員の一人が手を挙げて止めた。しかし観客からのブーイングは大きかった。彼は聞い

たが、聞こえないふりをした。次のパンチで相手は倒れ、リングに戻ることはできなくなった。

主催者は相手も同じ病気だと書いていた。タランはメダルを家に持ち帰り、裏返しに置いた。母は、私が勝ったのになぜ手が震えているのかとだけ尋ねました。彼はその男を何度も訪ねたが、中に入る勇氣はなかった。怪我人の娘が部屋の前で彼を見つけるまでは、彼女はサインを求めなかった。お父さんがもう水の入った桶を握ることができないので、彼女は水の入った桶を持つのを手伝ってほしいと頼みました。この日の軽さはどの相手よりも腕を圧迫した。

タランはスポンサーのお金を返金し、試合記録の公開を許可した。彼はこれまでの人生の舞台から追放された。そこで彼はボクシングの先生のところへ戻り、まずは静止することから始めるように言いました。彼は最初はそれに耐えられませんでした。体は自分がまだ価値があることを証明したいのです。しかし、速く動くほど、腕章からの電荷は心臓が不規則に鼓動するまで蓄積されます。彼は自分の力を制御する前に、自分の限界を克服する方法を学ばなければなりません。

地域のアース線を修復する仕事のおかげで、人々が彼を称賛しなくても、彼は体力が役立つことに気づきました。サランは穴を掘ります 金属棒を引きずり出すのを手伝い、座って若い技術者が仕事を直すように命令するのを聞きます。電力供給塔に雷が落ちたとき、彼は断線した電線を体で支えました。しかし、拳にすべての力を入れ続けるわけではありません。彼が足で繰り返しのリズムで地面に向かって突撃を行うと、縫合糸が形成されました。彼が生き残ったのは、彼が喜んで発散したからです。際限なく耐えられるわけではないからです。

18年目、アルン村まで接地棒を運ぶ仕事に雇われたが、橋の前で立ち往生した。この騒動のせいで、彼の名前を知っている人々は、道を空けるために兵士たちを殴って来るように彼に頼んだ。タランさんは子供たちがシールドラインの後ろに押し込められているのを見た。彼が全力を出せばドアは開いているかもしれないが、人も詰め込まれるだろう。それで彼は報復することなく兵士のパンチを受けました。ニラークに内側から鎖を解放する時間を与えてください。

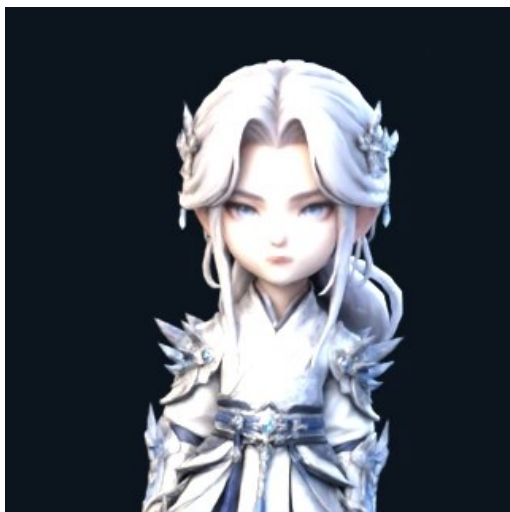
水がエネルギーコアの破片をチェックポイントから下に運ぶと、電流が橋の欄干に広がります。タランは全員に撤退を命じる。次に、金属棒を地面に打ち込みます。彼は一歩ずつ進みました。袖口がひび割れるまで足からチャージを排出します。観客は彼が何と戦っているのか知りません。永琳だけが彼女の体温が上昇するのを見て、コンセントを開けるのを手伝った。出来事の後、彼は泥の上であえぎながら横たわっていました。誰も彼が勝つとは期待していませんでした。しかし、感電死する人はもういませんでした。

アランが参加を誘うと、スキルの前にサランが相手について話します。彼は給料の一部を家族に送金し続けるよう求めた。そして、友人に、応援を追いかけ始めて目の前の人のことを忘れてしまったら、気づいてもらえるよう手伝ってもらいましょう。マリンは彼の心臓をチェックし、従わなければならない休憩時間を決定しました。どんなに戦いが終わりに近づいていても、彼はその条件を、昔先生から受けた教訓を受け入れるかのように受け入れた。

新しい接地アームバンドにはスポンサーの記章はありません。あるのは排水ホースを差し込む溝と、止まる位置を示すマークだけ。タランは新メンバーにパンチを打つ前に安全に倒れる方法を教えます。転ぶ練習は面白くないと笑う子もいました。彼も笑った。そして、起きて食事に帰ることができる人には、明日もすべてを勉強するチャンスがあると言いました。

出発の朝、昔の対戦相手は、お金を受け取ったという短いメッセージを送りました。それでも会いたくないタランは手紙を丁寧に折りたたんだ。彼は怒っていませんでしたし、自分がどれだけ変わったかを主張していませんでした。統一戦線を進める前に、彼は優勝メダルを教師の机の上に置いた。今度は、友人が安心してそばに立つことができる人間になりたかったのです。その日も彼のパンチは誰にも勝てなかった。

ARUN RPG・09 / 60



ネダオ・マンウィンヤン

ネダオ・マンウィンヤン・AR-009

役割: 精霊召喚師

故郷: 光る霧の池

武器: サウンドナイトランプ

能力: 亡くなった人の思いに耳を傾け、自発的に反応するよう促してください。

制約: 反映されるのは亡くなった人のすべてではありません。同意されていない秘密を話すために使用することはできません。

加入年: 18

電話をかける前に許可を求める音声

Netdaoは子供の頃から霧の中で声を聞いてきました。愛する人を呼ぶ声もある。帰り道を繰り返す声もあった。輝く霧の湖の中で大人たちは、自分たちの信念に従って聞いたことを説明しました。しかし、ランタン職人の祖母は、誰かの声が聞こえたからといって、その人に電話をかける権利があるわけではないとだけ教えてくれました。つまり、Netdao はランプの端を 3 回ノックし、常に答えを待つことで成長します。

特別な能力により、より多くの人があなたの家にやって来ます。古いシャツを持っている人も、時間内に話せなかったことへの謝罪と受け取る人もいます。彼女はみんなを助けたいと思っています。そこで彼は、欠けている音を完全な文章に翻訳し始めました。家族に聞いてほしいと思う言葉を追加してください。ある女性は、亡くなった夫が北部の都市で子供を捜すように

命令したと信じ、家を売りに戻ってきた。しかし、ネットダオが実際に聞いた声は都市の名前だけだった。命令は出されませんでした。

女性が借金と手ぶらで戻ってきたとき、Netdaoは残りを作成したことを認めた。告白後の沈黙は霧の中のどんな音よりも長かった。彼女は請求書の支払いを助けるために宝石を販売し、しばらくの間、答えを求める人々の受け入れをやめました。おばあちゃんは、自分の意図が十分だとは言いませんでした。でも、割れたガラスでランプを直してもらいましょう。損傷したものを通る光は変形する可能性があることを覚えておいてください。

Netdaoは彼が聞いた音を録音し始めました。明白なものと予測可能なものを分けてください。そして、映っているのは亡くなった人全員ではないことをみんなに伝えてください。いくつかの痕跡は、出発する前に感情だけを保持します。もう話したくない人もいます。彼女は、答えが「わからない」のときに人々が怒ることを許します。そして拒絶を聞くと進んでランタンを消しました。徐々に、彼女の能力は、彼女ができると主張するのをやめたもので固まりました。

ホワイト・シール・アライアンスは、死んだ兵士からコードを回収するために彼女を利用したいと考えていた。彼らは金属製のランタンを送り出し、それが壊れるまで反射を繰り返させます。Netdaoは研究室に忍び込み、人々が止めを乞う声を聞きました。ランタンを破壊してもデータは失われます。彼女は通気口を一つずつ開けた。一つの反省が自発的に道を導きます。静かに消えていく前に、彼女は彼の名前を思い出した。それは彼が彼女を助けたからではありません。でも昔は名前があったから

彼女は実験に使用された人々の名前のリストを持ってアルン村へ向かいました。橋が崩壊した夜、霧の中で音が非常に大きく、ほとんど区別がつかせませんでした。しかし、Netdaoはすべてのスターを軍隊にせよとは言っていない。彼女は船の番人の意見だけを求め、番人は答えた。水中に隠された古い柱の場所を指摘してください。生きている人たちはその情報を利用してロープを伸ばし、立ち往生している人を助け出すことができました。

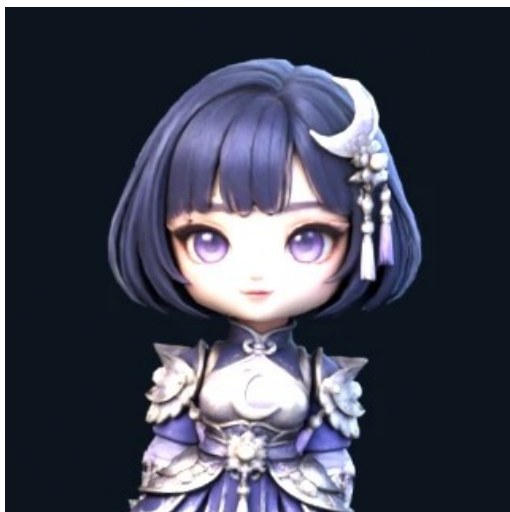
救出後 少女は母親に電話をかけ直してほしいと頼んだ。ネダオはひざまずいて、そんなことはできないと優しく言いました。子供はランタンを倒しました。彼女は文句も言わず、子供が手を握ることに同意するまでただそこに座っていました。答えがないからといって、必ずしも聞き手が放っておかれるわけではない、ということを彼女は初めて理解した。

アランの時計店で彼女は生存者の本を提供します。帰還者、行方不明者、死亡が確認された者を区別する。当局が残高を解消したかったため、名前は省略されなかった。サシンは弟の名前をあなたに伝えます。彼女は見つかるかどうかの保証なしで受け入れた。ただし、希望を偽りの証拠に変えないことを約束してください。

NetdaoはArun Coalitionに参加し、コミュニケーションと記録の両方を担当します。彼女は内側から点灯できる音を返すランプも作ることができます。反応する反射はいつでも離れることができます。帰る前におばあちゃんは、「真実よりも明るく輝かせてはいけない」という言葉

が書かれた透明なガラスをくれました。彼女はそれをランプの隣に貼り付けました。それから彼女は霧の中に歩き、自分に何も与えない音に熱心に耳を傾けました。

ARUN RPG・10 / 60



アサラ・デーンガルン

アサラ・デーンガルン・AR-010

役割: 竜の槍兵

故郷: パープルスターキングダム

武器: スカイリピーター

能力: 力を直線状の波に集中させ、3点の支持点でエリアをホールドします。

制約: 中心方向は変更できません。他人に邪魔されない道を選ばなければなりません。

加入年: 18

玉座の反対側を向いた槍の先端。

アサラはパープルスター王国の訓練場で育った。彼女の赤い髪は幼い頃から目立っていた。彼の父親は修理工でした。軍人ではない彼は、鉄の刃はシャフトが力に耐えられるところまでしか届かないと教えた。しかし、彼女がボディガード部隊への参加に選ばれたときよく聞かれる教訓は、優秀な兵士は一度命令を出されたら振り返らないということだ。

彼女は決して油断をしなかったので、部隊長にまで上り詰めた。彼女の攻撃は部門内で最も正確で強力かつ直接的です。王宮が彼女を安定の象徴として利用するまでは。アサラはその栄誉を歓迎します。なぜなら、彼らは自分たちが受け取った力が祖国をさらに守るのに役立つと信じていたからです。彼女には、誰がその壮大な光景から追い出されるのかが分かりませんでした。

暴動を鎮圧するという使命を帯びた彼女は、未払い賃金を要求する労働者たちと出会うことになる。指揮官は群衆を分断するために槍を命じた。アサラは立ち上がると、大人の脚の間に子供の手が見えた。力が解放されると、彼女は時間内に方向を変えることができませんでした。そこで彼は肩が脱臼するまでひねって力を吸収した。衝撃波は人の代わりに壁を切り裂く。石が割れる音が響き、中庭全体が静まり返った。彼女は街中の人々の前で命令に従わなかったただけだ。

軍事法廷はその行動を躊躇と呼んだ。彼女は本当に躊躇していたことを認めた。そしてもっと早く躊躇しなかったことを後悔しています。アサラは階級を剥奪された。しかし、彼の部隊メイトの一人が彼のために命令書のコピーを隠しました。文書によると、要求が市に届く前に武力行使が計画されていた。そして彼女は、権威がすでに選んだ答えになるように自分が訓練されてきたことに気づきました。人の質問を聞かずに

軍隊を去ったからといってすぐに彼女は自由になるわけではありませんでした。部下でもない人間に対しても命令する癖がある。リピーターの修理を手伝ってくれた村人たちが名前があると言うまでは。アサラは、誰かにリスクを負わせる前に尋ね始めました。計画を説明し、拒否を受け入れる方法を学びましょう。このプロセスは一言も叫ぶよりも遅いです。しかし、誰かがその代償を払わされる前に、彼女に間違いを気づかせてください。

アルン橋の夜、彼女は検察書類を持って検問所を通過した。その兵士が命令されたのと同じことをしているのを見た。アサラは古い記章を地面に置いた。証言することを約束して道を空けるよう兵士たちに頼みます。門番が拒否したとき、彼女は彼に突進しなかった。ただし、橋のたもとに中継器を設置してください。3つの支持点を使用して、難民が通過できる支持線を作成します。

縫合糸の力は、かつて彼女が破壊するためだけにあると考えていた力を利用することで生まれました。永琳は応援した瞬間に氷の階段を作った。サシンは動きを止めたまま影を横切った。阿蘭が受けた力は規格外だった。槍がいつ飛ぶかは誰もが知っているはずだ。誰もヒーローの小道具にすぎません。アサラは、以前の階級では決して与えられなかった強さを感じました。

10人が次に何をすべきかを話し合ったとき、彼女はメンバーがリーダーの様子を確認できる移動部隊を提案した。またボディーガードには難民に自分の選んだ道を強制する権利はない。マリリンには負傷者を助けるために戦闘を中止する権利がある。Nirachは、チャンネルに間違った注文を報告するよう要求します。アサラさんは、まだ肩が痛い手ですべての質問を書きました。彼女は古い軍隊を新しい名前で再建することを望まなかった。

父は私に新しい槍の柄を送ってくれた。力に耐える強度がありながら、ねじっても柔軟です。アサラはそれをスカイランスと名付けた。出発の前夜、彼女は鏡の前に立ちました。最後の装飾を外します。代わりに、彼は労働者から渡された簡単な布を結びました。彼女は今でも故郷を愛しています。しかし、その愛が彼女を、家を守るべき人々に再び武器の先端を向けさせることはないだろう。

アルン戦線創立の日の朝、彼女は行列の最後尾に立っていた。負傷者のカートが全員出てきたことを確認してください。スピーチをするための高い壇はありませんでした。泥の中に車輪がはまっただけで、それを押して組み立てる必要がありました。カートが動くと、腕が痛くなりながらもアサラは笑った。最初にひざまずいて命令を受ける人がいない状態で、彼女が人を前に導いたのはこれが初めてだった。

ARUN RPG ・ 11 / 60



ヴァジラウェイ・アクラサワン

ヴァジラウェイ・アクラサワン・AR-011

役割: 門番

故郷: 世界の間のシラゲート

武器: アナルバトン

能力: 衝撃から避難している人々に避難場所を提供する保護区域を設定します。

制約: 彼がその中に立つと、ゾーンが存在します。そして、内部の生命はすべて同じ重さです。

加入年: 19

扉を開けることを選んだ巨人

ヴァジラウェイはゴール中央に立つように持ち上がった。彼の大きな体格、緑色の肌、重い指揮棒は、先祖が何世代にもわたって行ってきた仕事に理想的な人物でした。通り過ぎる人は、彼を人間というよりも彫像として認識することがよくあります。彼は、門番が聞く必要がないと思った人物から秘密を聞きました。そして、儀式の賞賛よりも、影で休んでいる家族からの食べ物の匂いを思い出してください。

空のない夜が明けて 世界と世界の間にある石造りの門は、重要な通過点となった。ホワイトアザラシ連盟は彼に渡航資格のある者のリストを与えた。Vajrawej は秩序の維持に貢献することに誇りを持っています。彼はそのアカウントを誠実にフォローしました。たとえ一度水を分け合った相手を拒絶しなければならないとしても、ほんの少しの例外が扉全体を崩壊させると信じられているからです。

ある日、パンという石工が出産中の妻を連れてきました。免許証が雨に濡れてシールが色褪せてしまいました。ヴァジュラウェイ、職員の確認を待ってください。パンさんはひざまずいて医者に見てもらう方法を尋ねた。彼はまだ指示どおりに立っていました。赤ちゃんは隣で生まれ、一命を取り留めた。しかし、母親は出血多量で歩けなくなってしまいました。パンは叱りに戻ってきませんでした。彼は見慣れた巨人に挨拶するためにただ見上げることをやめた。

沈黙は呪いよりも長くヴァジュラウェイに続きました。彼は規則を一つ一つ見直したところ、どの規則にも病人を危険にさらされるまで待たせてはならないと書かれていないことがわかった。意思決定の難しさよりも会計の確実性を選択するのは彼です。緊急ルート追加要請時 指揮官は警棒の仕事は考えることなく阻止することだと答えた。

19 年目: ルートをパトロールするアルン同盟部隊とともに難民のグループが到着しました。亀裂から破片が落ち始めました。しかし、外に未登録の人たちがいたため、当局はドアを閉めるよう命じた。ヴァジュラウェイはそのグループのあざに気づきました。生まれた子を足元に抱えてバトンを振り上げた。追い払われると思って皆後退した。警棒の先端が内側のボルトに叩きつけられ、折れる前に。

彼は人々の周囲に保護区域を設けた。境界線の下にいる人がバッジを持っているかどうかに関係なく、すべての岩からの衝撃が均等に彼の体を通過しました。ヴァジュラウェイは膝が崩れるまで全てを受け止めようとした。そのとき、アサラが空間を分割するように言っているのが聞こえました。アランは前線をサポートします。永琳がバイパスを作る。彼は、全員が受け取りを手伝うためのエリアを減らすことに同意した。ドアが落ちないようにするには、1 人の人に頼るべきではありません。

最後の一人が出てくると、警官は解雇を告げ、警棒を取り戻した。ヴァジュラウェイは前哨基地のバッジを返した。しかし彼は、道を塞ぐために警棒がどのように使用されたかの証拠として、警棒を保持するよう求めた。彼はパンに会いに行きましたが、過去を忘れてくださいとは言いませんでした。治療費を援助することを申し出て、家族を医者連れて行ってください。パンは助けを受け入れますが、私はまだ彼を友達とは呼びません。

統一戦線キャンプでは、ヴァジュラウェイは光を遮るのを恐れて火から遠く離れたところに座っていた。パンの子供が近づいてきて、脇腹が温かいかどうか尋ねました。彼は許可が下りるまで子供に触れずにその場所を移動した。その瞬間、彼は、保護とは人々を影に閉じこめることではないことを理解しました。それは彼らに留まるか立ち去るかの選択を与えることです。

避難ポイントガードとして加入した。すべてのエリアで出口を明確に定義します。彼が求めた最初の条件は、助けを求める人たちを威圧するために自分の容姿を利用しないことだった。再び退場するとき、ヴァジュラウェイはゴールの真ん中に立っていなかった。彼は開いたドアの横に立っていました。そして通り過ぎる人々の名前を、言いたがる限り数えた。

ARUN RPG ・ 12 / 60



ヒラン・ワユカオ

ヒラン・ワユカオ・AR-012

役割: クラウドモンキーウォリアー

故郷: メカンコミュニティ

武器: トリペットカオ

能力: 風を踏み、素早い動きでフェイクリズムを生み出します。

制約: 風は無制限に重さを運ぶことはできません。他人を乗せるとスピードが落ちます。

加入年: 19

灰の上の笑い

Hiran は Hanging Cloud コミュニティで生まれました。猿の少年は書く前にバランスをとることを学んだところ、彼は軽くて白い毛皮で、とても簡単に笑ったので、長老たちは彼の笑いが地面に落ちることができなかったと言った。アクロバットを披露するために使われるショートバチェロレッテは姉のものです。綱渡りで家を養う人。彼女は、良いジョークは聴衆をリラックスさせなければならないと教えています。ロープ上の人々の注意をそらさないようにしてください。

彼の名声により、彼はコミュニティから離れて検問所でパフォーマンスを行うようになりました。ヒランは拍手が好きで、難しい話題をジョークで避けます。母親が病気になり始めたとき、彼は帰国せずにさらに多くのお金を送り返しました。姉から、老朽化したコミュニティロープの点検を手伝ってほしいと頼まれたときのこと。彼は彼女が心配しすぎていると言っ

た。その後も市内で大きなライブを続けてください。

その季節の嵐が雲の橋を壊しました。多くの家が下の崖に倒れた。姉が時間内に避難者を先導したため、死者は出ませんでした。しかし、彼女は足を負傷し、綱渡りをする事ができませんでした。ヒランは高価なお土産を持って戻ってきたが、置き場所がない。彼はいつものようにみんなを笑わせようとした。姉が、すぐに冗談にせずに後悔を受け入れられるかどうか尋ねる前に。

彼は家の修理のために滞在しましたが、誰も見ていないところでの仕事は苦手だと気づきました。敏捷性を利用して物を運ぶことができます。しかし、重い梁を一人で持ち上げることはできません。ヒランが梁を落下させ、技術者は崖から落ちそうになった。彼は自分には何でもできると宣言するのをやめ、その代わりに体重について尋ね、アンカーポイントについて尋ね、そして誰が準備ができているかを尋ねることを学ばなければなりません。彼はまだ笑っていません。しかし、私はまた、他の人の笑いの裏にある答えにも耳を傾け始めました。

仮設の道を張りながら風の上を歩く力が現れた。彼は流れを踏み、見事に向こう岸まで浮き上がった。しかし、子供を背負って帰るときは、重みが加わって風が吹いて倒れてしまいます。ヒランは剣を使ってロープを捕まえます。指先からは血が出ています。子どもがしっかりと抱き合う中、彼は地域社会全体に引っ張り出すよう呼びかけた。彼の呼びかけに最後のジョークがなかったのは初めてだった。

19 年目: ワリンの一行が崖に救助ルートを開くために到着します。ヒランは昔ながらの自信を持ってリードした。ダンの刻印機によって峡谷の風が変わったことに気づく前に、彼はみんなの前で自分の判断が間違っていたことを認め、撤退した。採用担当者らは彼を卑怯者だと非難した。しかし、彼に従っていた人々はまだ生きていて、戻ってきて新しい計画を立てることができました。

次の旅行では、彼は荷物を分割し、休憩を計算し、素早いアニメーションを使ってカタパルトを補助線から引き離しました。トリ・ペトカオは、物語の中で敵を斬首するつもりはありません。しかし、それは釣り糸を引っ掛けたり、錨を固定したり、後続の人々を保護したりするために使用されます。他の人が同伴できるほど速度を落としたとき。かつてはワンマンショーだったものが、コミュニティへの架け橋となった。

彼にアルン同盟と一緒に旅をするように言ったのは彼の姉でした。彼女は、彼の人生を永遠に止めて代償を支払ってほしくなかった。ただし、指定した日にちに帰ってきてください。ヒランさんはトライハンドルに納品日を記入し、収益の一部を橋の修理部門に残した。彼は大きなお土産を買うのをやめた。それを良いロープ、薬、そして家の中の人々のために確保された時間に変えてください。

出発の前夜、彼は子供たちに低いロープで小さな曲芸ショーを披露した。私が失敗したとき、姉は私の隣に座ってドラムを叩いていました。彼はそれを自慢でごまかさない。しかし、彼はロープを握るのを手伝ってくれた人に頭を下げて感謝した。安全と一緒に笑う子供たち ヒラン

は、笑いが灰の上にも立ち上ることができることを知っています。傷つけている人に傷つけていないふりをさせるために使われない限り。

ARUN RPG ・ 13 / 60



シクラム ワリン

シクラム ワリン ・ AR-013

役割: 十声の王

故郷: 石の迷路

武器: ポリフォニックボウ

能力: 10 個の面が異なる角度を認識し、武器の軌道の計算に参加します。

制約: 内なる声がお互いを拒絶するとき 合意に達するまで身体は静止したままになります。

加入年: 19

聞くべき王

シクラムには十の顔がある。しかし玉座の間では、ただ一つの声だけが話すことを許された。彼は子供の頃から、公衆の面前で最も穏やかな顔を選ぶように訓練されてきました。恐ろしい、疑わしい、または優しいファサードは宝石で覆われています。王室教師は、王はためらってはいけないと言った。なぜなら、自分自身と議論する人を人は信頼できないからです。

雷鳴の夜の後、石迷宮都市の王位を継承した。交易路は遮断された。都市には食料が不足している。シクラムは物資を受け取るために下門を管理する権利と引き換えにホワイト・シール・アライアンスと契約を結んだ。下流都市が逃げ場を失うと抗議する声もあった。しかし彼は封印の呪文で声を抑え、拍手の中サインした。

何年も経った今でも、上層都市ではパーティーが開かれていました。下のセクションでは、日

数ではなく食事のカウントが始まります。シラクラムにはいつもきちんとした報告が届きます。配達員の少年が王室の郵便箱に乾パンを隠し、なぜ陛下の食べ物が私たちのものと違うのかと尋ねるまでは、彼は調査を命じたところ、当局が苦情を感謝の言葉に変えて彼に送っていたことが判明した。

彼を最も動揺させたのは、騙されなかったことだ。しかし、繰り返しの苦情を禁じる規制については同氏の承認の署名が見られている。封印された面々が一斉に叫び始めた。式典の途中で彼の体が止まった。彼の口からはいかなる命令も出てこない。兵士たちはそれが襲撃だと思った。彼が止める声を集める前に、何人かの無実の人々を逮捕した。

シラクラムは宝石を外し、階下へ歩いて行きました。彼は叱られ、食事を拒否されました。そして、演説をする代わりに病人に会いに行くよう求められたが、彼は沈黙を強制するために兵士を使うことなく耳を傾けた。10の顔が同じ家を10の角度から見ます。お金で埋め合わせた顔もいる。役人を処罰したいと考えている人もいる。最初の承認者がすぐそこに立っていることを知っている人もいました。

19年目、連邦の前哨基地は約束を守るためにその下の門を永久に閉鎖する。シクラムは禁止を取得しようとした。しかし、古い封印は新しい秩序に対する権威を持っていました。その後、彼はマルチサウンドボウを使用して、彼が守っていたメカニズムを破壊しました。人が逃げたり十字砲火に巻き込まれたりできないように、各面は同じ方向を計算する必要があります。彼の体は、王位と人々を傷つけた約束の両方を守ることができないことを受け入れるまで凍りついていた。

最後の矢は下層都市への通気口を開いた。しかし、地震の力で上の玉座の間は破壊されました。シラクラムは王の紋章が手につかずに落ちるのを見た。避難ルート沿いで支援していたアルン戦線は、彼が労働者の家から石の板を運んでいるのを発見した。彼には無冠ではあったが、それでも取り除くことのできない責任があった。

同氏は物資を整理する権限を自治会に返還すると発表した。すべての契約アカウントを開き、犯罪を検討するプロセスに入ることに同意します。連合への参加は、都市への秘密ルートの回復を支援する使命です。それは裁きから逃れることではありません。彼は人々が仕事を検査するために信者を任命することを許可しています。そして毎回の会議では反対者の席を守りましょう。

街を出るときパンを届けた少年は、もう一度王にならないかと尋ねました。シラクラムは、ラジャクルが許したよりも答えるのに時間がかかった。「また戻ってきて答えを聞きます」と彼は言った。十人の顔がすべてに同意したわけではありません。しかし、ページは閉じられませんでした。したがって、彼が学んでいた強さは、必ずしも単一のコマンドを持っているということではありませんでした。もしそれが、その結果を受け入れなければならない人たちに責任を持って決定を下すのに十分な期間、複数の意見を持ち続けているのであれば、

ARUN RPG・14 / 60



タラケス

タラケス・AR-014

役割: 冥界の川の番人

故郷: 根の川

武器: 牙と鱗

能力: 水中を移動し、同じ水に流れる毒を認識します。

制約: 何もないところから水を作り出すことはできません。鱗には限られた量の毒を保持できる

加入年: 19

国境を覚えていない水

タラケスは水の味で世界を思い出す。彼は寒さでどの山に雨が降っているのか知っていた。鱗を通り抜ける甘い香りで、土手の果物が熟していることがわかります。地下には何百もの井戸を繋ぐ川があります。そして、彼の部族はあまりにも長い間それを維持してきたため、人類はそれぞれの井戸が別々のものではないことを忘れていました。

幼い頃、彼は運河に登って、子供たちが運河沿いの物語を語るのを聞くのが好きでした。梅雨のたびに子供が花を投げます。彼は成長するとダム建設者になった。少年は大都市に水を配る計画を持って戻ってきた。タラケスは親しみを信頼します。季節に応じて開放されると信じて、流域を遮断するゲートの建設を許可した。彼は契約言語を勉強したことがありませんでした。そして、一時的なという言葉は、それを言った人の人生よりも長く続くとは思えません。

根層を流れる水は年月が経つと苦くなります。小さな池は大きな池の前に枯れてしまいます。彼の部族は人間への対抗として地下水路を閉鎖するよう命令した。タラケスさんは、ダム建設者の息子が泥をすくって家に持ち帰るのを見たが、それができなかった。そこで彼は、村を救うために、狭い岩の水路に川を密かに導きました。しかし、その道は部族の孵化池から水を引いていました。一部の卵は成長を停止します。川全体を考えない優しさが新たな被害を生む。

タラケスは罪を認め、原因を探るために旅をする。彼は、編集できなくなった図面を抱えて病気で横たわっている老ダム技術者を見つけました。新しい所有者は、何も知らせずに工場のパイプを追加しました。老人は怒ってタラケスにダムを破壊するように頼みます。しかし、もしダムが決壊すれば、有毒な水が下流のコミュニティに洪水となってしまいます。タラケスは歯を食いしばり、問題を解決する時間がなかったことを謝る代わりに、発散する方法を求めた。

19 年目、Linyu と測量士たちが水質の記録を持って到着しました。彼らはすぐに同意しません。彼女は病人を助けるためにパイプを早く開けたいと思っていました。彼は、卵孵化池が再び損傷するのではないかと心配していました。二人は岩の上に地図を広げ、同じシートに人間の家と地下の生命源を埋めた。初めて、紙の余白を越えて描画される辺がなくなりました。

技術者が方向を変える間、タラケスは体を使って水門を固定します。彼は鱗から毒の一部を吸収した。しかし、鱗が黒くなり始めたとき、彼は唯一の犠牲ではなく、その信号を受け入れました。エイリンは流れの速度を下げます。マリンさんは水をろ過するために植物の区画を整えています。そして海岸沿いの人々は交代で土砂を運びます。作業は数日間続きました。すべてを浄化する単一の波はありません。

最後の卵が動き始めた夜、胆汁は根層に逆流します。タラケスは誰からも英雄として歓迎されなかった。長老は彼の不従順に対してまだ怒っていました。しかし、地上コミュニティと協力して水をチェックするという合意には同意した。彼は、断絶した水道を探すために有志連合とともに去るよう求めた。そして双方が読めるように地図を送り返します。

ダム技術者は子供のころに拾ってきたドライフラワーを持ってきました。タラケスはすべてが許されたというしるしとして保管されているわけではありません。彼はそれを修正された水門モデルの隣に置きました。絆は行動を通じて維持されなければならないことを思い出させてくれます。それは責任の代わりになるものではありません。

出発前、彼は水から上がり、運河沿いの子供たちに自分の全身を初めて見せた。子供は川は誰のものかと尋ねます。タラケスは家の両側から光を見て、それだけでは誰も飲めないと答えた。彼は、水を維持することが何度も繰り返されなければならない仕事であることを承知しながら、まだかすかに苦い流れの下に移動しました。それは一日で宣言できる勝利ではありません。

ARUN RPG ・ 15 / 60



スリヤバック

スリヤバック ・ AR-015

役割: 太陽翼の戦士

故郷: 浮島の間の崖

武器: 黄金の爪と翼

能力: 揚力の流れをコントロールし、翼で風の力をカットします。

制約: 狭いトンネルでは飛べない 羽を失った翼は回復する必要があります。

加入年: 19

独自仕様ではない空

スリヤバックはロイ島の崖で、高さが安全であることを学びました。大人たちは地球の影を指差し、上に飛べないことの危険性について語りました。彼は黄金の翼を持つ戦士に成長した。彼らは北の国境をパトロールしており、自分たちが守る空は一族の遺産であると信じています。

彼はかつて、商飛行船にバッジがなかったため、通気口から商飛行船を追いかけたことがある。墜落したとき、彼は侵入者を追い払うことに成功したとだけ報告した。数か月後 島の子供が難破船からオルゴールを修理に持ってきました。中には受取人の名前、同じ年の子どもの名前が入っていた。スリヤバックは、船に乗っている人々を、目的地を持った人々だと考えるようになりました。地図上の線を侵犯する黒い点ではありません。

亀裂が入ると空気の流れが変わり、浮島はバランスを失い始めた。ウィング評議会は、コミュニティが生き残るためにすべての換気口を閉じるよう命令しました。スリヤパックも後を追いついて、下の地面には雨が降っておらず、送水ポンプのブレードの回転が止まっていることを発見した。彼は報告書を提出した。しかし、飛べない人々の問題はスカイガーディアンの責任ではないという答えが返ってきた。

彼は自分自身を検査するために下に行き、村人たちに石で打たれました。船を追いかけた翼を覚えているから。スリヤパックは突風でほぼ反応した。目の前に、同じオルゴールを持った女性がいた。彼女にルールの説明は必要ない。彼女は、船に乗っている兄弟がどこか別の場所に着陸する機会があるかどうかを知りたかったのです。彼はその日、退学が成功したことを一度も見たことがなかったため、知りませんでした。

スリヤパックは残骸を捜索し、廃坑で2人の生存者を発見する。隙間を通過する際に翼の羽が破れてしまいました。彼は彼らに手を伸ばしましたが、飛ばすことはできませんでした。そのため、彼はかつて翼のない世界として軽蔑していた場所に留まり、助けを待たなければなりません。暗いと人の声が聞き取りやすくなります。ある男性は、聞き手がボートを沈没させた張本人であることを知らずに、娘の話をします。

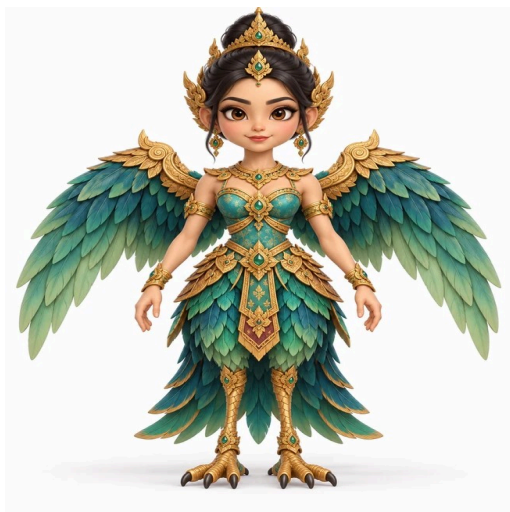
それらはタラケスと地下水の調査をしていた部隊によって発見された。スリヤパックさんは鉋山を出る前に生存者に告白した。どちらも容赦のないものだ。しかし、彼は道具を持ち帰って証言することを許可した。彼は数週間翼を休まなければならなかった。その間に地上での作業を行います。目的地に遅れて到着しても、歩行者の人生の価値が下がるわけではないことを学びましょう。

19年目、浮島は嵐に遭遇した。市議会は彼に、戻って再び風を止めるように求めた。彼は代わりに地面との共同排水路を開くことを提案した。村人たちは支柱の建設を手伝い、タラケス氏は海域を保全し、潮流を率いて島から撤退し、領土の一部を失った。どの側もすべてを手に入れることはできません。しかし、2つの世界はお互いの生存を糧にする必要はありません。

スリヤパックは空路の支配者の地位に戻り、連合の空路を測量する責任を引き受けた。どの旅行にも着陸地点と、飛行機に乗れない人を助けるための計画が必要です。彼は船から消えた人々の家族の元に一人ずつ戻っていった。見つけたものを送って、知らないことについて真実を伝えてください。

新しい翼の羽が生えるとき、彼はいつものように高く飛ぼうとはしませんでした。しかし、それはカート道の道を上空で飛行し、歩いている子供たちの目に見えました。誰かが助けを必要としている場合、彼らはどちらに電話すればよいかを知っています。スリヤパックは今でも空を愛しています。しかし、この愛は、他の人々の旅にも十分に広げたいと思うようになりました。

ARUN RPG・16 / 60



リンパクサ

リンパクサ・AR-016

役割: ウイングソングライター

故郷: 翡翠の森の鐘庭園

武器: 翼とブレスレット

能力: リスナーの呼吸のリズムを整えて、集中力と動きをサポートします。

制約: 心をコントロールできない 無理に歌ったことでエネルギーのリズムが崩れた。

加入年: 19

飛行許可を求めない歌

リンパクサさんは、子守唄よりも母親のブレスレットの音の方がよく覚えています。母は、四季折々の音が枝にぶら下がっている鐘庭の管理人です。少女は雨から逃れる鳥を見てダンスを学び、労働者の休憩音を聞いて歌を学びました。彼女はその美しい羽と、部屋全体を静めるほどの声を買われ、翡翠の森領主の劇場への入場者に選ばれた。

劇場での生活は外から見ると華やかに見えます。服は素晴らしく、食べ物は美味しく、誰も自分でお金を稼ぐ必要はありません。ただし、ドアは指定された時間にのみ開きます。たとえ悪い知らせを受けても、出演者は笑顔でいなければなりません。そして、どの曲も劇場のオーナーへの賛辞で終わる必要があります。リンパクサは徐々に歌が上手くなり、自分の考えをあまり話さなくなりました。

彼女にはイングという名前の友達がいます。終わりのない曲を書くのが好きな人。あるとき、イングさんは、病気でステージに上がる資格を剥奪された父親に会うために、パフォーマンスをやめてほしいと頼んだ。リンパクサ氏は地位を失うことを恐れて反対しなかった。その夜、彼女は友達のために泣きました。最も長い拍手を受けたしかし、カーテンの裏では、イングが過去に遡って徴収されたトレーニング費用の借金を残して劇場を去ったことが判明した。

リンパクサさんは一部で歌えなくなった。バンドのリーダーは彼に聴衆のことを考えるように言いました。その代わりに、彼女はそこに立つことを許されなかった人々のことを考えました。そこで彼女は、賞賛の言葉を一切使わずに、労働者が歩くリズムに基づいて短い歌を作曲しました。練習中に、リスナーが自発的にリズムに参加すると、全員の呼吸が同期し、重いシーンを持ち上げやすくなることを発見しました。しかし、歌うよう命じられると、その音は力が失われるまで揺らぎます。

重要な式典の当日、劇場のオーナーはデモ参加者を黙らせるために武力行使を命じた。リンパクサは、自分が人の心をコントロールできないことを知っています。そしてそれができるふりをすることを拒否した。彼女は歌の途中で立ち止まった。聴衆の前で、労働者にはまだ給料が支払われていないことを告げる。その沈黙は魔法によって引き起こされたものではありません。それは、劇場で言うてはいけないフレーズを誰もが聞いたばかりだったからです。

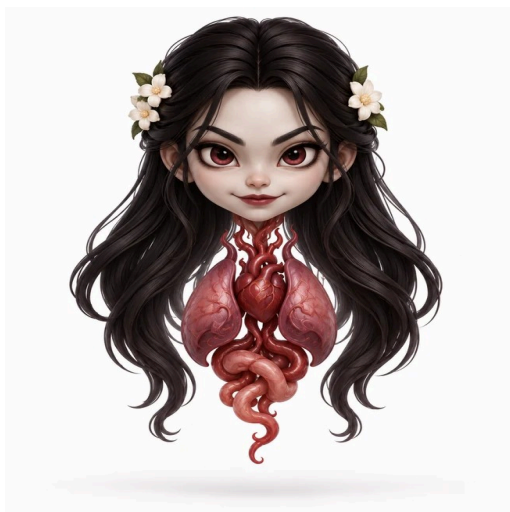
彼女は衣装部屋に閉じ込められていた。翼は狭い空間を通して体を運ぶことができません。リンパクサはイングが作曲したリズムに合わせてブレスレットを叩きます。外の作業員は逐一覚えていて対応してくれました。彼らは一緒に、ヒーローが屋根を飛び越えることなく、ヒンジからそれを外します。ドアが開くと、イングはワリンと一緒に立ち、人々を閉鎖ゾーンから連れ出す仕事を引き受けます。

第 19 回の出エジプト記では、リンパクサは壊れやすい橋を歩くリズムを指示するために音楽を使用します。彼女は全員に、タップするのに便利な音やリズムに従って選択するよう求めています。文句を言いたくない人に強制しないでください。負傷者は同時に橋を下ることなく、力づくで渡ることができた。彼女は、美しさを道具として価値を下げることなく、努力することでもできることを発見しました。

リンパクサは、明確な給与と休憩に関する協定を結んでアルン・アライアンスに参加します。彼女は救助チームのタイミングを調整するのに役立ちました。音声信号に注意し、キャンプの人々が自分たちのストーリーを語れるスペースを開きました。イングは労働者のために共同劇場を設立することを選択した。二人は今でも未完成の曲を送り合っている。誰も他の人の声を所有することはなく

リンパクサを出る前に、スアンラカンに戻ります。彼女はブレスレットの 1 つを外し、母親のベルの隣に掛けました。手首に付けられたもう一つのバンド。新しい歌を歌い始めたとき、彼女は急いでみんなを黙らせようとはしませんでした。彼女は靴の音、笑い声、反対意見の音が共存できる余地を残しています。したがって、自由な生活の最初の曲は彼女の声だけではありませんでした。

ARUN RPG・17 / 60



ラリン・ラティカン

ラリン・ラティカン・AR-017

役割: ダークガイド

故郷: 幽霊の郊外

武器: フローティングハートライト

能力: 彼は隠された力の道を見て、浮いた体で狭い亀裂を通り抜けた。

制約: 明るい光は見当識障害を引き起こす 目的地を思い出すには、誰かに手伝ってもらう必要があります。

加入年: 19

まだ帰り道を探す心

ラリンはかつて裁縫師で、暗い場所でも色を見ることができました。彼女は古いシャツを修理するのが好きです。それは、破れによって、それを着た人がどのように生きてきたかがわかるからです。彼女が住んでいた郊外には、染料工場の下に隠された廃門があった。ある夜、彼女が迷子になったとき、亀裂が目覚める。赤い光が地面を貫通し、そして私が再び目を開けると、彼女の体は決して同じではありませんでした。

ラリンの浮いた部分が彼女を海峡を通過させた。彼女はまだ考え、話し、知り合いの名前を思い出することができます。しかし、常に他人のショックが彼女の声よりも先にありました。ラリンは染料工場の近くに隠れた。同じ部屋に戻って一晩過ごし、修理した針とシャツを集めました。彼女は食べ物を手に取る勇気がなかった。自分たちの失踪が自分たちの恐ろしいことを裏

付けるために利用されるのではないかと恐れている。

彼女を発見したのは、ドゥアンという名前の隣人でした。ドゥアンはショックのあまりランタンを落としてしまいました。しかし、ドゥエンが縫うのが好きだった縫い目についてラリンが文句を言うのを聞いて、彼は走るのをやめた。二人はすぐには抱き合いませんでした。彼らはドア越しに何晩も話し合った。何が変わらず、何が調整される必要があるかを学びます。ドゥアンは、ラリンが明るい光に混乱したときに見えるように、帰り道の標識を作るのを手伝ってくれました。

噂によりナイトハンターがコミュニティに加わりました。彼らは自分たちの安全を守るのに役立つと主張しています。しかし、彼らは難民の家から物を運び始めました。ラリンには一人で街から逃げるチャンスがありました。しかし、助けた子供が染物工場の下の部屋で再び姿を消した。そこで彼女は人生を変えた場所に戻ります。ドアの割れる音がまだ怖かったのに、彼は震えた。

ラリンさんは壁の下にエネルギーの通り道が見え、それを通り抜けて子供に届けることができました。しかし、狩人のサーチライトが彼女を迷わせた。彼女はその子供に、自分は怖くて、ドゥアンが作ってくれたサインを読むのに助けが必要だと話した。子供は時間をかけて通りの名前を一つ一つ言いました。ラリンは、すべての方法を知っているふりをせずに、その声に従いました。

19年目 行方不明者の通報を受けてネットダオとニラックが到着した。彼らは、ラリンが浮遊ハートライトを使用してインプリントマシンが隠されている壁を指し示しているのを発見しました。Netdaoはまず、彼女にどのように電話すればよいかを尋ねました。あなたが何者であるかを尋ねないでください、ラリンはその事件の後、見知らぬ人の前で初めて自分のフルネームを言いました。彼女の声は震えていた。しかし、急いで声を上げる人は誰もいなかった。

証拠は恐怖を利用して家を盗む捕食者グループを明らかにするのに役立ちます コミュニティは一日で恐怖をやめるわけではありませんでした。ドゥアンさんは、ラリンさんが自分の時間を選んで、一度に1グループずつ人々と会うように手配しました。謝罪する人もいれば、まだ準備ができていない人もいた。彼女は再び窓の布地を補修する仕事を始めた。無断で強い光を室内に照射しないでくださいとの表示あり。

ラリンは水路探索者および隠された力の探求者として同盟に参加します。彼女は、旅行パートナーに別のルートを常に覚えておくよう求めています。そして、その外見を利用して村人を怖がらせるような任務を拒否します。新しい能力は彼女が学ぶことができるものです。しかし、だからといって彼女の人生を決定する権利を他人に奪われるべきではありません。

出発する前に、ドゥエンはラリンが修理したシャツの片方の縫い目が曲がっていたものを返却した。「あなたが戻ってきて文句を言うてくれるようにしておきます」と彼女は言いました。ラリンは笑いながら針を箱に入れました。彼女はまた、自分の変化を理解する方法を見つけたいと考えていました。しかし、人生は始まる前の状態に戻るまで待つ必要はありません。人が

怖いと呼ぶ暗闇の真ん中で、柔らかな明かりを灯して待つ家の中、彼女は出発した。

ARUN RPG ・ 18 / 60



プーミン・カンハン

プーミン・カンハン・AR-018

役割: 田んぼパイロット

故郷: 空の平原

武器: 二重かごと木杵

能力: 短いフライトの場合は、気流を利用して体を運び、荷物を軽くしてください。

制約: 体に力を入れなければなりません。甲羅が壊れたり、大雨が降ったりすると飛べなくなります。

加入年: 19

田んぼを空へ運ぶ人

プーミンは、近所の人が必要だと言うものを作るのが好きな農家です。彼はカートにプロペラを取り付けた。米袋用の滑り台を作り、古いカゴを使って風を受けようとしたが、藁の山に何度も落ちた。妻は笑いながらも、ヒモを縫うのを手伝った。息子に関しては、父親がいつ本当に飛べるようになるのかを尋ねるのが好きです。

夜空が割れ、平原に奇妙な流れが残った。プーミンがリズムカルな力を発揮すると、道具は風に反応し始めました。高く飛べず、遠くへ飛べず、見た目も優雅ではない。しかし、田んぼを越えれば、遠くの家に薬を運ぶのが早くなります。私をからかった人たちは助けを求め始めました。部外者からの噂により、バスケットに乗る男が夜に避けなければならない危険にさらされる前に。

プーミンはあらゆる要求を受け入れることで自分を証明しようとしています。彼は疲れていたにもかかわらず飛んだ。古いハーネスで飛行し、利用したと非難されることを恐れて賃金を請求しませんでした。ある日、彼は田んぼの真ん中に落ちました。米袋が破れ、腕が折れた。息子は、なぜ父親が良い人であるために寝る時間がないのかと尋ねます。彼は子供に対して誇らしい答えを持っていませんでした。

妻はコミュニティと話すためにテーブルを用意しました。彼らは機器の修理作業を分担します。あなたの能力に応じて交通費を手配します。プーミンさんは、助けを求めても人の価値が下がるわけではないことを学びました。風のバランスを受けてバスケットを替えた。木製の乳棒を制御ビームとして使用します。そして、一人で危険を冒すのではなく、常に誰かがロープを持ってテストしてください。

19年目、洪水により荷馬車道が数日間寸断された。商人たちは高い倉庫に米を保管している一方、バン・プライ・トゥンには食べ物がなかった。プーミンさんは、市内で高値で売るために米を輸送するという依頼を受けた。彼は断ったが、拒否するだけではイムは成り立たないので、村人を集めて各家庭に残っている米の口座を開設した。まずは人数に合わせて旅行を企画します

子供の薬が切れた夜、大雨のため飛行機に乗れなくなりました。誰もが彼に注目する中、プーミンは危うく空へ飛び出そうになった。彼の妻はストラップをつかみ、バックアップ計画はどこにあるのか尋ねました。彼は苦しそうにカゴを下ろした。木枠を使って小型ボートを接続するブイを作る前に チームと一緒に水の航行を手伝ってくれたワリンさん 全員が漕ぎ手の力で診療所に到着しました。それは奇跡の飛行ではありませんでした。

空が開くと、彼はロープを飛ばし、高い家の間に結び、毎回自分なしで商品を配達し続けました。プーミン氏の素晴らしい仕事のおかげで、人々の彼への依存度は下がり始めています。それがひいては彼を最も誇りに思うことになった。彼は、父親がそばにいなくても、息子が自信を持って結び目を他の子供たちに教えているのを見ました。

アルン・フロントは彼に輸送作業を手伝ってほしいと頼んだ。彼はとりあえず同意した。世界に対する義務を理由に農場や家族を放棄しないでください。妻は平地からの交通網を監督している。二人はご飯の汚れがついた紙の上のテーブルについて話し合った。プーミンは修理器具と一緒に種子をバッグに入れます。新しいキャンプが自分たちで食料を栽培できるように。

最初の旅行の前の朝、息子は父親が本当に空を飛べるのかと再度尋ねました。プーミンはロープの橋とすぐに使えるボートを指さした。「そうだね、でも毎日飛行機に乗る必要はないよ」と彼は子供を抱きしめながら答えた。人々が回復を手伝う野原の上に、一对のボートがゆっくりと上昇した。彼はもはやフィールド全体を一人で抱え込むことはできませんでした。しかし、どんなに遠くまで飛んでも、神は誰がそれを運んでいるか知っています。

ARUN RPG ・ 19 / 60



パナライ・バイカオ

パナライ・バイカオ・AR-019

役割: 若い根の庭の番人

故郷: チャイブエン バナナ ガーデン

武器: 葉と種の葉

能力: ルートネットワークを介して信号を送信し、葉を保護スクリーンに変えます。

制約: 生きている植物が互いにつながっているはずです。枯れた土には使用できません。

加入年: 19

root 権限

パナライさんはチャイブエンのバナナ園で目を開けましたが、自分が何歳なのか知りませんでした。私の最初の記憶は、ヤギに噛まれるのを防ぐために木の幹に古い布を巻き付けていた子どものことです。彼女は庭師から言葉を学びました。季節を根っこから学び、人は動かないものを財産と呼ぶことがだんだんとわかってきます。たとえそれが生きていて物語を覚えていたとしても

彼女は黙々と庭を手伝い、根を通して昆虫のメッセージを送ります。人々が休めるように雨よけを移動します。老庭師は彼女がそこにいることを知っていました。ただし、出頭する必要はありません。彼は食えるときに別の椅子を置くだけです。子孫は、土地権利書に別の人が住んでいることを知らずに、果樹園を染色工場に売却しました。

ファナライさんは、道具を葉っぱで包んで切断を止めようとします。作業員らは負傷し、庭園は危険だと非難した。新しい所有者は人々に根を燃やすよう呼び掛けた。彼女は、労働者たちが庭園を破壊しようとする人々に言い訳を与えていることを、労働者たちが知らないことへの怒りに助けられていることに気づいた。ある従業員は、腕に刃傷がまだ残っていたにもかかわらず、密かに彼女に警告した。彼は賃金が欲しいから、誰も家を失ってほしくない。

彼女は日中に姿を現すために森林限界から出てきた。オプションについて話しましょう。所有者は笑いながら、その木が証人になると誰が証明するのかと尋ねました。パナライは会議室を魅了できるほど上手に話せません。そして、労働者が根を保存するのに協力した小さな鉢を持って送られました。彼女は一晩中池のそばに座っていました。初めて彼の家を外から見た

19年目、リンユーは染料工場からの廃水を発見し、残った根を守っているファナライを発見した。二人は庭を取り戻すと約束して始めたわけではない。リンユーは水道についての情報を求めます。まだつながっている根を貫くファナライ それが地面に落ちると、それは死にます。彼女は探し続けることができないことを認めざるを得ませんでした。その後、彼らは証言に同意した作業員とともに歩き回り、手作業でサンプルを集めた。

試験前夜、染料工場が廃水を放出し、ファナライが根こそぎ逃げ出す証拠が残る。しかし、コミュニティが物事を動かすために、水の速度を下げるためにカーテンのネットワークを使用することを選択しました。彼女は古いトランクをいくつか紛失し、すべてを回収することができませんでした。彼女に襲われた作業員が戻ってきて、鍋を持ち上げる手伝いをした。彼女は自分の傷を消してほしいとは要求せずに彼に謝罪した。

庭園の事例は、まだ何年にもわたって手入れが必要な共同リハビリテーションエリアで終わります。パナライさんは元の家を全額返還されなかった。ただし、契約書では議決権を持つ管理者として指名されています。彼女は労働者の住宅も同じ計画に含めるよう要請した。なぜなら、斧使いの中には彼のようなルーツを持っていない者もいることを知ったからだ。

彼女はアルン連合に参加し、警戒施設のネットワークを構築し、キャンプを保護しました。旅行用の鉢には水を与えて休ませる必要があり、良い土に代わるものではありません。パナライさんは友人に、許可を得て葉を摘むときは、その木がそれに耐えられるかどうかを確認する必要があると教えた。「はい」と言う権利があるからといって、すべての要求が受け入れられるに値するわけではありません。

庭を出る前に、彼女は庭師の古い椅子を新しい日よけの下に置きました。神社や神聖なシンボルとして保管しないでください。疲れた人々の席として、ファナライさんは道端に小さな芽を植え、行列についていきました。彼女の根は旅行によって短くなったわけではありません。それは、自分の人生のすべてを独り占めすることなく、人々とつながる方法を学ぶことです。

ARUN RPG・20 / 60



アンパラ ケントーン

アンパラ ケントーン・AR-020

役割: 森の記憶の番人

故郷: 千年翡翠の森

武器: 心材は音を記憶します。

能力: 木材が根の構造を蓄え、支えている出来事の痕跡を読み取ってください。

制約: 近くにあった木だけが見えます。すべての出来事を知っている人ではありません。

加入年: 19

謝罪を忘れない木

アンファラさんは、最初の斧が木に当たった音を思い出しました。その音は嫌な音ではなかった。しかしそれは生まれたばかりの子供のために家を建てている人の声だった。彼女は長い間翡翠の森にいた。人間が木材を使ってゆりかごや船、棺を作るのを見て、あらゆる伐採が悪であるとは決して思わなかった。彼女は人を次に何をするかで判断します。植え直すか切り株だけ残すか

森が世界の門の燃料になるとき 斧のリズムが機械の音に変わった。根からその知らせを聞いていた木々が、一本一本沈黙した。アンファラは、消えたものが目撃されないように、木の中心に記憶を集めます。しかし、集めれば集めるほど、過去に生きてきた時間が長くなるにつれて、彼女は目の前の助けを求めている人を見ることができなくなりました。

整備士研修生が倒木の下敷きになった。アンファラさんは自分のシャツにある会社のロゴに気づき、ためらいました。伐採された木の映像が重なって見え、怒りの音が聞こえてきそうだった。子どもが記憶にない声で母親の名前を呼ぶ前に、根を支えながら棒を持ち上げて助け出したが、足が遅すぎて完全に救うことができなかった。

ティアンという名前の子供が松葉杖をついて彼女の元に戻ってきた。彼女が期待していたように、彼は彼女にお礼を言いに来なかった。でも、失踪した同僚の居場所を知りたくて来たのです。アンファラは、事件の近くの木々が何を見たのかしか知りませんでした。彼女はかつて、自分でも信じそうになるまで、すべてを記憶している人と呼ばれていました。その日、私は知らないと言わざるを得ませんでした。キャンドルの光に導かれて、記憶が届かない森の部分を探してみましょう

彼らは労働者が閉じ込められ、地下で労働を強いられている穴を発見した。会社の落ち度は本物だ。しかし、制服を着た人々の苦しみもまた現実です。アンパラ氏は心材からの音を Netdao に持ち込み、19 年に録音しました。はっきりと見えるものと部分的にしか聞こえないものを分離することによって。彼女を質問できない知識人に昇格させることなく、証拠を使って戦うことができる。

同社は事件の痕跡をすべて破壊するために木の切り株を燃やそうとした。アンファラは、何百年にもわたって生命を維持してきた古い核を保護するか、閉じ込められた労働者を救うために根を開くかのどちらかを選択する必要があります。彼女は自分の一部を切り取って、支えの梁を作りました。いくつかの思い出を焼き尽くしてください。彼女が失ったものは完全に取り戻すことはできません。しかし、カミングアウトする人たちは、語るべき独自のストーリーを持っています。

事件後、彼女は森林が単一の金額で補償されたことを受け入れませんでした。アンファラとコミュニティは、数シーズンにわたって再植林する計画を立てました。カット禁止エリアを設定します。必要に応じて透明な方法で木材を使用する道を開く Tian は、足の弱い人でも使用できるツールの設計を支援しています。彼女は、彼がなかなか助けようとしないう傷だけを見るのではなく、現在の彼を見ることを学びました。

アンファラは心材のほんの一部を運びアルン連合に参加する。森全体を後ろに背負わないでください。彼女はドアの破壊の痕跡を探し、建物を支えるのを手伝いました。しかし、毎回言いますが、思い出には限界があります。彼女は、他人の家で植物が聞く音を誰かの好奇心を満たすために利用することはありません。

ワンジャク・ティアンは、最初の斧の音をまだ覚えているかと尋ねます。アンファラは覚えていると答えた。そしてまた新たな声を思い出した それは、苗木が並ぶ小道で松葉杖をつきながら歩く音だ。彼女は、次世代の森に被害と修復の両方を記憶してもらいたいと考えています。だって、痛みだけを抱えていたら、過去は、そこからは生命が育たない檻になってしまうから。

ARUN RPG・21 / 60



ウェリン・ヒウセン

ウェリン・ヒウセン・AR-021

役割: お腹を空かせた影の番人

故郷: 村が明かりを消す

武器: シャドークロー

能力: 人々を弱らせている残留エネルギーを地域から引き抜きます。

制約: 生命から直接排出すると、影がそれ自体を制御するようになります。彼女は残された力だけを受け入れることを選択しなければなりません。

加入年: 19

痛みを食べることを拒否した老婦人。

ウェリンは深夜のお粥屋を開いていた。彼女は顧客が何を求めるかによって顧客を認識します。生姜が好きな人もいれば、そうでない人もいます。1杯注文して2人でシェアする人もいます。大きくなるにつれて、彼女の手は震え始めましたが、彼女は自分でネギを切り続けました。なぜなら、寝る前に誰かがいるということを知りたいからです。

村の地下にある実験装置が光漏れを止めた後。人は理由もなく弱いのです。ウェリンはこれまでにないほど空腹を感じました。いくら食べても効果はありません。そして彼女の影は体よりも少しゆっくりと動きました。ある夜、彼女が気を失った客の手を握ったところ、彼の空腹は和らぎました。男はさらに青ざめていった。彼女はすぐに手を放した。しかし、この一瞬の感情が彼女を他人の噂よりも自分自身を怖がらせた。

ウェリンさんは店を閉めて厨房に閉じこもった。村人たちは聞いた話に基づいて失踪を解釈した。食べ物を残していく人もいます。屋根に石を投げた人もいた。彼女はすべてを聞いていましたが、口論しませんでした。弱っている人に近づくときに手をコントロールできるかどうか自信がなかったからだ。寂しさで影が濃くなり、声がかき消されそうになった。

プイという名前の豆配達員が、古い配達契約に従って食材を玄関先に置き始めました。ウェリンは彼に行くように言った。しかし、子供は普通の口調で残りのピーナッツを要求しました。その普通さがあなたを引き戻します。彼女は自分の空腹感に注目し、キッチンの床の下のほんの少しの光の近くで空腹感が減っていることに気づきました。必ずしも人に触れなければならないわけではないわけではありません。

19年目マリンとエイリンが村を視察する。3人は慎重に実験を行った。ウェリンが漏れている機械から残留電力を引き出すことができたことが判明した。しかし、生命から直接吸い取られた場合、シャドウは彼女に代わって命令を出し始めます。ウェリンはチームに立ち寄った。店内の客の名前を思い出せないとすぐに撤退する。善意を検証可能な手段の代わりに使用しないでください。

大雨の夜、地下の機械が爆発する。彼女はそれをクラッシュさせて、そのまま逃げることもできた。コミュニティが彼女を傷つけたからです。しかし、プイと多くの老人たちは通気口の近くで立ち往生していました。ウェリンはチームとともに倒れた。彼女は残っている力を一瞬ずつ引き出します。エイリンが通気口を手配し、マリンが彼の脈拍を監視している間。影が彼に食事を続けるよう呼びかけ始めたとき。ストップワードを言ったのは彼女だった。

彼女の体を完全に強制する代わりに、彼らは残りの部分を隠すためにツールを使用しました。村は誰も燃料にならなくても生き残った。ウェリンが店に戻ってきた。屋根から石を集めるのを手伝う人々の姿も見えました。彼女は助けを受け入れますが、告発者たちに名乗り出て真実を話すよう求めます。噂が人々に害を与え続けるのであれば、タイルを修復するだけでは十分ではありません。

彼女は残留電力管理者および野外料理人としてアルン連合に参加します。彼女を名誉ある称号で呼ぶ必要はないと主張する。ウェリンおばあちゃんだけで十分です。彼女はシャード・オブ・パワーで使用するシャドウ・クロウを携行しています。そして、同じ手でも優しいことができるということを思い出させるために、店のスプーンを持ち歩きましょう。

キャンプの最初の夜、彼女は戦闘を終えたばかりの人にお粥を出しました。ただし、手が震えたら休憩してください。疲れ果てるまで犠牲を払わなければならないとは誰も言いませんでした。物資の配達を手伝いに来たプイさんは柄杓を受け取り続けた。ウェリンは座ってカップをゆっくりと食べましたが、空腹感はまだ完全には消えていませんでした。しかし、それに巻き込まれているのは彼女だけではありませんでした。そして、生きていることを証明するために誰かを傷つける必要はありません。

ARUN RPG ・ 22 / 60



私は

私は ・ AR-022

役割: 名も無き人々に光をもたらす者

故郷: 未登録の放置地

武器: 長い腕と支えられた手のひら

能力: 建物や物体の落下から力を受け、地面に伝わります。

制約: 安定したスタンドが必要です。空腹になると力が震え、集中力が欠如します。

加入年: 19

ダイニングテーブルの席

放棄されたエリアに立っている背の高い人物の元の名前を誰も知りませんでした。彼が覚えているのは、雷雨の夜の前に、家の窓から聞こえてきた炊きたてのご飯の匂いだけだった。その後、腕、脚、空腹に耐える時間など、すべてが長くなりました。人々は彼を多くのあだ名で呼び、誰もが彼に近づくべきではないと言いました。彼はゆっくりと答えようとするのをやめた。彼の声が子供たちを怖がらせたからです。

彼は捨てられた食べ物を拾って少しずつ食べました。しかし、この大男は自分が提供できる以上のものを望んでいました。空腹のため手が震えすぎて、誤ってホームレスの小屋を壊してしまふ。小屋の所有者の男は土鍋を残して逃走した。彼は何にお金を払えばいいのか分からず、食べて泣きました。そこで彼は屋根ではなくキャンパスの上に一晩中座っていました。誰も見に戻ってこないのに

夜明けにケオという名前の米売りが彼に会いました。彼女は未知のものを受け入れませんでした。ただし、鍋を安全な距離に置き、スプーンが欲しいかどうか尋ねます。スプーンが小さすぎたので、彼は首を横に振った。次の日、彼女は長い柄のついた柄杓を持ってきました。定期的に食事をする場合は、米袋を運ぶのを手伝わなければならないと言う準備ができています。彼は仕事が見つかって安心してその取引を受け入れた。それはただ怖いとか可哀想なだけではありません。

ある日、ケウは私がまだイムなのかと尋ねました。彼は物心ついて以来初めてうなずいた。次に、食品の包装紙にある「Im」という単語を指して、それを名前として使用するよう頼みます。新しい名前でも飢えは消えなかった。しかし、他の人が呼ぶような言葉を彼に与えると、彼は振り向いたくなるでしょう。市場の子供たちはボードを通じてメッセージを送り始めました。なぜなら、彼は話すのが難しかったので、急いで答えるべきではないからです。

19年に市場地区は未登録地区として取り壊しを命じられた。逃げ道に大きな柱が倒れた。私は本能的にそれを受け取りました。縫合糸は手のひらから地面への力を分散します。しかし、足元の柔らかい土は崩れ落ちます。彼はそれを永遠に耐えることができなかった。ケオさんは全員に木片を立てるよう呼びかけた。もう少し際限なく耐えろとは言わないでください。

タランとヴァジュラウェイが救助チームとともに到着する。二人とも自分たちの力を分かち合い、自分たちが何をしているのかを段階的にイムに伝えました。全員が邪魔にならないようにすると、彼はポールを解放することができました。しかし、空腹感が強すぎて、手を制御するのが困難でした。マリンは体が必要とする休息と食事を与えました。一生懸命働いてきた彼を、要求が多すぎると非難する人は誰もいないでしょう。

私は明確に合意された賃金で市場を動かすのに貢献しています。彼はそのお金で最初の男性の小屋を修復するための木材を購入し、所有者が出てきて話すことに同意するまで待ちました。二人はゆっくりとコミュニケーションをとった。男は自分がキャンバスを支えていたことを知らなかった。それを知ったとき、彼はその恐怖をすぐには忘れませんでした。しかし、彼らが以前よりも強いもので再建するのを手伝うことを許可してください。

彼はアルン戦線の構造支援および死傷者輸送部隊に加わった。Vajrawejは、大きな手にフィットする装備の製造を支援しています。Netdaoは、誰もが学ばなければならない名前と一時停止の標識を記載したボードを作成します。私には疲れたと言う権利があります。彼のような背の高い人物なら、もっと多くのことができるだろうと考える人さえいた。

旅行前の最初の食事 普通の椅子では彼を支えることができませんでした。バンドから脱退します。しかし、友人がテーブルを床に移動するのを手伝ってくれて、一緒に座りました。ケオは大きな鍋を彼の前に置き、まずいくら欲しいかを尋ねました。彼はボードに自分の名前を書き、ポウルの横に置きました。空腹の口だけしか見えなかった世界に、人々はそこで食事をしている人々の姿を目にし始めました。

ARUN RPG・23 / 60



カチン・チャンタン

カチン・チャンタン・AR-023

役割: 橋梁技師

故郷: スリヤン オアシス クラフト シティ

武器: 作業斧と測定縄

能力: 建物の支持構造と仮接続を見てください。

制約: 実際の構造を理解する必要がある 内部にある目に見えないものは計算ミスを引き起こす可能性があります。

加入年: 19

家への道を作った整備士

カチンはおもちゃを分解し、元に戻すまで中を観察するのが好きです。彼の頭と体幹のおかげで、多くの整備士よりも簡単に部品を拾うことができます。しかし、技術者は、構造をすぐに見たからといって、急いで判断する必要はない、と警告する。彼は特に橋に魅了されました。なぜなら、ギャップの真ん中にあるものは、双方の人々を出会うことができるからです。

成長してから、彼はサン オアシスの水道橋を設計しました。この作品は賞を受賞し、市内に広まりました。カチン氏は自分の計算に非常に確信を持っていたため、テストサンプルのみに基づいて材料を代替することを会社に許可しました。彼は埋設されたパイプを見に行ったわけではない。大きな仕事を待っている整備士長に、そんな無駄な時間を費やすのはふさわしくないと考えたからである。

乾季の真っ只中に水道管が破損 道路が崩壊し、多くの小さな商店が流された。カチンさんはセキュリティ・クリアランス・ボードに自分の名前を見つける前に、急いで助けに駆けつけた。彼はその数字が正しいと説明しようとした。しかし、陶器の販売員は、どの番号を窯に戻すのかと尋ねました。その質問を聞いて、彼はファイルを置き、手で穴を掘り始めました。

彼は報酬を放棄し、完全に検証されていない情報を明らかにした。そしてその貯蓄をコミュニティの修復に使う しかし、お金はすぐに信頼を返してくれるわけではありません。カチン氏は、これまで見落としていた地元技術者の監視下で働くことに同意した。ヤシの木の栽培者から土壌の種類について学びましょう。そして、ポーターが道路が従来の道路とは異なる方法で荷重を支える方法について説明するのを聞いてください。

発掘中に、彼は初めて壁を通して強い支えを感じました。縫合糸は、サポートする必要がある溶接点を確認するのに役立ちます。しかし、固体金属の背後に何が隠されているかは明らかにされませんでした。カチンは調査もせずに自分の力を信じたため、また間違いを犯しそうになった。彼は自ら仕事をやめ、人々を先に避難させた。腐った予備配管が破裂し、中には誰もいなかった。

19年目、アルン同盟は基地だけを残して橋を通過しなければならなかった。彼は仮設道路を建設することを提案した。ただし、見栄えを良くするために一晩で完成させると約束しないでください。プーミンはロープを運ぶのを手伝い、イムはクロスバーをサポートし、アサラはクロスバーを手配します。カチン氏は縄を使ってアンカーポイント間の距離を測定します。斧が動くに必要な部分だけが切れていきます。

追跡グループが到着したとき、友人が橋を渡った後、彼は橋を破壊するチャンスがありました。しかし、この地域にはまだそのルートを利用しなければならない人々がいます。そこで彼は、自分の逃亡のために他人の家を焼き払うことなく、一時的な抑止力となる取り外し可能なセクションを作成しました。意思決定には時間がかかる しかし連合軍は、英雄の物語が終わった後も残留する人々のことを考えているのは明らかだった。

カチン氏は、少なくとも2人による検査システムを確立し、主任現場技術者として加わりました。彼は新人研修生に、分からない点を図に書き込むように指導した。きれいな線で隠さないでください。彼は送金を続け、予定通り同じ水路を確認するために戻った。新しい仕事は、古い仕事の結果を放棄する理由にはなりません。

出発前に陶芸家の女性がカップを持ってきました。サイドには明らかな縫い目があります。彼女は新しいストーブが作動していると言いました。カチンは慎重に杯を受け取り、それ以上の賞賛は求めなかった。彼は、人々が橋の創始者の名前を覚えられるように橋を架けたいと常に考えていました。今、彼は人々が彼のことをまったく考えずに家まで歩いて行けるようにしたいと考えています。そして、もし亀裂があれば、必ず一人の整備士が戻ってきて話を聞いてくれることを知っておいてください。

ARUN RPG ・ 24 / 60



シラウェット・アッカニラム

シラウェット・アッカニラム・AR-024

役割: バランスキーパー

故郷: リフト修道院

武器: トリプルバランスと両面ドラム

能力: 爆発するパワーの加速と停止のリズムを交互に繰り返す。

制約: すべてを一度に止めることはできない すべての切断の瞬間にはリリースの瞬間が必要です。

加入年: 19

世界が終わる一瞬前に

シラウェットはリフト修道院で育ちました。時間を占有する責任は誰にも与えられていません。実践者はただ、呼吸する地球のエネルギーのリズムに耳を傾けます。太鼓の端に届く前に先生に倣って両面太鼓を叩いた。別のページが急行します 別のページが分割払いで表示されます レッスン是非常に簡単に思えたので、彼は飽きてしまい、他の人ができない動きを探したくなりました。

その才能により、シラウェットさんは他の学生よりも長く噴火を止めることができました。彼は、もし永遠に立ち止まることができたら、と考え始めた。世界が再び傷つく必要はなくなります。仲間の訓練生が亀裂に落ちた夜。彼は自分の力の全てを固定化した。先生が命令しても離さない 抑圧されたリズムは溜まっていき、向こう側で爆発する。その結果、部屋は破壊さ

れ、数人が負傷しました。教師が簡単なロープを使って助けに行ったので、友人は生き残りました。

シラウェットはドラムスティックを破壊します。彼は、人命救助の努力でさえ人々を傷つける可能性があるという警告に耳を傾けたくありません。先生は彼に数シーズン力を使わずに庭の手入れをさせた。彼は、根にはスペースが必要であることを学びました。水は流れ出さなければなりません。そして、あまりにもしっかりと支えられている花は、無視された花と同様に枯れる可能性があります。

理解しても恐怖が消えるわけではありません。岩が砕ける音を聞いたとき、彼はまだすべてを止めたいと思っています。次に教師は、小さな沸騰鍋を使って段階的に蒸気を放出する練習をさせました。シラウェットは、より遅いテンポのドラムの使用に戻ります。彼は力を解放した後何が起こるかを書き留め始めました。誰もが静けさに感嘆する瞬間だけを考えないでください。

19 年目、山の地下にある連邦の刻印機に電力が供給され始め、亀裂が振動しました。アルン戦線は修道院内を移民たちを先導する シラウェットさんは、全員が出発するまで道路を維持するように求められた。しかしフォロワー数は予想以上に多かったです。彼は受け入れられる正確な時間を教えてくれました。電車の最後尾にいる人々の嘆願で心が張り裂けそうになったにもかかわらず。

彼は Tri-Balance を使用して 3 つの排水ポイントを作成しました。カチンはフレームを強化し、エイリンは熱の一部を受け取ります。そしてタランはリズムの合図を手伝う 限界に達するとシラウェットは計画に従って解放することに同意する。キャンプの代わりに用意された隙間に岩が落ちた。彼は泣きながらドラムを叩き続けた。すべてを守ると約束するよりも、何かを壊すことのほうが難しいからです。

避難が成功した後、彼は古いトレーニングルームも破壊されていることに気づきました。先生は長い間立ったまま残骸を眺めていたが、残ったドラム缶を持ち上げるのに助けを求めた。後悔を隠すための美しい教えはありません。二人は夜になるまで黙々と仕事を続けた。シラウェットさんは、正しい選択をしたからといって後悔がないわけではないことを知っていました。しかし、救われた命を否定せずに悲しむことはできます。

彼は噴火の立役者として連合に加わった。誰でも使用できる出金シグナルを設定します。古い部分と新しい木材を使って修復された両面ドラム。音は同じではありません。彼は物事を過去に戻そうとはしません。彼は毎朝、電車の速度を決める前に、最も遅い人のリズムを聞く練習をしました。

修道院を出る前に、亀裂に落ちた友人が彼にロープを手渡しました。シラウェットはそれを独身者の隣に結びました。魔法のロープのせいではない。しかし、彼はかつて彼の偉大な力ではなし得ないことをしたからです。彼は、他の形態の援助も利用できるようにするという意図で着手した。そして、私はもう世界の音をすべて止めることを平和とは呼びません。

ARUN RPG ・ 25 / 60



ニラウェイ・チャトゥラコン

ニラウェイ・チャトゥラコン・AR-025

役割: 四方のプロテクター

故郷: プラトゥ シファク 駅

武器: チャクラ、セプター、巻き貝、ガラスの蓮

能力: 生命を守り、道を切り開き、信号を送り、生命を支えるための4つのツールに集中力を分けてください。

制約: 4つの任務を同時に実行できますが、同時にフル能力を発揮することはできません。最初に助ける命を優先する必要があります。

加入年: 19

注文を出した保護者

ニラウェイには腕が4本あります。彼は幼い頃から4人で同じ仕事をすることを期待されてきた。彼は皿を運んだり、カップを洗ったり、本を読んだり、ロープを結ぶのを手伝ったりすることができました。頼りになるという褒め言葉が、疲れているとはあえて言えなくなる言葉になるまで。4つのゲートステーションが彼を奉仕に受け入れ、彼に4種類のツールと無限の任務を一度に与えました。

円盤は障害物を切るために使用されます。セプターはディフェンスラインを構築した。巻き貝が信号を送り、ケウ・ロータス、生命維持装置のチェックを彼は、手の動きが正確になるまで練習しました。しかし、瞑想は依然として一人の人間のものです。ニラウェイは、彼の体が期

待するような完璧な守護者ではなかったことが人々に知られるのを恐れて、この小さな間違いを隠しました。

一度、両側のドアが同時に故障しました。彼は援軍を呼ばずに両方を占領しようとした。コンチ信号が1周期遅れました。その結果、カートの運転手が誤解して負傷したとニラウェイは信号を飛ばしたことを認めた。しかし、彼は誰かの助けが必要であることを認めていません。彼はそれを補うためにもっと働きます。同僚が誰も信用していないと思って助けを提供しなくなるまでは。

署長はその勤勉さを利用して警察官の数を削減した。ニラウェイが存在するというだけで十分です。夜勤のポーターが制服を全部脱がされたとき、彼はそれを受け入れたふりをした結果を目の当たりにしたばかりだった。友人は、彼は駅を守っているのかと、それとも他の人を駅から消し去ろうとしているのかと尋ねました。ニラウェイさんは勤務時間簿を開く前から怒っていたが、その手帳には寝ていない時間がびっしりと書かれていた。

19年目、人々がまだ移動している間はドアシステムを閉じるよう命令されました。ニラウェイは取り残された人々の命を守る権力の中枢を維持するよう命じられる。彼はもう一度すべてを一度に試みたが、チャクラは調整を失い、王笏は震え、クリスタルロータスは消えた。彼はみんなの前でどちらの手をどの位置に置くかを決めなければなりませんでした。そこで彼は、まず呼吸困難に陥った子供を助けるために財産を守ることをやめた。

選択するとコアが1つ壊れます。しかし法螺貝の音が老役人たちを呼び戻した。バッジがなくても、誰もがこのシステムをよく知っています。ニラウェイは彼らに自分たちが何をしているのかを伝え、感謝の気持ちを込めて命令せずに各自の任務に就くように頼みます。アサラの部隊が到着したときステーションには再び人々が一緒に働いていました。そして取り残された人々は四方から連れ出された。

彼は炉心を守る義務を怠ったとして告発された。ニラウェイは同時に自分の注文と欠陥の記録を公開した。自分を美しく見せる部分だけを開くことを選択しないでください。古い信号機の被害者も証言に来ました。彼は補償の負担を受け入れ、駅所有者とは別に安全検査を行うことを申し出た。そのため、システム全体の代わりに誰かが再び使用されることはなくなります。

アルン戦線は彼を交通警備員として受け入れ、救助活動を調整した。彼は工具ベルトの内側に作業指示を書きました。引き継ぐ方のお名前を記入できるスペース付き。腕が4本あるのも利点です。しかし、それは休憩なしで4人で働く理由にはなりません。彼は、すべての道具を無駄に感じることなく配置できるという教訓を学びました。

駅を出る前に、古い友人が法螺貝に小さな鐘を結び付けました。緊急事態が発生する前に助けを求めるために使用します。ニラウェイ 振ってみる 法螺貝に比べて音がとても小さいです。しかし、そのおかげで彼は十分に呼吸することができた。彼は人々に信頼される守護者になったのです。そして彼らは、信頼には「今は手がいっぱいだ」という真実を伝えることが含まれることを理解し始めます。

ARUN RPG ・ 26 / 60



アッカニラ サハツァトラ

アッカニラ サハツァトラ ・ AR-026

役割: 衛兵指揮官

故郷: ファイヤーシラ要塞

武器: トライソード、ボウ、チャクラ

能力: 複数の腕を連携させて多方向を守り、手信号で戦列を指揮します。

制約: 各腕は同じ注意を共有します。怒りは調整を破壊します。

加入年: 19

子供を人員としてカウントしない將軍

アッカニラは祭りを知る前から戦場を知っていた。彼女はファイアロック要塞で育ち、子供たちが十分に強くなるとすぐに武器を扱えるように訓練しました。彼女は多くの武器を持っていたため、幼い頃からリーダーに選ばれました。大人たちは彼女を砦の未来と呼んでいます。彼女が望む未来がどのようなものであるかを尋ねることもせずに。

彼女は剣、弓、チャクラを使って一度に複数の系統を制御する熟練した將軍になりました。彼女の成功により、彼女は自分が経験したのと同じ方法でトレーニングする若い男性を受け入れるようになりました。あなたにチャンスを与えていると信じているからです。ピンという名前の女の子は、褒められるためにあらゆることをします。ある日、ピンさんは痛みを隠してパトロール中に転倒してしまいました。アッカニラさんは、彼の勇敢な言葉が子供たちに「やめたい」と言わせないことに気づきました。

医師はピンの治療を手伝うことができます。しかし、子供は、いつ回復するかではなく、家に送ってもらえるかどうかを尋ねました。アッカニラは自分と同じ年齢の自分を見て、斬るべき敵がいらないことに怒りを感じた。彼女は子供たちの訓練を閉鎖するよう求めた。砦の衛兵たちは人員が不足していると抗議した。そして、古い制度を維持する理由として、彼女が訓練に成功した子供たちの名前を挙げた。

アッカニラさんは子供たちを別の仕事に連れて行き、教師を手配し、本を読み、家に帰るか滞在して勉強するかを選択肢を与え始めた。多くの人は、本当にノーと言えるとは信じていません。自分の言葉を証明するために時間をとらなければなりません。コマンドひとつですべてを解決したい日もありますが。人に根付いた恐怖心を変えることは、組織を変えるようなものではありません。

19 年目、警備員が近くのコミュニティから権力の中枢を盗んだ後、要塞は包囲されました。彼は子供達をおとりとして送るよう命じた。アッカニラは兵器室に立ち、反逆罪の告発を受け入れる。彼女は、支持者がいることを証明するために、戦いたい子供たちを利用しません。代わりに、彼らは事前に選ばれた世話人とともに避難ルートに送られました。

フューリーは車列の後部を護衛中、合図の前に片方の腕を発砲させ、アッカニラの仲間の兵士たちに止められそうになったが、救急隊員と一緒にいたピンから警告を受けた。そして新しいリズムを確立します。彼女はすべての手に力を保持するのではなく、自分の道具を他の人と共有します。アサラの部隊が到着すると、二人は人々が休めるように間隔をあけて防衛線を敷いた。孤独に死ぬまで耐えなければならなかった將軍の伝説を作らないでください。

砦はコミュニティによって奪還された。アッカニラは彼の古い命令を調べることに同意する。独自の研修資金を子育て資金として活用できるよう手配します。彼女は彼らを除隊兵士とは呼びません。そもそも彼らは兵士である必要がなかったからだ。ピンは脚支持装置の製作を研究することにしました。そして、アッカニラが毎回時間通りに来るストラップのメジャーとして来るように彼女に頼みました。

彼女は護衛を組織し、危険を冒す準備ができている意欲的なボランティアを訓練するためにア alun 同盟に参加しています。最初のコースはリトリートです。友人を助け、危険な命令を拒否した彼女は、將軍を止めなければならないという要件の最後に自分の名前を書きました。あらゆる側面を検討するための言い訳として腕の数を使用しないでください。

出発日 ピンは新しいハーネスと武器の写真が載っていないスケッチブックを持ってきた。アッカニラはそこにある家、木、机を明らかにします。胸に秘める前にこれが君の守りたい未来。たとえ彼が写真の真ん中に立っていなかったとしても、そしてもしあなたが再び武器を掲げなければならないなら、彼女はそれを上げて、これらの子供たちがそれを手放す必要がない権利があるようにします。

ARUN RPG ・ 27 / 60



カリニー・ラティラック

カリニー・ラティラック・AR-027

役割: 消防士は怒っています。

故郷: ブラックナイトサバイバーキャンプ

武器: 影曲剣と藍蓮

能力: 彼が認める復讐の力を束縛の最先端に変えてください。

制約: 権力は善悪を区別しない。毎回意識的に目標を選択する必要があります。

加入年: 19

犠牲者を選ばなかったことへの怒り

カリニーはブラックナイトサバイバーキャンプで生まれました。子供たちが悪夢を見るのを恐れて、人々が小さな声で昔話をする場所。彼女は普通の仕事の中に隠れた怒りを見出した。兵士のブーツの音を聞いたとき、カップをしっかりと握っていた手の中に、ドアが丁寧に開いてもびっくりする人々の中に、だから彼女は誰かが虐待者に恐怖を感じさせてくれることを願いながら育った。

彼女の力はその感情に応えた。人々の痛みを感じれば感じるほど、彼女が直視する影からその湾曲した剣の刃が生まれた。さらにしっかりとします。誰もが彼女に解決すべき問題を持ちかけ始めました。カリニーさんは、キャンプの怒りが無駄にならないようにする義務があると感じている。語り手が本当に何を望んでいるのかを尋ねる余地がなくなるまで。

声明によると、彼女は元刑務所看守を追跡したという。そして彼が父親と呼ばれる子供と一緒にいるのを見つけた、彼は自分が間違いを犯したことを認めた。しかし、一部の証拠は申し立てと一致しません。カリニーは、自分の躊躇が犠牲者を裏切ることがを恐れて、危うく剣を使いそうになる。まず子供は、いつ出発したか尋ねました。誰がこの家の話を聞くのでしょうか？

彼女は警備員を捕まえて彼を殺した。キャンプ内の何人かは彼女に怒っていました。カリニーは彼らを弱いとか、放っておくべきだと非難はしません。彼女は耳を傾け、遅い正義がどれほど苦痛であるかを認めます。しかし彼は、自分の刃がすべての真実を知っているかのように振る舞うことを拒否した。

キャンプにいた老婦人が彼女に藍の蓮をくれた。証人が欲しいためにストーリーを共有する人もいることを思い出させるために、これを手元に置いておいてください。罰する者ではない、カリニーは誰かの痛みを戦う力として利用する前に尋ね始めました。最初は刃が弱くなってしまいました。なぜなら、彼女はあらゆる音に圧倒されることに慣れていたからだ。しかし、自分の感情と目標の選択を切り離すことができるとき。剣は以前よりも安定しました。

19年目、人身売買グループは収容所から脱出するために鎖につながれた人々を障壁として利用した。カリニーはチェーンラインの向こうで友人を傷つけた人物を見た。復讐は彼女にすべての近道を提供します。代わりに、彼女は鋭い刃を使って結合だけを一度に1本ずつ切りました。人を連れ出すニラックと連携。グループのリーダーさえも混乱の中でなんとか逃げ出すことができた。

彼女は生存者たちとともにキャンプに戻り、首謀者が捕まっていないという知らせを聞いた。ある家族は、なぜ機会を逃したのかと尋ねました。Kalineeは、すべてが完璧に助けられたという言い訳はしません。彼女は失われた機会を受け入れ、証拠に基づいてチームを組織し続けました。この救出によって事件が解決したわけではない。しかし、注目すべき死んだ敵がいなからといって、価値を下げるべきではありません。

彼女はアルン同盟の束縛解放部隊に参加する。常に証拠調査官および生存者の介護者と協力してください。彼女は多数派だけからの処罰命令を受け入れない。そして、まだ怒っている人に、気持ちを落ち着かせるために落ち着くことを要求しないでください。夜によっては、彼女が剣を下ろすまで友人たちに座って見守ってもらうこともあった。

立ち去る前に、老婦人は怒りが消えたかどうか尋ねました。カリニーは首を振って、藍色の蓮に水をやりました。「それはまだここにありますが、今日、それをどうすればよいかわかりました」と彼女は答えました、優しさは彼女の激しさを奪うことはありませんでした。刃の方向性を与えます。そして彼女がキャンプから出たとき、彼女は所有者として誰の恨みも持ちません。彼らが信頼を持っているなら、それは安全に彼らに返されなければなりません。

ARUN RPG ・ 28 / 60



ワチラメク

ワチラメク ・ AR-028

役割: 雨を大地に返す者

故郷: 海上の雲計量塔

武器: ヴァジュラ・ソーン・プライ

能力: 雲と地面の間に回路を接続し、雨を降らせたり、雷を逃がしたりします。

制約: 湿度のバランスをとらなければなりません ある場所から雨を盗むと、別の場所に雨が不足します。

加入年: 19

所有者のいない稲妻

ワチラメク 海の上にある雲計塔で空を読む練習をします。彼は通りの名前よりも雲の形を覚えていました。そして、世界は水のバランスに正義があると信じています。都市が乾いているとき、彼は雨をもたらします。船が嵐に遭遇すると、神は電柱に向かって突撃を分割しました。彼の作品は天からの贈り物のように思えました。人々が水の一滴一滴を雲守の慈悲と呼び始めるまでは。

褒められたことで、彼は水を自分で作ったわけではないことを忘れさせた。裕福な都市は塔の維持費を負担します。したがって、彼はより多くの人がいると主張して、彼らのために降雨ラインをより頻繁に調整しました。風の先にある小さな島々はゆっくりと乾燥しつつあります。ワチラメク氏は報告書で数字の減少を確認した。私は、人々が手で土の底をこすり取らなけれ

ばならない池を見に行ったことはありません。

その島から一人の少女が空き瓶を持って寮にやって来た。彼女は雨のボトルを1本買うのにいくらかかるかと尋ねました。彼は子供のシャツについた塩の汚れを見る前にシステムの説明を始めた。それで私は戻るように頼みました。この島に不足しているのは水だけではありません。しかし、大人がそれを見つけるために費やさなければならない時間は不足しています。多くの子供たちが学校に行かなくなった。以前に販売されていた干ばつに強い作物は、雨を供給する都市からの水輸送の支払いに使用されていました。

ワチラメクは巨大な嵐を呼び起こして問題を解決しようとします。しかし漁師たちはそれを禁じている。突然の増水で残った土が海に流れ出てしまうからだ。彼は座って、金剛を持たない人々が雨について教えるのを聞かなければなりません。まずは池を修復し、堆積物を遮断し、徐々に空気の流れを回復させます。寮で得た知識は無駄ではありません。以下のすべての人生を代表して判断するには十分ではありません。

19年目に、ホール所有者は、式典のために雲を保管するように命じました。多くの島が乾燥しているにもかかわらず、ワチラメク氏は否定し、水の共有情報を一般に公開しているが、累積した嵐の間に兵士たちがシステムを停止するためにやって来た。彼は稲妻を送ってみんなを追いつめることができた。しかし、避難経路は訓練生たちがまだ渡れない金属製の橋の上にあった。

彼はバジュラの両端を使って回路を排水ポールまで接続しました。同盟ユニットからサランとエイリンを召喚して引き継ぎます。熱でヤシの木が焼け、風が塔の屋根を裂いた。彼は、すべてのコミュニティが必要とする指標を維持するために、贅沢な管理を犠牲にしました。充電が落ちていてるとき 土が吸収するほどの雨が降ります。それは全世界が彼の力を見るほど大きな嵐ではなかった。

ワチラメク氏は雨管理権を流域評議会に返還したが、流域評議会には小さな島々もある。計画も計算して提案してくれます。しかし、どの領域が得られ、どの領域が失われるのかを示す必要があります。人が読めない言語で結果を隠さないでください。少女は最初の雨を受けるために同じ瓶を持ち帰った。彼女はそれを彼からの贈り物とは呼びませんでした。そして彼はそれを聞いて嬉しかったです。

彼は気象測量士兼担当マネージャーとして連合に参加した。目的地を考慮せずに雨を盗んで武器として使用することを禁止します。戦闘前には必ずフィールドからは見えない部分も点検する。なぜなら、人の力は目に見えないほど遠くまで伝わり、謝罪のスピードが遅すぎる可能性があるからです。

馬車に乗った最初の夜、彼は自分と人々の間に塔のない雲を見上げた。普通の布屋根を叩く雨音は、塔の上の雨音とは違って聞こえた。ワチラメクさんは、土が濡れた後、何を植えるかについて話す子供たちの声を聞きながら眠りについた。彼らと同じ空の下に居場所を持つために、彼は稲妻を所有する必要はなかった。

ARUN RPG ・ 29 / 60



アクラフロエン

アクラフロエン ・ AR-029

役割: ダブルストーブキーパー

故郷: 石の下の炉の街

武器: 儀式用柄杓と火入れ

能力: 2つのヘッドが点火と温度制御を別々に制御します。

制約: 一人で決めてしまうと炎のバランスが崩れて体に返ってしまいます。

加入年: 19

1つのストーブで2つの音

アクラフロエンは、1つの体に2つの声を持って生まれました。左の頭は鋼を変形させる強い火を好みます。右の頭は、食べ物が入った鍋を長時間温かく保つ残り火が大好きです。鍛造家は二人に順番に話すように教えた。しかし、工場に入ると、代わりに給料は1人だけで、最大2人で生産するよう命じられました。

左利きの男性は、家を買うお金を稼ぐためにストーブを焚くつもりです。右の頭は耐熱レンガが崩壊しそうであることを警告します。口論した結果、上司に叱責された。そこで彼は、他人の前では議論しないことに同意した。次第にその取り決めは、たとえ二人きりのときでもお互いの言うことを聞かないものになってしまいました。彼の体の火は、誰も声に出そうとしなかった考えで揺れ始めました。

パワーコア納期 左ヘッドが予告なく発熱します。右ヘッドはストーブを保護するために空気の流れをすぐに減らします。反対の力によって炎が体内に戻り、炉のドアが爆発しました。作業員は間に合って逃げましたが、製錬所は損傷しました。二人は鏡を見ることを拒否したことでお互いを責めた。アクラフロエンさんは停職処分を受け、逃げる方法もなく、怒っている相手と同じ部屋に留まらなければならなかった。

年配のパン屋が小さなコンロを手伝ってくれと申し出る。彼女はどちらの頭が賢いかなど気にしません。スナックだけ出てきて食べてほしい。温度と時間については明確な言葉で合意する必要があります。近くにいる人の理解に依存しません。いくつかのデザートトレイを焦がさせた後、二人は、間違いの唯一の主を急いで見つけることなく、一緒に自分たちの間違いを笑い始めました。

アクラフロエン氏は再びストーブの残骸を検査し、同社が基準を満たしていない材料を使用していたことを発見した。彼は情報を開示し、自分の決定を受け入れた。会社の過失を個人の過失を晴らすために利用しないでください。左の頭は弱い火を制御する方法を学びます。正しい頭は、いつ急ぐべきかを学びます。二人は停止信号を出し、もう一方は直ちにこれを遵守しなければならなかった。

19年目、上に難民キャンプが建ち、都市の地下にある予備炉から漏れが始まりました。アルン同盟ではシステムに詳しい方を募集しております。アクラフロエンはカチンとシラウェートとともに倒れた。片方の頭で構造を観察します。別の責任者はチームメンバーの話を聞きます。直属の必要のない指揮官として機能するセクションはありません。

出口が閉まると照明が消えます。左の頭は壁を焼き破ろうとしている。しかし、右の頭からは反対側に燃料タンクが見えます。彼らは時間を見計らって立ち止まり、儀式用の柄杓を使って火の芯を耐熱容器にすくい出し、一つ一つ取り除きました。火災の爆発に比べれば、その作業は平凡に思えた。しかし、そのおかげで市は支援者たちの焦りを免れた。

アクラフロエン氏はエネルギーユニットとフィールドキッチンで力を合わせ、燃料の使用量が少ないストーブを手配しました。周囲の森林を完全に伐採することなくキャンプを存続させることができます。会談中、両首脳には実際に話す時間が与えられた。ただし、自分の合意に従って唯一のメンバーになるために投票を保留します。自分の体を他の人のスペースを占める言い訳として使用しないでください。

出発前にパティシエが、何分も指定せずに準備が整うまで焼くというレシピを教えてください。アクラフロエンさんは、そのためには匂いや音、そしてお互いの声に耳を傾けなければならないことを知っています。彼はまだ購入していない家を持って出発した。しかし、かつて喧嘩部屋だったその敷地には、二人の声が座って話し合うための小さなテーブルがありました。彼の火は誰も静かにすることなく暖かさを提供し始めました。

ARUN RPG ・ 30 / 60



ウェンカイ

ウェンカイ ・ AR-030

役割: 旅する猿

故郷: クラウド市場

武器: 金のケースの杖

能力: 杖の長さを調整し、カタパルトの力を利用して空中で方向を変えます。

制約: 長さが長いとコントロールが難しくなります。本物のクローンを作成できません

加入年: 19

返される自由

ウェンカイは外からしか開かないドアが好きではありませんでした。彼はクラウドマーケットの雑技団の猿です。飼い主さんは、檻のおかげで犯罪者から身を守っていると話している。しかし、彼は鍵を持ち歩き、自由について尋ねるたびに給料を差し引いた。そこでウェンカイは、最後の動きを練習するよりも早く詩を壊すことを学びました。

彼は握ると収縮する金の鞘に覆われた杖を持って逃げた。市場泥棒としての彼の評判により、彼は権力者よりも優れていると感じた。彼は金持ちから盗んだ。警備員へのいたずら そして彼は、清掃作業員が損害賠償として支払わなければならなかった金額を確認するために立ち止まりませんでした。当時の自由は誰も追いつけないことを意味していました。自分が選んだ人生を責任を持って生きること以上に

彼はかつて徴税人から箱を盗み、人々にコインを投げました。逃走中、スタッフは制御不能に伸びて市場を支える柱を破壊した。彼は間一髪逃げ出したが、歩道にいた多くの人が倒れた。ウェンカイは、自分を匿っていた靴屋が店を失ったと聞いた。そこで彼は密かにそのお金を持ち帰った。彼がそれを直すのを手伝ってくれなければ、彼女はそれを受け入れないだろう。

修理のために滞在したことで、彼は別の種類のケージを見つけることになりました。直視されるとすぐに逃げたくなるような恥ずかしがり屋です。彼は彼のジョークを笑わない人々と一緒に働かなければなりません。おもちゃの代わりにポールを吊り上げ梁として使用します。そして、謝罪は被害者に悪行者を慰める義務を与えるものではないことを学びました。

元のグループの所有者が新しい子供を檻に入れると、ウェンカイは侵入して彼らを解放する予定です。彼は習慣からほとんどすべてを一人でやっていました。靴屋さんはまず、ドアが開いた後、子供がどこへ行くのか尋ねました。質問があると計画が長くなる。彼は宿泊施設に連絡し、食事を準備し、途中で彼を助けるためにヒランと同盟にニュースを送りました。

19年目の救出はスムーズではなかった。所有者は観客通路を人質として使用します。ウェンカイさんは逃げる人々を追わず、杖を伸ばして天井を支えた。体重を気にせず使っていた長距離をコントロールしなければならなかったので、手が震えた。最後の子は檻から出るのが怖かった。なぜなら、私は外の世界を見たことがなかったからです。それで彼は座って待って、子供に自分でドアを開けさせました。

全員を宿泊施設に送った後、彼は褒め言葉を残して姿を消す機会がありました。しかし、完成するまで修理作業を続けるために市場に戻りました。ウェンカイは突然の統治が気に入らなかった。彼はただ、人々を守るルールと所有者を守るルールを分離し始めただけだ。そして、自分の言葉を守ることを選択することは、閉じ込められるようなものではないことを受け入れてください。

彼は潜入者としてアルン戦線に加わり、道を切り開きます。メンバーが裏切り者のレッテルを貼られることなくグループを脱退できるルールを求めてください。他の人の人生に影響を与える仕事は引き継がなければならないというルールを受け入れる準備ができています。ヒランは、川を飛び越えて競争するようにあなたを招待します。彼はその挑戦を受け入れたが、チームの強さを確認するために最初に立ち止まった。以前だったらつまらないと言われていたであろうその思慮深さに二人は笑った。

出発日 劇団の子供が誰がキャンプの鍵を持っているか尋ねた。ウェンカイは檻のない廊下を指摘する。それから彼は古い鍵を金属くずとして保管するように渡しました。代わりに戦士になるという約束ではなかった。行列が動き始めると、彼はあらゆる方向に走ることができます。代わりに、彼は全員がカーブを越えるまでカートの横を歩くことにしました。それは、それを証明するために誰も取り残される必要のなかった最初の自由でした。

ARUN RPG・31 / 60



臨沂

臨沂・AR-031

役割: ファイヤーライダー

故郷: サンゴ礁沿いの風車の街

武器: 燃える槍、金の輪、赤い布、そして一对の車輪。

能力: ファイヤーホイールを通じて力を伝達し、アンカープルループを使用して素早い動きを実現します。

制約: 2つの車輪のバランスが取れている必要があります。蓄積された熱により、他の人が使用する道が焼けてしまう可能性があります。

加入年: 19

自分の道を選ぶ子どもたち

臨沂はサンゴ礁の端にある風車都市で育ちました。家族は漁船用のホイールとリールを製造しています。彼は同年代のほとんどの人よりも小柄でしたが、他の誰よりも衝動的でした。許可を待たずに道具を調整するのが好き。火の力を伝える車輪の作成に成功したとき、誰もが危険なアイテムを持っているパックだけを見ました。彼の説明通りに聞く人は誰もいなかった。

話を聞いてもらえなかったため、彼は急いでそれを証明しようとした。臨沂さんは足に軽い車輪を付けて配達レースに出場します。彼は非常に多くの旅行に当選したため、主催者は彼の写真を宣伝に使用しました。彼は、作品の権利を保持する小さな契約を見ていません。そして、彼は自分が残した熱の蓄積で木道が燃え始めたことを知りませんでした。

大きなレースの日、片方の車輪がバランスを崩してしまいました。彼は道路上の子供を避けるために進路を変えたが、魚屋を燃やした。主催者は彼を無知な子供と呼んで責任を逃れた。リンイはとても怒っていたので、契約書をすべて焼き捨ててしまいたかったのです。ガレージの技術者が証拠として保管しなければならないと言う前に。新しいことを行う能力には、依然としてそれを取り巻く世界を読むのを手伝ってくれる誰かが必要です。

検査中は機器の使用を中止するよう命じられた。永遠に考えることは禁じられていません。給水ラインを考え出したカチン氏は、安全な場所でのテストを手伝った。臨沂は冷却経路を研究し、緊急停止手順を自ら作成しました。ゴールドリングはアンカーポイントを保持するために使用されます。信号を送るために使用される赤い布。機械の近くに飛ばしておいてはいけない装飾品ではありません。

19 年目、嵐により港のタービンが逆回転しました。移民の荷車がスロープの真ん中で立ち往生していた臨沂さんは、すぐに外へ出ようとした。しかし、練習通りに両方の車輪を点検するために停止しました。彼はその計画を長老たちに提示し、解決策を受け入れました。すべてに従うか、誰の意見も聞かないかのどちらかを選択する必要はありません。

彼は炎の槍を使って機構を固定させた。金色のフープがボートから糸を引きます。二重の車輪はロープを斜面に送るのに役立ちます。木が黒くなり始めたのを見て、彼は火を使うのをやめ、最後の瞬間に脚の力で走り始めました。計画は予想より遅れて終了した。しかし、歩道は将来の世代が使用できるようにまだ残っています。臨沂はタイマーなしで何かを勝ち取りました。

彼は整備士の収入から魚屋を取り戻すのを手伝い、信頼できる代理人を通じて契約をめぐって争う。店主は今でも会うたびに文句を言う。しかし、時間を指定して配達してもらうようになりました。臨沂は、たった一度の大きな助けによって信頼が返されるわけではないことを学びました。

彼は通信見習いおよび機動整備士として連合に参加した。準備に応じた監視と作業範囲の下で彼らはその驚くべき力のために前線に送られませんでした。彼は大人になったら自分のキャリアパスを選択する権利を求めました。そして、他の子供たちが理解できる言葉で機器のマニュアルを書くのを手伝ってください。

出発する前に、母は赤い布をちょうどいい長さになるように結びました。リンイーは自分があまり美しくないと言いました。しかし、ホイールが巻き付いていないことをテストすることに同意した。彼はまだ仕事が残っているガレージを見て、また勉強することを約束しました。ガードレールがあるから夢が小さくなることはない。それは、彼の焦りが道を焦がした場所よりもさらに遠くへ彼を連れて行くチャンスがあっただけです。

ARUN RPG・32 / 60



延鎮

延鎮・AR-032

役割: 汚染検査官

故郷: ダラ ムアン鏡神社

武器: 三叉両刃の槍

能力: 権力構造と捏造の痕跡を目の前で見た。

制約: 痕跡を見ることは、意図を知ることと同じではありません。目は心を読んだり、証拠の代わりに欠点を指摘したりすることはできません。

加入年: 19

すべてが見えない目

ヤンジェンさんは第三の目が開いて以来、他の人には見えないものが見えました。彼は偽物の印鑑と本物の印鑑を区別します。物体のエネルギーマークを見て、スタンプマシンが触れた軌跡を読み取る パープルスターミラーコートは、誰も彼の目を欺くことができなければ街はより公平になるだろうと言って、彼を検査官として受け入れました。

彼はその褒め言葉を信じてしまい、あまりにも早く判決を下してしまうほどだった。麻薬盗難事件では、イエンジェン氏が箱に被告人の刻印を発見し、有罪を確認した。男は拘留された。まず、後の証拠は、彼が途中で商品を交換する運送業者であったことを示しています。彼の目には本物の痕跡が見えました。しかし、彼がゼロから組み立てたという話は間違っています。

裁判所は信頼を保つために記録を静かに修正したいと考えている。延真さんは自ら被告人の家族を訪ねた。店は差し押さえられ、息子は学校を中退したことが判明した。刑務所の扉が開いてもダメージは元に戻りません。彼は彼らの前で自分の決定を読み上げた。最後までお願いすることに同意します。たとえ立場を失ったとしても、決定を遡及的に検討するプロセスを開始したいと考えています

彼の同僚の中には法廷を破壊したとして彼を非難する者もいた。延真氏は、法廷は有罪を認めることができないほど脆弱であるべきではないと答えた。彼は査察業務を休み、証人尋問の勉強をした。恐怖により人は支離滅裂な発言をすることを学びました。アイコンタクトの欠如は嘘の証拠にはなりません。そして力では語れないものも同様に重要視されなければなりません。

19年、試練の門から行方不明者登録の痕跡を発見。エネルギーの線は、誠実さで定評のある役人を指します。しかし、Yanzhen氏はすぐには理解できなかった。彼は文書をたどったところ、男性のバッジが死後も使用されていたことが判明した。誰かがその目に自信を持って、答えのない人を非難していました。

ニラックとサシンは別の証拠を持ってきた。三人はすぐにお互いに不信感を抱きました。Yanzhenは手順を示して書類を確認するように頼みます。Netdao がまだ明確になっていない点を記録できるようにします。法廷警察が家宅搜索してファイルを押収したとき、彼はやって来た者全員が悪者であるとは断言せずに、両刃の三叉槍を使ってドアを封鎖した。自分が何をしよう命じられたのか未だに分かっていない人もいます。

ファイルを開くことで、多くの家族が元に戻ることができました。しかし、黒幕の道はまだ断たれていない。イエンジェンは混乱を終わらせるために事件を終結させようという申し出を拒否する。彼は答えのない疑問を抱えて生きることを選びました。新たな犯罪者を生み出す代わりに、誰もが世界が終わったと感じています。

彼はパワートレーサーとしてDawn Allianceに参加しました。検査官の職務を裁判官から分離することによって。すべてのレポートには可視性フィールドがあります。推定されることとまだ知られていないこと。彼は古い事件の合意に従って家族に補償金を送った。そして、自分がより優れた人間であることを証明するように彼らに求めないでください。

出発日 被告人の子供がやって来て、新しい表紙の本を手渡した。それは延真が没収した本だった。彼はすぐにそれを受け取って、自分のものではなかったので返しました。その子は初めて微かな笑みを浮かべた。ヤンジェンは第三の目を閉じて、通常の二つの目でその笑顔を見つめました。一部のものは慎重に扱う必要があることを知るために、すべてを透視する必要はありませんでした。

ARUN RPG・33 / 60



昇龍

昇龍・AR-033

役割: グリーンコマンドー

故郷: 海上検問所艦隊

武器: 三日月竜ハルバード

能力: ディフェンスラインを張り、エリアを踏ん張って連続打撃を受けます。

制約: ポジションの移動が遅く、すべてのラインを一度に守ることができない

加入年: 20

命令にあえて従わない正直な言葉

シェンロンは船員たちとの誓いによって海と結ばれている。船が難破した間、三人は同じ釜の飯を食べていた。そして誰も水の中に取り残されないことを誓った。彼は長いひげを生やした大柄な男で、乗組員たちから信頼されるほど冷静だった。彼が検問所の司令官の地位を受け取ったとき、私はより多くの人々を守るためにその誓いを拡張していると思います。

船隊は年々、乗組員の生活から遠ざかる規則を設けて成長しています。シェンロンは2人の旧友が指揮官だったため従った。彼らはまだあの土鍋のことを覚えていると彼は信じていた。漁船の拿捕要請があれば確認すると約束した。しかし、総会の方が常に重要であるため、延期されました。

若い船員がロープを持ってきました。ロープには彼の部隊のハルバードからの切り傷があっ

た。これは、父親が通行料の支払いを拒否したために海に漂流したという証拠として使用される。Shenglongさんはファイルを検索し、旧友の指示を見つけました。彼は説明を期待して尋ねに行きました。しかし友人は、海を支配するということは人々を怖がらせるに違いないとだけ答えた。

忠誠心は彼をさまざまな方向に引っ張ります。シェンロンは、誠実な友情とそのような行為が共存できるとは信じられませんでした。彼は自分のお金を返済することでこの問題をほぼ解決しました。乗組員はまず、死後に次の人も同じ金額を受け取ることができるかどうかを尋ねた。その後、彼は調査のために証拠を提出したが、すぐに却下された。

20年目、艦隊は犯人隠避の疑いで逃亡船を沈没させる命令を受けた。Shenglongはまだハルバードを持っていますが、誰かに強制するバッジはありません。彼は小型ボートに乗り込み、介入し、乗客たちを検査するよう公然と合図した。旧友は彼らの間の忠誠心を理由に、彼らに撤退を命令する。盛龍は、誠実さは水の真ん中で人々を見捨てないことから始まると答えた。

彼は三日月ドラゴンのハルバードを突き刺し、防御側を揺れる船に釘付けにした。衝撃力を吸収する力により、船体がひっくり返るのを防ぎます。しかし、同時に船尾を助けるために動くことはできなかった。そこで彼は若い船員に重要な地位を与え、漁師のアドバイスに耳を傾けました。アルン同盟が救助ボートで到着したとき、彼は船の周りがすべて見えるふりをしなかったため、誰もがまだそこにいました。

この対立は、船を検査し、港湾関係者に証拠を明らかにすることに同意して終結した。友人の一人は降伏し、もう一人は逃亡し、シェンロンは一生続くと信じていた友情を失ってしまう。彼は自分の悲しみを自分の罪を弁護する理由として利用することなく、そのことを悼んだ。

彼は海洋保護部隊の一員に加わりました。関係者以外の命を危険にさらしながら、乗組員に命令を求めるよう訓練する。そして、その地域を知っている人には軍将校の前で投票させました。彼の静けさは依然として人々に彼を信頼させました。しかし今では、これには彼が抗議すべきときに沈黙していたということを認めることが含まれている。

栈橋を出る前に、若い船員が古い鍋で食事をしようと彼を誘います。シェンロンは座る前に全員をすくい上げました。新たな宣誓式はなかった。実際に従えば、古い言葉でも十分使えるからです。彼は切ったロープをハルバードの柄につかんだ。忠誠心とは、パートナーの行動を軽視することではないことを覚えておいてください。しかし、それは、あなたがかつて共有した誓いが無意味になる前に、彼を止める勇気を持つことです。

ARUN RPG・34 / 60



趙文

趙文・AR-034

役割: 失われた名前の検査官

故郷: ゴーストタウン登録ホール

武器: ブランドの輝く剣

能力: 条件が元の宣誓と一致しない封印は切り取ります。

制約: あらゆる条件と証人を検索しなければなりません。事実に耳を傾けようとしない者には、鋭い刃は役に立ちません。

加入年: 20

削除された人の証言

チャオウェンは手紙が大好きです。なぜなら、手紙は亡くなった人が将来の世代に語りかけることができるからです。彼は単純な意図から限界都市の登録ホールで仕事を始めました。つまり、連絡先担当者の名前を正確に書きます。誰かの訛りや古着のせいで、自分の存在を証明するためだけに一日を無駄にしたいけません。

都市が亀裂の背後にある閉鎖地帯として分類されたとき、当局は中央登録簿から一部の名前を削除するよう命じた。命令には一時的な措置であると記載されていたため、チャオウェンさんは行動に同意する前に抗議した。彼は私的なコピーを保管していました。彼らは、家族を支える立場を失うことなく誠実さを保つにはそれで十分だと考えていました。

ある女性は毎月、夫の薬を受け取りに来ました。システムは名前が見つからないと応答しました。趙文は密かにお金を渡しましたが、私は記録を返す勇気がありませんでした。夫が亡くなったとき、彼女は家を管理するための確認書類を求めました。システムは、存在しない人の死を記録することはできないと答えた。チャオウェンは隠されたコピーを見て、引き出しから出てこなかった真実が何の役にも立たなかったことを悟った。

彼はコミュニティが読めるようにアーカイブを公開し、アザラシ室に閉じ込められました。古い宣誓印があり、それを守る者は自分の名前を正直に守ることが求められていました。現在の権力の使い方はその条件に反しています。趙文は寮の儀式用の剣を持ってきて、封印を層ごとに検査しました。自分が常に正しいと信じて切り詰めないでください。ただし、証明できる矛盾に剣の刃が反応するまで証人を集めてください。

彼はシールの条件が間違っている部分を切り取ることはできませんでした。他の部分はまだ強いです。チャオウェンは鍵と理性を聞いてくれる監視員の助けを借りて脱出する方法を見つけなければなりません。新しい権限は証拠を探す作業に代わるものではありません。しかし、これにより、これまで単なる事務処理と見なされていた仕事が、目の前にある扉に実際の影響を与えることができるようになります。

20年目、YanzhenとNetdaoが行方不明者のリストを携えて到着した。チャオウェンは隠していたコピーの中に同じ名前を見つけた。彼は情報と、人々を消去する上で自分が果たした役割の両方を明らかにした。彼らは、コピーを保管していれば不正行為が免れるとは主張していない。名前の復元には、近所の人たちの証言、借金帳、絵画、そして人生が残したささいなものが利用されます。実印だけでは決まりません。

当局が証拠隠滅のために寮を放火したとき、チャオウェンさんは原本ファイルの前に人々が書類を整理するのを手伝うことに決めた。彼は何百ページも失った。しかし、かつて「未登録者」と呼ばれていたコミュニティは、彼らが覚えている名前を伝えるために団結しました。趙文は夜明けまで自分の声に従って書きました。人間は紙よりも前に存在したことを理解してください。そして紙は彼らに役立つべきです。

彼は人々を不正な命令に縛り付ける封印を解くためにアルン同盟に参加する。複数のコピーを設定し、データ所有者が自分の名前を編集できるようにします。剣は常にブラシの隣で輝いています。まだ条件がわからない場合、彼は最初に斬りかかるのではなく、検索を続けて、彼の勇気が正しい結果を生み出すことを期待します。

出発前に、夫の書類を求めていた女性が改訂版を取りに来た。彼女はそれをゆっくり読み、ミドルネームのスペルが間違っていると言いました。Zhaowenは謝罪し、すぐに訂正した。あの日のジャスティスはドラムの音ではなかった。彼女の家族の物語をどのように書くべきかを語る権利を与えられたのはただ一人の女性だけだった。そして筆持ちは、彼女をもう一ヶ月戻さずに話を聞くことに同意した。

ARUN RPG ・ 35 / 60



リヤオ

リヤオ ・ AR-035

役割: 絵のカーテンメーカー

故郷: 九場劇場

武器: 白い尾翼とカーテンライン

能力: 感覚的な記憶に基づいて幻想を作り出します。

制約: 幻想的なイメージを捉えることはできません。そして、彼女が決して理解できないものには抜け穴がある。

加入年: 20

要求された顔はあなた自身のものです。

リヤオさんは子供の頃の顔を思い出せない。なぜなら、人々は彼女が違うことを好むからです。9つのシーンからなる劇場は、幻想を作り出す能力を持つ彼女を受け入れます。彼女は、視聴者が懐かしむ王女、戦士、老人、恋人を演じました。私が褒め言葉を受け取るたびに、彼女はカーテンの向こうにいる人を好きな人がいるかどうか疑問に思うでしょう。

彼女は自分が体験したものからイメージを生み出します。屋根の雨の匂い 母の靴の音 朝の尾羽の色 絵は美しいですが、無形です。主催者は富裕層向けにプライベートショーを販売し始めた。亡くなった人の顔を彼女に着せることで、リヤオさんはそれが慰めになると考えた。ある顧客が夫の虚偽のイメージを利用して、息子に家の販売に署名することに同意させるまでは。

リーヤオは途中で演技をやめ、契約金の返済を求められた。彼女は見捨てられないために全てを諦めたのだ。それで、私はほとんど戻って続行することにしました。子供が自分の顔を見つめているのを見る前は、今回はまだ偽物の写真だったのかどうかわかりませんでした。かつて人々が世界をより広く見ることを可能にしていた能力は、自分には誰が本当に見えるのかという信念を破壊しつつあります。

彼女は数着の服と、契約を巡って争っていた借金を抱えて劇場を後にした。最初は本来の自分の顔を市場で見せる勇氣はありませんでした。だから飽きるまで変化し続けます。彼女の話聞いたリンパクサさんは、どのシーンがフェイクであるかを明らかにすることでコミュニティフォーラムに協力するよう彼女を誘った。リヤオさんは、視聴者が騙されなかったにもかかわらず、それでも視聴する意欲があることにショックを受けた。

彼女は自分の人生のありふれた物語を演じ始めました。初回は視聴者が少なく、終了前に退場する人もいた。彼女は怪我をしていましたが、みんなの注目を集めるために全身を変える必要はありませんでした。彼女が本当に理解した選択をするにつれて、彼女の力の安定性は増します。外からしか知らない豪華な都市を建設するのではなく。

20 年目、ハンターのグループは古い劇場の目撃者を追跡します。リヤオは幻覚を利用して、自分が歩いてきた路地へと進路を変えた。しかし、敵がテストオブジェクトを投げると、写真にも穴が開きました。彼女はワリンとともに本当の計画を立てて人々を導かなければなりません。人間の腕の代わりに無重力のイメージを呼び出してゴールを受け取ることはできません。

重要な瞬間に、彼女は自分の顔を使って追跡者を目撃者の邪魔からおびき寄せます。誰が不従順なのかを彼らに知らせてください。その後、証人からの情報が契約の執行を明らかにするのに役立った。Liyaoは不当な借金を取り除くことができます。しかし、彼らは依然として、実際に責任を負っている機器の部分を補うために働いています。自分にとって都合の良いようにするために、過去のすべての人を悪者にしないでください。

彼女はステルス通信部隊の一員となる。死者や生者の顔を、本人の同意なしに関係者を抑圧する目的で利用してはならないと定められている。彼女は友人たちに、幻想では簡単に真似できない確認信号を検出する方法を教えています。目を欺くことができる世界で、チームがお互いを信頼し続けることができるように。

出発前にリンパクサは劇場に飾る写真を求めます。リヤオの顔はほとんど完璧に変わりました。笑って立ち止まる前に、彼女は自然に立っていました。片方の尻尾は間違ったタイミングで向けられ、目の下には疲れた跡がありました。あの絵は万人に好まれるものではない。しかし、生きるために戻ることを選択するのは彼女の義務です。世界が別人になることを求めるとき、彼女はすでに自分の名前で家を持っています。

ARUN RPG・36 / 60



ジンス

ジンス・AR-036

役割: 最後の鐘の後に起きるのは誰ですか

故郷: 古い死体輸送基地

武器: 強力な手と額のシール

能力: 関節に力が蓄積され、ジャンプや突き出しとして解放されます。

制約: ストロークの合間には休まなければなりません 他人が身に着けているバッジも体の制御を妨げます。

加入年: 20

動けなくても聞こえる人

ジンスが目覚めて最初に思い出したのは、人々が荷物の量について話し合っている音でした。彼の体は凍りついた。周期的な関節運動があり、額には焼き印があり、命令を聞くとすぐに止まります。彼は理解していると言いたいのです。しかし、言葉が出てくるのが遅すぎて、労働者たちは待つことができませんでした。まるで観客がいないかのように、誰もが彼のことを話しました。

古い輸送倉庫では、重い棺や木箱を持ち上げるためにホーンが使用されていました。彼は疲れていることを知っていましたが、休息を求める方法がありませんでした。衛兵は彼のような人物にはそれを感じることはできないと思った。ジンスは考えを留めるために天井の亀裂を数え始めた。元の名前が思い出せないとき 彼は木箱の中で吹き飛ばされた本の切れ端の文字からジ

ンスを選びました。それは誰もあなたに選択するように言わない最初のことです。

メイという名前の清掃員は、指を動かして質問に答えることができることに気づきました。彼女は何夜もかけてアルファベットのグリッドを作成しました。会話を簡単にしたいからといって、急いで単語を推測しないでください。逃げるとという言葉の前に、傷つくという言葉を求めるジンス。メイが理解したとき、彼女は骨折した足に人に物を置くのをやめ、証拠としてその使用を記録し始めました。

警備員が捕まえてボードを没収した。ジンスはメイの安全を守ることにほとんど黙って同意した。しかし、彼が人間ではないように振る舞わなければならないという安心感は長くは続かないだろうと彼女は言う。2人は木箱の傷からチャオウェンにメッセージを送った。彼は、管理シールが文書内で誰も同意していない契約条件に依存していることを発見しました。

20年目には、バッジは部分的にのみ取り外されました。すぐにすべてを取り除くと、体の支持機構が損傷する可能性があるためです。ジンスは自分の強さをコントロールする方法を学びながら、自分の限界と共存しなければなりません。彼は遠くまでジャンプすることができますが、関節の強度を高めるために休む必要があります。自立の回復は、一日で立ち上がって実行できるようなものではありません。そして彼は全員にスピードを尊重するように求めた。

労働者を連れ出す前に、財務省の所有者は、ジンスが力を使って道を押し開いた証拠に火を放ち、その後、同意すると立ち止まった。たとえ封印の古い命令が彼らを強制的に立たせてドアを閉めさせようとしたとしてもです。メイは集中するために自分の名前と彼の名前を交互に読んだ。一方、Zhaowenは証明できる条件を排除した。彼は最後の一步を自ら踏み出し、人々を外へ連れ出しました。

自由を手にした後、誰にも命令されない日々をどうすればいいのか分からなかった。ジンスは日中昼寝をしたり、絵を描いてみたり、小さなものを直すのが大好きです。重い物を持ち上げるために使われると他の人が考えている手でも、右のハンドルで絵筆を握ることができます。彼は、ドラフトに関連するすべての契約をチェックできるように、文字を読むことを学びたいと言いました。

彼は輸送および保護部隊の連合に参加します。休憩スケジュールのコミュニケーションボードと、通知なしにバッジに触れるのを拒否する権利を備えています 治療は続きます 戦闘機になる前に、他の人と同じようにならないとは誰も主張しません。着地点が分かっている場所で力を使ってジャンプする練習をした。遠くからの命令に従って自らを武装させる必要はもうありません。

去る前に、メイは名前の由来となった本の切れ端を返します。ジンスは時間をかけて黒板に感謝の気持ちを書きました。みんな完成するまで待っていました。誰も私の代わりに話してくれません。彼はまだ出発していない行列を見上げた。この沈黙は無視されません。しかし、それは他の人たちが声が届くように意図的に残された空間です。

ARUN RPG・37 / 60



龍軒

龍軒・AR-037

役割: オーシャンレインキング

故郷: コーラル海中宮殿

武器: キングクロウとレインシール

能力: 海流に乗って雲を導き、その力を感じられる距離まで水を押し込みます。

制約: 他の海岸に影響を与えずに嵐を呼ぶことはできません。流域全体への影響に責任を負わなければならない

加入年: 20

敵の家に雨が降る

ロンシュアンはロイヤルコーラルアンダーウォーターコートで育ちました。それは海が人間には理解できないほど広すぎることを教えています。フォンの印章の継承者である。波の下での流れと生命の安全に責任を負います。水上艦がサンゴ礁を破壊したとき、彼はその無力な小さな姿を見て、人間に対する優しさは自分の家に対する残酷であると信じ始めました。

彼は嵐を引き起こし、船を正確にゾーンの外に押し出します。しかし、潮の流れは地図に引かれた線で止まらない。遠くの漁村は壊滅した。実際にサンゴを破壊した船は、保護された湾に避難しました。龍玄さんは作戦が成功したとの報告を受けた。地下庭園で木片に付けられた子供のお守りを見つける前に

彼は自ら海岸を見に上って行った。村人たちはサンゴを切り出した会社の名前さえ知りませんでした。彼が単なる罰と呼ぶものの結果をもたらすのは彼らだ。ロンシュアンさんは、その子供が父親のタイル集めを手伝っているのを見つけたが、誰が嵐を送ったのかをあえて告げなかった。彼は目に見えない姿で窮地を救ってくれます。そして雨の銘柄よりも重い沈黙とともに腸に戻る。

水中評議会は犠牲者について語らないことで名誉を守ることを提案する。彼はそれを拒否し、沿岸地域社会に対する自分の役割を宣言した。受けた怒りのせいで、彼は海に逃げたくなった。しかし、私は最後まで立ち止まって聞くことにしました。龍玄は補償し、船の航路の検査に参加することに同意した。影響を受けた村民に暴風雨計画を中止する権利を与えることによって。

20年目には、中核船からの油がサンゴ礁に漏洩した。大きな波で吹き飛ばしたかったのです。しかしタラケス氏は、それが別の村にうまく流れ込むだろうと指摘する。ワチラメクは比較のための降雨計画をもたらした3人は、単一の嵐で勝利を宣言する代わりに、風、水、封じ込めラインを少しずつ使用して、以前に単独で習得していた力を共有する必要がありました。

イベント中に、元の会社のボートが石油流出の真ん中で立ち往生しました。乗組員は助けを求めて叫びました。ロンシュアンは敵の紋章を思い出して固まった。彼が目にする前に、屋上の人々は所有者の代わりに危険にさらされることになりました。彼は火を消すためにボートに雨を降らせた。次に、爪を使って救助ラインに引きずり込みます。乗組員を救ったからといって会社の訴訟が解決するわけではない。両方のことが同時に起こらなければなりません。

サンゴの回復には長い時間がかかります。Longxuanはコミュニティと追跡システムを構築し、雨季の注文を確認できるようにしました。彼は冥界への愛を犠牲にしませんでした。しかし、それは自分の権力がすでに触れている岸边まで責任を拡大するものであるが、宮廷の中にはそれが自分の尊厳を傷つけるものだと考える者もいたが、

盆地と海の守護者としてアルン同盟に加わった。すべてのミッションでは、他の海岸への影響を評価する必要があります。ロンシュアンは相変わらず傲慢で、何度も謝るのが苦手だった。ただし、被害者が結果を確認する立場で作業するように練習してください。ただ気分が良くなるだけの仕事ではありません。

出発前に、タイル集めを手伝った少年が、彼が救った船の名前を書くためのピースを彼にくれた。ロンシュアンさんは、嵐が向こう側で破壊した村の名前を付け加えた。彼は両方の顔を持ち歩いていました。なぜなら、ガーディアン紙の物語は救出が完了した日だけのものではないはずだからです。そして、敵の家に降る雨は、誰も永遠に恐怖の中で暮らす必要のない海の始まりかもしれない。

ARUN RPG・38 / 60



ロスガー

ロスガー・AR-038

役割: ライトニングハンマーメカニック

故郷: 北の冬のアイアンビレッジ

武器: スカイハンマーのリング

能力: 嵐からの突撃を受け、短いハンマーを通して力を解放する。

制約: ハンマーは新たなチャージを受ける前に手に戻らなければなりません。体は永遠に雷に耐えることはできません。

加入年: 20

鐘を打つハンマー

ロスガーは北部の鉄の村で育ちました。彼の父親は鐘職人で、すべての金属には独自の音があると信じていました。彼は人々を家に呼ぶ鐘の音よりも、盾を叩くハンマーの音の方が好きだった。工務局から天のハンマーを受け取ったとき彼は、敵に恐怖を与えることがハンマー使いの最高の荣誉であると考え、戦士を目指した。

彼の名声は、稲妻を捕まえてフィールドに放ったことで生まれました。人は美しい光の中でのみ物語を語ります。何日も続いた手のしびれについては話しません。ロスガー自身も症状を隠した。いつか誰かがより強い戦士を求めてくるのではないかという恐怖から。彼は喧嘩の後寝るために酒を飲み始めたが、大丈夫かと尋ねられると大声で笑った。

ある時、過充電を受けてハンマーが手から滑り落ちた。彼は武器を取り戻すことさえできずに、新たな稲妻を受けました。逆流で彼は転落し、友人がフィールドの真ん中に出てきて助けなければならなかった。ブレインという名前の友人が足を怪我しました。ロスガーはより大きな戦いに勝つことで償いをしたいと考えている。しかしブレインは医者に見てもらい、いつ壊れるかみんなに推測させるのはやめてほしいと頼む。

回復期に彼は家に帰りました。彼の父親は彼に、小さな鐘を鳴らすのを手伝ってほしいと頼んだ。ロスガーは何度も金属を破壊するほど強く殴った。努力するのではなく、聞くことを学ばなければなりません。彼は自分が役に立たないのではないかという恐怖を受け入れ始めました。そして、彼の母親は、彼の評判についてさえ言及せずに、彼が扱える量の薪割りを手伝わせていたことが判明した。

20年目、吹雪のため信号塔の警報が止まりました。渓谷の労働者たちは雪が降っているとは知らなかった。ロスガーとセルバラの部隊は氷に覆われた大きな鐘に到達する。彼のハンマーはそれを破壊し、すぐに道を開くことができます。しかし、下の労働者に届くのは鐘の音だけだった。

彼は必要な金額だけを請求しました。振動でアンカーポイントを溶かし、ベルを鳴らして避難の合図をします。ハンマーが跳ね返ると、彼はハンマーが自分の手に戻るのを待ってから、次のラウンドを開始しました。時間と時間の間の沈黙さえも、もう手遅れではないかと不安になった。タランさんはアース線の敷設を手伝った。作業員は音を聞いて雪崩の数分前に安全な場所に移動した。

ロスガーさんはイベント後疲れきっていたが、さらなる負傷はなかった。彼は物資の整理を手伝いに来たブレインの隣に座った。二人は壮大な誓いを語らなかった。予定どおりに医師に症状を確認するための予約をしてください。二人の共同作業への復帰は、今度は手がしびれ始めたらロスガーが教えてくれると信じて始まった。

彼はストーム・ガードとメタル・ワーカーズのドーン・アライアンスに加わりました。彼はハンマーの練習のほかに、すべての陣営が魔法を使わずに助けを求めるために使用できるベル信号を教えています。戦いにはまだ彼の力が必要だ。しかし、歓声が大きくなったからといって新たな告訴を受け入れるつもりはない。そして、状態が限界に達したときに、友人にハンマーを保持する権利を与えます。

出発する前に、彼の父親は壊れて再溶接された鐘を彼に与えました。音は完璧なものほど響きませんが、それでもクリアです。ロスガーは荷車の側面にぶら下がっていた。騒ぎが大きくなるたびに、彼はいつも勝つより家に帰りたい人々のことを考えていた。手に持ったハンマーは地面を揺るがすこともできます。しかし、今回は自分の声で誰かに帰り道を伝えたかったです。

ARUN RPG・39 / 60



エイヴァーン

エイヴァーン・AR-039

役割: 隻眼の預言者

故郷: 冬のメールアーカイブ

武器: ラクカムスピアとダブルクロウ

能力: 複数のニュースソースからパターンを読み取り、起こり得る将来を計算します。

制約: 予測は確率です。フェイクニュースや人々の新たな選択は、常に結果を変える可能性があります。

加入年: 20

人を確率で見るのをやめた人

エイヴァーンは神託者と呼ばれる前はニュースコレクターでした。彼は冬の郵便ポストに住んでいます。他の人が見落とすパターンが見つかるまで、食べ物値段、雨の方向、行方不明者のニュースを読みましょ。彼のつがいのカラスは、多くの都市からメッセージをもたらしました。人々は隻眼の男が未来を見ていると考えるようになった。なぜなら、彼は朝まで座って結論を修正する夜など見たことがなかったからだ。

名声により、彼の口から「可能性」という言葉が徐々に消えていった。人々が彼の言葉を早く信じられるように、彼はもっと短く話した。そして間違った地図を引き出しに隠しました。エイヴァーンは嵐の探検中に片目を失いました。したがって、私たちは、リスクを冒したことのない人々の意見よりも、高い代償を払って得た知識の方が重要であるべきだと強く信じていま

す。

彼はかつて、雪崩が起きたら村は生き残れないだろうと予言したことがある。そのため、別の場所への支援を撤回するよう命じられた。村人たちは自分たちで障壁を築くことができました。しかし、医療部隊が到着しなかったため、負傷者は死亡した。アイヴァーンはその効率的なリソース管理で賞賛されました。そこには、父親が成功することを信じようとしたことがあるかどうかを尋ねる子供からの手紙が添えられていました。

その手紙のせいで、エイヴァーンは古い地図をすべて開いてしまった。彼は、他人の間違いを詳細に記録していることに気づきました。ただし、それがあなたのせいである場合には、状況が変わったという言葉を使用してください。彼は評価が失敗したことを発表し、犠牲者の家族に会いに出かけた。確率論的な説明は、助けの欠如を和らげるものではありません。だから彼は話すよりも聞くほうが多いのです。

結局のところ、彼の報告書はいくつかの選択肢を提示しています。結果を変える条件付きで、エイヴァーンはこれまでニュースネットワークに登場しなかった人々にカラスを送り始めた。カートの運転手、料理人、動物の飼育員も含まれます。これらの小さな情報が、マップされた世界に命を吹き込みます。それは全能者の計画に従う単なる矢ではありません。

20 年目、彼は中央のインプリント機械が山頂を越えて移動している証拠を目撃しました。解放されれば多くのゲートが一括制御されることになる。彼は、抽出が失敗する可能性が高いと計算しました。しかしその代わりに禁止を命じ、彼はすべての情報をアサラと影響を受けたコミュニティにもたらし、彼らはモデルには含まれていない方法を提案しています。それは、公式地図に載っている人々が決して注目しなかった古い塩輸送ルートを利用することです。

エイヴァーンはランカム・スピアを合図にエリアに進入する。彼はニュースに耳を傾け、現実が予想と異なる場合は計画を変更します。人々が面目を保つために預言に従って戦うことを主張しないでください。抽出は機械の速度を落とすことによってのみ行うことができます。しかし、それは多くのコミュニティが災害に間に合うように備えるのに役立ちました。彼はそれに応じて結果を報告した。それを完全勝利に拡大しないでください。

彼はニュースアナリストとしてアルン連合に参加しました。結論をレビューし、改訂履歴を保管する人を常に任命してください。カラスのつがいも飛んで帰ってきました。しかし、彼はその静けさを世界が平和であるとは解釈していません。知らせが届かなければ、彼は情報がないと書きます。困っている人がいないわけではない。

出発する前に、手紙少年は父親が築いた障壁の地図を送りました。エイヴァーンはそれをファイルの先頭に貼り付けた。それはあらゆる危険を克服できることを保証するお守りではありません。しかし、人間はいつでも新しいものを選択できると警告しています。彼はいつも誰も驚かない人間になりたいと思っていた。今、彼は長生きして、自分が知っていると思っていた未来を人々が変わるのを見たいと考えている。

ARUN RPG ・ 40 / 60



セルバラ

セルバラ ・ AR-040

役割: 前線から戻ってきた受信者

故郷: 雪上救助隊

武器: シグナルスピアとドーンシールド

能力: 移動中に負傷者を保護するために風ラインを開いてください。

制約: 自分の体重以上のものを運ぶと、防御力が失われます。他者を評価し、強さを求めなければなりません。

加入年: 20

旗の色を問わない翼

セルバラさんはまだシールドを持ち上げることができなかったときから、雪の救助隊と一緒に飛ぶ訓練を続けてきた。傷ついた人々が羽音を聞いて顔を上げた瞬間が好きだった。なぜなら、希望は常に言葉よりも先にあるからです。インストラクターが体重や風、帰りのルートなどをチェックします。しかし、部隊を讃える歌は、最も多くの人員を運んだ勇敢な男たちについてのみ語ります。

セルバラは歌の中の人物になりたいので、一度の任務で限界を超える負傷者を受け入れます。防風ラインが空中で切れた。彼女は緊急着陸することができたが、すでに重篤な状態にあった患者は、追加のチームを待っている間に悪化した。彼女は多くの人を助け、彼女の決断のせいで一人を失いました。2つの真実が痛ましいほど共存しています。

指揮官は風向きが変わったという報告書を書くとし出した。セルバラは拒否した。彼女は実際の体重記録を提出したが、取り消された。地上作業中に彼女は、翼が上がる前に救助が始まったことを知りました。担架の手配、薬の準備、地域住民に合図の指導まで。空に美しい画像を持っていない人でも、同様に多くの命を救うことができます。

この間違いにより、彼女は次の決断を下すのが怖くなった。部隊の医師が生存者と話をするために彼を連れて行くまでは。彼らは彼女に一度に全員を連れて行くように頼んだわけでは無い。ただし、誰がいつ戻るのか教えてください。そして、分からない場合は約束しないでください。そこでセルバラさんは、失望への恐怖を利用して無理な約束を強いることはせず、バックアップを伴った数便の計画飛行で飛行練習に戻った。

二十年、山の頂上付近での戦いで二人の兵士が雪渓に取り残された。この部隊は自軍側のみを支援するよう命令を受けた。セルバラは霧の向こうにさまざまな色の旗を見た。しかし、同じように荒い息遣いが聞こえました。彼女は武器の使用が禁止されている治癒エリアを指定する信号槍を設置した。次に、緊急度に従って症状を分類し始めます。

ある兵士は、自分が先に敵を運べば撃つと脅した。彼女は高尚な教えで応じません。時間が無い人に、担架を運んでもらうように伝えてください。ロスガーは地上チームに合図をするためにやって来た。セルバラさんは再び上空を飛行するために全員の安全を犠牲にする必要はなかった。

前回の旅行中、風が強かったので休憩しなければなりませんでした。怪我をした人は、立ち去らないかと尋ねます。セルバラさんは、現時点では飛行を続けることができないと直接語った。しかし、それは留まり、信号を送信します。彼女はチームが到着するまで、夜明けの盾を上げて雪を受け止めた。怖い人と一緒にいることに意味があるのです。たとえそれが彼女が夢見ていた素早い救出のイメージではなかったとしても。

彼女は元の部隊を離れ、中立ナース地域協定を維持しながらアルン同盟に参加した。マリン氏は移民基準の設定に貢献した。カチンは、さまざまな体型に合わせてベビーベッドを製造しています。セルバラは、恥ずかしがらずに自分の体重と限界を共有できるように全員を訓練します。なぜなら、強く見せようとするよりも、本当の情報の方が命を救うからです。

遺族は出発前にゆりかごを覆う布を送った。許しのメッセージはありません。彼女は丁重にそれを受け取り、緊急連絡先の名前を布の隅に縫い付けました。それを名誉勲章にしないでください。セルバラさんは今も、翼の音に希望をもたらしたいと願っている。しかし、計画があり、境界線があり、言われたとおりに実際に受け入れて戻ってくる人々がいるという希望があります。

ARUN RPG・41 / 60



オルカン

オルカン・AR-041

役割: 絆を壊す者

故郷: 山の根の牢獄の穴

武器: 牙も爪も力も

能力: 接合された金属の匂いを嗅ぎ、溶接部を噛みます。

制約: 血の匂いと鎖の音がパニックを引き起こした。追い出されずに退却できるスペースがなければなりません。

加入年: 20

他人の鎖に噛みつく狼

オルカンは自分の名前の前に鎖の音を認識した。彼は山の根の下に捕らえられた巨大なオオカミでした。衛兵たちは彼の力強さを恐れ、彼が動くたびに拘束を強化した。痛ければ痛いほど、彼はさらに苦しみました。彼がもがけばもがくほど、人々は彼をもっと厳しく閉じ込める必要があると信じた。撤退の機会があるかどうか誰も尋ねませんでした。彼はまだ人々に突進するのでしょうか？

彼は、金属製のコマンドバイディングを血が出るまで噛んだことで、その匂いを覚えた。一品一品味わいが異なります。停止を必要とする規制もある 逃げようと思うと辛いこともある。警備員たちはチェーンを他の鉱山に売る前にチェーンをテストするために彼を利用した。その時、オルカンは自分の苦しみがさらに多くの人生を生き続けるのに十分正確なものになってい

ることを知りました。

ウルという名前の食品配達員は、彼の気概を証明するために彼を撫でようとはしませんでした。水槽を同じ距離に置き、毎日そのスペースから離れてください。オルカンが咆哮を上げたとき、ウルは入ってこなくなった。彼の一貫性により、彼は相手がドアから出て行く前に食事を始めることができた。そしてついに毛皮の下に隠れていた傷が見えるようになった。

ウルは20年目に連合に連絡を送った。ニラックとカリニーが機械を取り外すためにやって来ます。しかし、道具の音にオルカンは怯え、彼に噛みつきました。彼らは計画通りに撤退した。反撃したり、彼を恩知らずだと呼んだりしないでください。ウルは同じ信号を使って彼を落ち着かせ、再び近づくかどうかを選択しました。救出には数晩かかりました。片手で頭を触っただけで嫌な記憶が消えるわけではありません。

メインチェーンが緩むと、オルカンは他の接続点とは異なる接続点を見つけました。彼は命令が失われるまで慎重に噛みつきました。力を加えてすべての関節を破壊したわけではありません。彼の力は、以前に彼に害を与えたものについての知識になりました。突然、他の動物を入れていたドアが系統的に閉まり始めました。彼は目の前に出口があったが、振り返って別の鎖に噛みついた。

叫び声と血の匂いが彼を震撼させ、ほとんど覚えていないほどだった。カリニーはいつも退路を残します。オルカンは休むために後退し、その後、一度に1セクションずつ自力で戻った。彼は、強制的に倒れることなく、投獄されていた多くの人々を解放しました。空に到達すると、彼は長い間地面に横たわっていました。痛くない幅の使い方がわからない。

回復には、遠くまで歩けるようになる日もあれば、金属の音で引き返し隠れする日も含まれていました。連合は近づく前に静かな場所と標識を提供します。オーカンは、チームが徐々に学習する動きや音を通して同意を示します。彼の心を読むことができると主張する人は誰もいません。ウルは掃除した同じ餌バケツを持って訪ねてきた。

オーカンは刑務所を搜索する護送隊に従うことを選択した。彼は拘束具の匂いを嗅いだり、袖口を噛んだりすることに取り組みました。ただし、刺激が強すぎる場合には、撤退する権利があります。彼はトレーナーが大声で命令し、すぐに駆け寄らなければならないような武器ではありませんでした。彼の強さは方向を選択する権利とともに戻ってきました。

出発する前に、ウルは匂いを嗅ぐために補給袋にストラップを付けたままにしておきました。オーカンは初日に拒否した。誰もが他の方法で物を運びました。翌日、彼は戻ってきて、自らつり革の近くに立った。大きな歓声はなかった。手を待って確認してから動くだけです。世界にはまだ多くのチェーンが存在します。しかし今度は、どんな道にも立ち止まる場所があること、そしてすべてのドアが後ろで閉まる必要はないことを彼は知ることになるでしょう。

ARUN RPG ・ 42 / 60



セラティア

セラティア ・ AR-042

役割: 石庭の番人

故郷: ダラ ムアン郊外の石庭

武器: 石の目と蛇の髪

能力: 石のように硬くなるまで、接触しているオブジェクトの動きを一時的に遅くします。

制約: アイコンタクトを維持する必要があります。 反射により反発や疲労が生じ、視界が妨げられます。

加入年: 20

振り返らせてくれる瞳

セラシアは人の顔を彫刻するのが好きです。彼女はパープル スターの外にある石庭で働き、各人をその人たらしめるシワ、笑顔、非対称性を観察しました。漏電後、彼女の髪が動き、その視線は目を合わせた人々を一瞬凍りつかせた。彼女はかつて最も愛したものを直視する勇気のない人間になってしまった。

最初の事故は、挨拶に来た整備士の友人との間に起こりました。彼は足場から落ちるまでじっと立っていた。すぐに力は収まったが、本当の傷は癒えない。セラシアは目を覆い、工場に閉じこもった。責任を取るには、みんなの人生から消えることが最善の方法だと思います。友人が彼女に話したいという知らせを送ってくるまでは。噂については話さない

2人は直接目を合わせることはなく、並べられた席で会った。セラシアは謝罪し、医療費を援助する。友人たちは怒っていることを認めています。しかし、理解できないものをみんなに恐れさせるのではなく、彼女にコントロールすることを学ばせてください。彼女は光の材料と動物モデルの実験を始めました。アイコンタクトは継続しなければならず、止めると効果が緩和されることが判明した。しかし、鏡はその力を自分自身に戻すことを可能にします。

彼の能力に関するニュースを聞くと、人々は彼にその能力を使って泥棒を懲らしめてほしいと頼むようになった。彼女は社会に再び受け入れられることが約束されました。他の人がやりたくない仕事を自分でやりたいと思うなら。セラシアは孤独から逃れたかったので、ほとんど受け入れた。しかし、ヤンジェン氏は、人を見ることは批判的ではないと警告する。そして、利用されることと、尊厳の場が与えられることはイコールではありません。

20年目、避難中に石庭の構造物が倒壊した。負傷者はスロープから滑り落ちた。セラシアは目で彼の動きを遅らせることができる。しかし、彼女は恐怖にもかかわらず、彼に振り返るように頼まなければなりませんでした。彼女は自分の名前を名乗り、これから何が起こるかを説明し、答えを待ちました。男性が応じたので、セルバラさんが捕まえられるように彼女は動きを一時停止した。

敵はガラスの盾を使って攻撃します。彼女は自分を傷つけるまで自分の力を無理に使うことはありません。しかし、ボランが開けるのを手伝った道に沿って回避し、音声を使ってチームに場所を伝えます。彼女の目が全員を石に変えたために、戦いは終わりませんでした。私の友人が自分の限界を知っていて、限界を超えずに彼女を助けることができるように計画したので、それは終わりました。

イベント後、セラシアはルールを理解したモデルを使用して彫刻に戻ります。罪悪感から、彼女は友人の傷を像から消さなかった。しかし、パフォーマンスをどのように実行したいかを尋ねました。彼は自分の足跡を残すことを選択した。そして彼女は、人を尊重するということは、その人の人生を他の人に見栄えよく見せることではないことを学びました。

彼女は危険を助け、制御するためにストップ・ムーブメント運動に参加しています。必要に応じて上げ下げできる軽いフィルタークロスを使用してください。永遠に身を隠さなければならぬマスクではありません。誰もが自分の力を使う前に信号を学びます。そして、あなたの誠実さを証明するために彼女にアイコンタクトを強制すべきではないことを知ってください。

出発日 整備士の友人から、閉じられるミラーを譲っていただきました。彼女は訓練に従って短時間顔を開きました。見慣れない髪と疲れた目 しかし、罪悪感を感じているのはそれだけではありません。セラシアは蓋を閉めて道路の方を見上げた。彼女に理解を示してくれる誰かがいても、すぐに物事が楽になるわけではありません。しかしそのおかげで、彼女は一生をかけて頭を隠して再び逃げる必要がなくなりました。

ARUN RPG ・ 43 / 60



ボラン

ボラン ・ AR-043

役割: 迷路技術者

故郷: 迷宮刑務所の地下にある工場

武器: 角、拳、ハンマーはシンプルです。

能力: 振動によって空洞を感知し、重要な支持構造のない壁を破壊します。

制約: ノイズが多いと分離できない構造です。一步間違えば埋もれてしまうかもしれません。

加入年: 20

迷路の最初の扉

ボランは迷宮のような刑務所の地下にある工場で生まれた。彼は自分と足の裏を伝わる振動からその図を学びました。たとえ頑丈な壁があっても、空の部屋と満員の部屋を分離します。その後、警備員は彼を利用して誰も逃げられない道を作りました。そして彼のスキルは街の安全を守ることだと言いました。

彼はあらゆる角度からフィットする仕事に誇りを持っています。隠されようとしていた壁に名前の傷を見つけるまでは。看守は、それは危険な囚人のものだと述べた。しかし、ボランは中からデザートレシピが朗読されるのを聞いた。壁の向こうの男は店の引き継ぎを拒否したとして逮捕された菓子職人だった。彼は雇用主の説明よりも刑務所の音に耳を傾けるようになった。

ボランはこれで十分だと考え、独房に密かに通気口を追加した。ある日、警備員が火災の際に地図を使って逃げ道を塞ぎました。彼は、壁に隠された小さな優しさでは、檻全体を作る上での自分の役割を相殺できないことに気づきました。そこで彼らは作業を中止し、非常口を正式に開放するよう求めた。

彼の要求により、彼は自分で設計した部屋に閉じ込められることになった。計算されすぎた角度から衛兵の笑い声が響いた。ボランは怒りのあまりすべての壁を壊しそうになった。他のセルの上にある梁が重さを共有していると感じる前に。すぐに逃げると、助けたい人を埋もれてしまう可能性があります。そこで彼は、パイプの音、柱の音、足音を聞き分けられるようになるまで、座って耳を傾けていました。

彼は角を使って梁の位置をこすり、ゆっくりと排水路への水路を開いた。受刑者たちはノックを通じてニュースを伝えるのに協力した。証拠によると、20年目にチャオウェンとカーチンが到着した。ボランは不確実な点を含む図を送信した。作成者がすべてを知っているとは言えません。監視員が事前に知らせずに区域を拡張していたからだ。

人々を助けている間、機械は非常に大きな騒音を出し、虫歯を読み取る力は役に立たなかった。ボランは焦ったにもかかわらず、壁を叩くのをやめた。その後、通常の穴あけ加工を施したモデルを使用します。カチン氏は構造計算を手伝ってくれた。彼らは、警備員が入ることを意図されていない迷路の最初のドアを開けました。しかし、内部にいる人々が外に出ることを選択する余地はある。

刑務所が空になると、ボランは刑務所をすべて破壊するかどうか尋ねられる。彼は、その一部を証拠として残し、残りについてはコミュニティに決定を委ねるよう求めた。彼は自分が行った仕事に対して責任があります。注文者名を開いて毎回デザインを変更します。一人のハンマー使いや一人の指揮官に安易に責任を負わせてはなりません。

彼は道路清掃員および構造検査官としてアルン連合に参加しました。持っているハンマーは村で修理できる普通のハンマーです。彼は少なくとも2つの出口があるように邸宅を設計しました。ドアが自分の体型に合っているかどうかを確認するようユーザーに促します。小柄な人も大柄な人も同じことに耐えなければならないとは考えられていません。

帰る前に壁の向こうから菓子屋さんがキャンディーを持ってきてくれました。ボランは作ったばかりのドアの敷居に座って食事をしました。彼の後ろで急いでドアを閉めようとする人は誰もいなかった。彼は、かつて人々を絶望させた同じスキルが、今では人々の帰還を助けていることを知っていました。今後、図上に線が配置されるたびに、神はまずその線が誰を指しているのかを尋ねるでしょう。そして彼が出てくる方法は何ですか？

ARUN RPG・44 / 60



ヴェリスカ

ヴェリスカ・AR-044

役割: 沼地の九つの声

故郷: 光る霧の池

武器: 九つの首と牙と毒

能力: それぞれの頭は異なる領域を認識し、体は食べ物の力で組織を回復します。

制約: 食料が不足するとすぐに回復できません。決定によって他の人々の権利が剥奪されることがあってはなりません。

加入年: 20

誰もが受け入れる唯一の名前。

ヴェリスカには9つの首があり、同時に目覚めることはありません。ある頭はカエルの鳴き声が好きです。別の頭は雨に悩まされています。後ろの小さな頭は、他の人が見落としているものをよく見ます。沼の人々は彼女を孤独な獣と呼びます。しかし、体内では常に議論が行われています。彼らは共同名「Veriska」を使用することに同意した。違いを消さずに、誰もが答えられる言葉が欲しいから。

幼い頃は口がたくさんあるということは、食べ物を奪い合うことになります。最も強い頭が常に最初に歩く方向と食べる方向を決定します。もう一人の頭は、自分の体が餓死するのを恐れて屈服した。ヴェリスカは大きくなるが、協調性は低下する。ショックを受けるたびに、それぞれの首が別の方向に引っ張られ、ついにはもう一方の首が痛くなります。

ハンターは、体全体が閉じ込められるように、餌で片方の頭を誘惑し始めます。リーダーは頭部が失われたことを責め、二度とラインから外れないよう命じた。そのルールにより、彼らは後ろからネットを見ることができなかった。次回、彼は以前よりもさらに激しく立ち往生しました。ヴェリスカは、食料の備蓄がなくなるまで組織再生能力を使わなければなりませんでした。そして、以前聞き逃した声を静かにするように命令しても安全にはならないことがわかりました。

ファナライは沼地の根を通して振動を聞き、マリンを彼のところに連れて行きます。彼らはただ口を大きくするだけではありません。ただし、各頭が助けに応じるのを待ちます。ヴェリスカさんは、こんな小さな人がこんなに時間がかかるのかと驚いた。ネットの解放はゆっくりと行われました。食べ物がなければ体は回復できないからです。代償を払わなければまた成長できる動物ではありません。

回復期間中、ナイン・ヘッズは仕事と食事を分担し始めた。小さな頭は後ろの観察者です。頭は毒の匂いに敏感です。主要セクションは、すべての反対意見を権力闘争として解釈することなく耳を傾けます。彼らは停止信号として短い音を一緒に使用しました。どの頭でも出てくる可能性がある

20年目、誰かが池に廃棄物を流し、水に毒を盛ったとしてヴェリスカを告発した。彼女は告発者たちに毒を吐きかけたかった。しかし、そうすれば自分の家も破壊されることを彼は知っていました。そこで、ナインヘッドズは互いに協力して各地域を視察しました。パイプの位置と時間を収集し、タラケスと測量士に確認させます。

工場が沼地を埋め立てようとしたとき、彼女は体を使って地面を支え、小動物や漁師が逃げるのを助けました。頭部1名が負傷したが、合図とともに全員が撤退することに同意した。自分の名誉のために、分断された身体に損害を与えるのではなく。この証拠により埋め立ては中止され、彼女が調査に携わった池を再生する計画が生まれた。

ベリスカは広域監視および海洋保護連合に参加します。大きな体を通るルートを確保したり、実際の餌を用意したりする。彼女はどの頭が余分であるかを誰にも決めさせません。ミッションを配置するには、まず内部合意を通過する必要があります。しかし、準備ができていれば、視点の多様性により、チームは脅威をより早く認識できるようになります。

出発する前に漁師は一輪ではなく九輪の花を持ってきました。ヴェリスカは子供たちも一緒に笑うまで一斉に笑いました。後になって当主は初めて束を受け取りました。彼らの1つの名前はもはや1つの音を意味しません。それは、あらゆる声が喜んで共に歩む身体のことを指します。そして、体のどこかが痛いと感じたらすぐに止まる準備をしてください。

ARUN RPG・45 / 60



カーヴァル

カーヴァル・AR-045

役割: 三つの声の守護者

故郷: ゴーストタウンの影の床のゲート

武器: 3 セットの牙と 1 つの蛇の尾。

能力: 3 つのヘッドが匂い、音、エネルギーの痕跡を個別に検出します。

制約: 刺激が多すぎると頭が混乱してしまいます。行動を起こす前に、共通のシグナルについて合意する必要があります。

加入年: 20

「出て行け」という言葉を知っている門番

カーヴァルは長い間その影の扉を守ってきたため、それが外に存在したことを忘れていた。左の頭は音を聞く 真ん中の頭は匂いを嗅ぐ 右の頭は電源マークを見る 監督が教える唯一の合図は、通行人が外に出ないようにすることです。蛇の尾はドアの近くの地面を調べるために使用されます。体のあらゆる部分は、自由に面した動きを疑うように訓練されています。

彼は投獄された人々を憎んでいなかった。時々私は彼らに水を入れたボウルを移します。しかし、誰かがドアに向かって歩くと、体は自動的にブロックします。管理人は彼の正直さを褒めた。そこでケルヴァルは、人々が家に帰らなければならないと叫ぶのを聞くたびに胸に起こる重い気持ちをこの言葉で表現しました。

間違った名前を送り込まれた老婦人は、混乱を避けるため、三人の首に別の言葉で呼びかけた。彼女はゆっくりと話し、促さずに手を差し伸べることはなかった。そして草を見たことがあるかと尋ねると、カーヴァルは人の靴の匂いを知っている。しかし、決してその地には足を踏み入れないでください。彼女は、外に出たら、雨の後の濡れた草の感触を教えてあげる、と約束しました。

名前変更命令が届いたとき 管理人は仕事を失うことを恐れて老婦人の釈放を拒否した。カーヴァルは本当にブランドの匂いを嗅ぎました。衛兵の躊躇いが聞こえた。そして、その力が指示どおりでないことを初めて見て、三感すべてが訓練レッスンとは違うと言いました。彼はほんの一瞬ブロックをやめたが、すぐに罰せられた。

20歳のZhaowenとNetdaoがファイルをチェックするためにやって来ました。ケルヴァルは水入れを動かすことで信号を送り、老婦人はそれを理解しました。二人は拘禁命令の条件が違反していることに気づき、ドアバッジを外し始めた。管理人は3人の首長を混乱させるために一度にいくつかの警鐘を鳴らした。ケルヴァルたちは互いに衝突し、危うく救助者に噛みつきそうになった。

老婦人は彼の名前を一人ずつ呼びました。毎日のようにゆっくりと、音、匂い、光景を順番に並べていきました。立ち上がって独房から背を向ける選択をする前に、看守が入ってきて、出ていく人々を攻撃しないようにしてください。今回ドアをふさいだのは選択だった。それは、心が考える前に体が出す命令ではありません。

カーヴァルは最後の一人とともに影のレベルを離れます。彼はドアを後にすることに慣れていなかったため、数歩後ずさった。屋外では聴覚が過度に聞こえます。チームは調整するための静かな場所と時間を提供してくれた。老婦人は、紐を引っ張ったり、人々が見たい反応を促したりすることなく、彼を本物の芝生の上に立たせました。

彼は出入国検査官として連合に加わった。外国勢力の痕跡を搜索し、住居を護衛する各キャンプには共通の合図があり、3人の首長が仕事を始める前にそれを練習します。情報が矛盾している場合、チームはさらに確認する必要があります。片方の頭が唸ったからといって、誰かを危険人物と判断しないでください。

キャンプ最初の夜 子供が起きてトイレに行きました。カーヴァルは古い習慣をほとんど止めた。道を譲るために動き、小さな音を立てて世話人に助けを呼ぶ前に、子供は恐れることなく歩いて戻りました。彼はまだ雨に濡れている草の上に横たわった。裏口が開いています。そして、誰かが立ち去ることを許されたからといって世界が終わるわけではありません。

ARUN RPG・46 / 60



ヴァレッサ・モーベン

ヴァレッサ・モーベン・AR-046

役割: 夜の支配者

故郷: パープルスターシャドウマンション

武器: コウモリの牙とカーテン

能力: 暗い霧に変身し、近くの体の脈拍を読み取ります。

制約: 適切に栄養を与えなければなりません。強い光は原子を破壊します。

加入年: 20

注文する権利のない飢え

ヴァレッサは借金と飢えとともにモルヴェン邸を受け取る。彼女は周りの人よりも長生きした。時間をかけて栄養を摂取する必要があります。そして、短命な人は家族の記憶を守る者として仕えるべきだと教えられた。彼女は、労働者が要求を断るのを見たことがなかった。したがって、誰もが同意していると誤解されます。

図書館管理者が辞めると、ヴァレッサはお腹が空いてから一晩も休んでいないと知る前に、昇給を申し出る。家全体が彼女のお金に依存していたため、彼は毎回受け入れました。雇用主の礼儀正しさが選択を自由にするわけではありません。「ノー」という言葉があれば、家族は住む場所を失う可能性があります。

ヴァレッサは元のシステムをすぐに停止します。しかし、突然の変化で体は弱ってしまった。

彼女は必要に迫られて、従業員に電話をかけるところに戻りそうになった。援助のために連れてこられたマリンさんは、遺体の後見を家の権威から切り離すよう要求した。調停者との確認に同意する者から適切な権限を得る計画。自分にとって安全な代替ソースを見つけてください

学習期間 ヴアレッサはこれまでやったことのないことをしなければなりませんでした。つまり、質問して答えを待ちます。彼女は、権利を失うことなく、雇用契約を修正して拒否できるようにすることができます。必要に応じて人々が退去できるように部屋を開けてください。屋敷は最初は静かだった。彼女は悲しみに暮れており、人々が恐怖に縛られるのを止めるには沈黙が代償であることを知っています。それは亡くなった人の忘恩ではありません。

20年目、貴族ネットワークは邸宅の下部屋をセンターインプリントマシンの保管場所として使用するよう依頼しました。それは名誉と無限の力の源を回復することを約束します。ヴァレッサは、力は強制された人から生まれることを発見します。そこで彼は拒否し、証拠を統一戦線に送った。かつて彼女を外界から守っていた家は、立ち入り禁止の場所となっていた。

相手は廊下に強い光を灯してミスト化を阻止した。ヴァレッサは負傷し、以前使っていたルートから逃れることができません。残ることを選択した労働者はカーテンを掛け、居住者を外に連れ出すのを手伝った。彼女は脈拍を聞いて取り残された人々を探していました。しかし、誰かの恐怖を通知なしで近づく権利として解釈しないでください。

図書館の一部が破損していました。ヴァレッサは紛失した日記を思い出して泣きます。人々が新しい記録を書くのを助けることに目を向ける前に、彼女は、長い人生が他の誰よりも自分の喪失を深くするとは主張していない。そして、そこに自発的に住んでいる人々から、家に価値があることを受け入れる。それは家族がその家を所有してきた年数ではない。

彼女は夜間偵察および避難所の擁護者としてアルン連合に参加しています。お金の力がメンバーに命令する権利に変換されるのを防ぐために使用される資産のアカウントを開くことによって、事前にグルーミングセッションを設定し、エネルギーが不足しているときの計画を立てます。飢餓を誰かが解決を迫られる危機に陥らせないでください。

出発前に図書館の老館員が客としてやって来た。彼は急いで戻らなければならなかったのでお茶を断った。ヴァレッサはためらうことなく拒否を受け入れた。そして、人々が気持ちよさそうに家から出ていくのを見ると、全員が家に留まらなければならないときよりも家が暖かくなることがわかりました。飢えは今でも彼女の一部です。しかし、彼が他人の人生の支配者の地位を再び与えられることは決してないでしょう。

ARUN RPG ・ 47 / 60



レン・アシュフォード

レン・アシュフォード・AR-047

役割: 月の下の旅人

故郷: 冬の国境コミュニティ

武器: 爪と感覚

能力: 形状を変更して強度と香りの追従性を高めます。

制約: ストレスはコントロールを困難にします。悪ではない 休息し、共同ケアプランを立てなければならない

加入年: 20

彼が戻ってきてドアをロックした夜。

レンは冬の国境のコミュニティで革職人をしています。彼は長距離を歩く人のために靴を縫い、汚れから目的地を推測するのが好きです。変化は、エネルギーが漏れ出ている森の人々を助けに行った夜から始まりました。ストレスがかかると、感覚がより敏感になり、力が増してきます。準備が整う前に彼の体は変化してしまうだろう。

この事故により、レンは捕虜たちの周囲の音を聞きながら、家のドアを引っ搔いてひび割れてしまう。家の中には怪我人はいなかった。しかし、彼は次回は幸運ではないのではないかと心配しています。それで彼は森の中に逃げました。あなたの妹に、フォローアップしないようにと伝える短い手紙を残してください。一人でいることは人を避けるのに役立ちます。しかし、寒さと睡眠不足により、コントロールが難しくなりました。彼は恐れていることが起こりやす

くする方法を使っている。

姉は、彼が通り過ぎたとわかった場所に物資を降ろした。後を追って藪に入ったり、大声で呼びかけたりしないでください。彼女は準備ができたなら話したいとの手紙を残した。レンは、答えることに同意する前に、それを何度も読みました。怖いものは何もないと言われたくなかった。彼は変化の計画を立てるのを手伝ってくれる人を本当に必要としていました。

マリンとセルバラは、20年目に症状の評価を手伝うようになりました。彼らは休息、食料、警告標識、群れにされることなく退却できる場所を提供しました。レンはストレスの原因となる音や匂いを観察する練習をしています。姿を変えたからといって悪人になったわけではない。しかし、余分な力にも責任を持ち、それを安全に使用する方法を学びましょう。

嵐の中で子供が行方不明になったとき、コミュニティはレンに匂いを追跡するよう依頼します。彼はそれが受け入れられるべきであることを証明するためにすぐに答えたかったのです。しかし、最初に限界を伝えることを選択してください。彼にはパートナーがいるはずだ。松明に追われないので、騒音がひどくなったら休憩する必要があります。お姉さんも待機場所の準備に参加します。一方、ワリンは別のルートをとった

レンは傷ついた動物がいる洞窟で子供を見つけます。血と叫びの匂いが彼の心臓の鼓動を早めた。彼は練習をしながら後退した。弱っているように見えるのが怖かったので、私は急いで入りませんでした。ワリンは道を作るのを手伝い、セルバラは少年を抱き上げて外へ連れ出した。成功は症状を受け入れる計画から生まれます。たった一つの決意でそれを克服することではありません。

戻ってきた後も、地域住民の中には彼が自分たちの子供の近くにいることを望まなかった人もいた。レンは傷ついていますが、信頼を強要しません。彼は、彼らの安全と権利の両方を尊重する境界線の設定に参加しています。私たちは、軽薄な懸念に基づいて自分自身を閉じ込めることを許すことはできません。私たちは、情報、トレーニング、実地経験を通じて、一緒に一日ずつ前進していきます。

彼は匂い追跡者としてアルン連合に参加し、行方不明者の搜索を手伝っています。彼らはまた、キャンプ用の靴を縫い、仕事を家に送りました。格闘家であることは革職人であることを奪うものではありません。彼は爪を使って、詰まったロープを正確に切る練習をしました。そして、すべてのミッションで変身する必要がなく、通常のフォームが役立つことを知ってください。

旅行の前夜、レンは遅く帰宅し、ドアの前で立ち止まりました。彼がこの場所を去ったのは、愛が消えることを意味すると考えていたからだ。今度は彼は合意の信号をノックした。姉はドアを開け、彼女のためのスペースを残した。彼は修理した靴を脱いで中に入りました。恐怖はまだ残っています。しかし、明日の生活のためのテーブルと計画はすでにあります。

ARUN RPG ・ 48 / 60



あくろ

あくろ ・ AR-048

役割: レッドビームリフター

故郷: 火の石鉱山都市

武器: ボタン鉄バトン

能力: バトンを介して筋力を伝達して、ビームを持ち上げたり、障害物を破壊したりできます。

制約: 非常に強力で、周囲を破壊することができます。正確さを練習し、ゆっくりと作業する必要があります

加入年: 20

子供たちを怖がらせるのをやめた悪魔。

アクロは子供の頃から大きかった。彼の肌は赤かった。彼はとても強くて強いので、鉱山町の人々はいたずらな子供たちを捕まえるために彼を呼ぶのが好きでした。大人たちの面目を傷つけたくなかったので、彼も一緒に笑いました。自分の外見が他人を怖がらせるのに最も役立つと信じるまでに

鉱山の所有者は彼を借金取りとして雇った。アクロは鉄棒を持って家の前に立っていた。債務者は支払うことに同意した。彼は自分の手で人を傷つけたことはないと言った。したがって、家の中にいた人が退去後に何を売ったのかを知る必要はありません。ある時、女の子が彼を見ると走って冷たいストーブの中に隠れました。アクロは、ドアを通り過ぎた後も、仕事と呼んだ恐怖がまだ家の中にあることにすぐに気づきました。

おもちゃメーカーに借金を取りに行ったとき、子供の頃にもらった木のおもちゃを見つけた。その技術者は無料でやってくれました。朱郎は指揮棒を置き、借金のことを尋ねる。鉱山所有者が、修理しなかった事故から医療費を差し引いていたことが判明した。彼は人々に戦うことなく不正義を受け入れさせました。

仕事を辞めたアクロは、善行を偽ったとして町に不信感を抱く。彼は通常の給料で梁を持ち上げるのを手伝い始めました。しかし、威圧するために使用される力は、多くの場合、物を壊してしまいます。おもちゃ屋さんは彼に、水の入ったカップをこぼさなくなるまで持ち上げる練習をさせた。訓練は警棒使いにとっては少なすぎるようだ。彼は数日間当惑したが、精度を高めることは地面を揺るがすことよりはるかに難しいと認めた。

20年目、所有者が梁を強化せずに追加工事を命令したため、鉱山は崩壊した。アクロは食料を届けに来た子供が中に閉じ込められていると聞く。彼はほぼ全力で入り口を破壊した。しかし、ボランは構造物の方向を感知し、主梁がそこにあると警告した。アクロはやがて聞くのをやめた。心の叫びが心を急ぐのに

彼は指定されたポイントで警棒をてことして使用した。カチンが支えられるように少しずつ持ち上げます。以前ストーブの中に隠れていた少女も立ち往生者の中にいた。彼女は彼をととても恐れたので、離れることを拒否した。アクロはバトンを見えないところに置いた。サポートフレームが許す限り後方に移動します。そして、彼女がよく知っている人にその道を導いてもらいましょう。彼は助けてくれているので、子供に信頼を要求しません。

救出後、彼は借金の回収と追跡された資産の返還に協力したことについて証言した。一部の家族は彼の援助を受け入れませんでした。アクロはその決定を尊重し、検証可能なミッドフィールドーを通じて償いをした。彼はその大きな体を利用して、誰かの戸口に立って再び許しを乞うようなことはしません。

アルン同盟に加入し、体制と守備力を高めた。作業に必要な最小限の力で練習してください。チーム内の何人かの人々がその方が簡単だと考える近道であるにもかかわらず、人々を脅迫するという任務を受け入れませんでした。彼は新入社員たちに、敵を止めることとコミュニティ全体を怖がらせることを区別するよう教えています。

出発する前に、おもちゃ屋は彼に木のコップを与え、彼はそれを持ち上げる練習をしました。アクロさんはそれに水を入れて、市場の中をゆっくりと運んでいきました。少女は母親の後ろから覗いたが、すぐには隠れなかった。彼は探しに行かなかった。ただうなずいて歩き続けてください。大きな人影も広範囲に影を落としています。しかし、彼は影を避難所として利用する方法を学んでいます。誰かに彼らの影に立つことを強いることなく

ARUN RPG ・ 49 / 60



はやてん

はやてん ・ AR-049

役割: 風上の管理人

故郷: ヨドメク修道院

武器: 扇の羽と黒い翼

能力: 目に見える通路の風向と風速を変更します。

制約: 空気を作り出すことができない 密閉されたエリアと複数の層の風の制御が困難です。

加入年: 20

谷を下って帰る風

ヨドメク修道院で扇の修行をするハヤテン。彼は黒い翼を持ち、風を読む能力を持っていたため、教師は彼を重要な捜査官だと信じていました。風が強いときも髪が静止するまで練習する毎日だった。それから彼は、谷を歩く人たちを見下ろし、なぜ彼らはその厳しい生活から立ち上がろうとしないのかと不思議に思いました。

私が講師になったとき、はやてんはついていけない生徒には厳しいです。彼は忍耐がすべての人を進歩させると信じています。ゼンという名の弟子が、めまいの症状に抵抗して訓練場から転落するまでは、児童は一命を取り留めたが、あえて休憩を求めることはできなかったという。教師は後退する人をオフィスの時間の無駄と呼ぶからです。ハヤテンは冗談で言った言葉を思い出した。そして、それがリスナーの人生にとって本当に重いものであることがわかりました

彼は禅が村で療養するのを手伝うために修道院を出た。食料を運んだり、道路を補修したり、夜通し病人の見守りをしたりするなど、羽のない人々の仕事を見てきました。村人たちは自分たちが下にいるから劣った生活を送っているわけではありません。彼らは山頂にいる人々に練習の時間を与える責任を引き受けました。ハヤテンは荷物の運搬を手伝いますが、彼の美しい扇風機が、注意しないと他人のキッチンに埃が入ってしまうことに気づきました。

彼は、狭い水路で風を利用する方法、力を弱める方法、そしてまずその地域の利用者に尋ねる方法を学び始めました。電力では宇宙から空気を作り出すことはできません。煙が充満した部屋で、彼は煙が出る前に実際に排水管を開けなければなりませんでした。そうしないと、相手に危険を押し付けるだけです。基礎的なレッスンにより、かつては完了したとされていた科目が日に日に詳細になっていきます。

20年目、亀裂からの強力な霧が谷に流れ込んだ。修道院は、自然のままの地域を守るために入り口を閉鎖するよう命じた。ハヤテンは命令を拒否した。彼は戻って休憩エリアを開放し、スリヤバックとともにいくつかの換気セクションを設置した。オフィスをきれいに保つためだけに、近隣の村に霧を吹き飛ばさないでください。

複数のレベルで吹くと制御が難しくなります。センはまだ飛行能力が十分ではなかったが、地上から信号を送信するのを手伝った。ハヤテンはかつて弱いと思われていた弟子の言うことを聞かなければならなかった。彼らの仕事は人々にどのような影響を与えるかを知るため 風が戻るとき、彼は年功序列について議論することなく信号で立ち止まった。そのため、風が変わる前に全員が移動する時間がありました。

イベント後、事務所は彼に以前の職を返還することを拒否した。彼はその場所が大好きだったので悲しんでいました。ただし、愛を利用して生徒にどちらの側につくかを強制しないでください。ハヤテンは、勉強する準備ができている人のために修道院の外でトレーニングを開きます。到達した高さから測定するのではなく、身体に合わせて方法を調整することにより。

彼は航空編成者および避難護衛としてアルン戦線に参加した。羽根扇子はまだ彼の手にあった。しかし彼は、風の向きを決める前に、木の葉、子供たちの声、煙るキッチンに耳を傾ける練習をした。グラウンド教師としての契約を交わした二人はお互いに練習を譲り合い、どちらも影も形もなかった。

ハヤテンの日は村の上空に飛び、料理人が残した食料の袋を拾うために降下した。彼は身長を低くすることは身長を失うことだと考えていました。今では、下に戻れば、まだ階下で待っている人がわかることがわかりました。彼のスキルは彼を何度も雲の上に連れて行くでしょう。しかし、そのたびに人々のもとへ戻る道が必ずあるはずです。

ARUN RPG・50 / 60



カワリ

カワリ・AR-050

役割: コップ一杯の水の番人

故郷: クローンコーラル諸島

武器: 水かきのある手と甲羅

能力: 流れの重さを読み取り、力を使って水中の物体をそらしめます。

制約: 頭の上のたらいの水は清潔で、乾燥してはなりません。水が失われるとすぐにパワーが低下します。

加入年: 20

手のひらサイズをお約束

カワリは運河やサンゴ礁の島に住んでいます。水と格闘したり、人が落としたものを拾ったりするのが好き。彼は硬い甲羅を持ち、手は水かきがあり、頭には水たまりがあり、清潔に保つ必要があります。人々は彼についてさまざまな話をします。野菜を入れる家もあります。運河に近づかないように子供たちに警告する家もある。そこで彼は、噂に合わせていたずらをする事で恐怖に耐えました。

小さなボートを引っ張って水中から見ると面白いです。カワリさんは、ある日子供が転落するまで、ボートに乗っている人々の顔を見なかった。彼は私が時間通りに起きるのを手伝ってくれた。しかし、子供は窒息してしまい、長い間水を怖がっていました。カワリさんは拾ったおもちゃを申し訳なさそうに手に取り、岸边に置いた。しかし家族は、それが新たな誘惑である

ことを理解していました。したがって、運河への道を閉鎖します。

彼は彼の善意を誰も知らないことに腹を立てていた。洗濯する前に、女性は、新しい意図が古い経験を消去するものではないと言いました。安全にプレイできることを人々に知ってもらいたい場合。彼らにプレイを選択させなければなりません。カワリさんは看板を立てたり、自分呼んでいない船を捕まえることなく物品の回収を手伝い始めた。彼は誰かがあえて返事をするまで何ヶ月も待ちました。

信頼は小さな作業から始まります。落下物を見つけたり、引っかかったロープを引っ張ったり、潮目が変わったときに警告したりするなどです。彼は、自分の手のひらの大きさが運河全体よりもはるかに小さいことを知りました。それでも重要な仕事はできる もしあなたがすべての人をあなたの才能の聴衆に変えようとしなければならぬ、

20年目に、港湾会社は廃棄物と混合した塩水を運河に放出しました。カワリの頭の中の水は消えてしまうほど刺激的だった。彼は、以前にきれいな水を補充するのを手伝ってくれるふりをしていた男性に与えるために、上陸しなければならませんでした。彼の弱さは彼を当惑させた。しかし、ボートから落ちた子供の家族は、距離を保ちながらバケツを落とすことに同意した。彼は助けを完全な許しとして扱うことなく受け入れます。

避難中に水門が詰まり、子供たちのボートが橋の下で立ち往生した。川利さんは流れを読んで、まっすぐ引っ張ると転覆することを知っていた。彼はLongxuan氏に、電流を短期間だけ減らすように頼んだ。力を使ってボートを脇にそらす前に、彼の頭の上の水たまりはほとんど乾いていました。彼は用意されたタンクから水を補給するよう人々に合図した。あなたが助けなければならない人になるまで、それを強制しないでください。

ボートが出てきましたが、かつて運河を怖がっていた子供は依然として水に入ろうとしませんでした。しかし、カワリにバケツを渡したのは彼だった。彼は私に感謝しましたが、私をレスリングの試合に招待しませんでした。相手の準備ができている限り、関係は前進します。むしろ、何事もなかったかのように笑いながら最後まで急かされた。

カワリは水域探査・水中回収部隊に加わる。彼らの体にきれいな水キットを提供し、キャンプ参加者に命を守る信号を教えます。彼は水の近くでいたずらをしてはならないという規則を設けた。親しい友人であっても、最初に尋ねる必要があります。楽しむために、自分に何が起こるかを知らず誰かが犠牲にする必要はありません。

出発する前に、布を洗濯している女性はバケツに小さな布をかぶせました。彼はそれを受け入れ、水がこぼれない程度に頭を下げた。彼の慎重な選択に誰もが笑った。川利は川に比べればまだ小さい。しかし、彼の約束は完璧な大きさでした。つまり、やると言ったことはやりなさい。そして、誰かがノーと言ったらすぐにやめてください。

ARUN RPG ・ 51 / 60



小針

小針 ・ AR-051

役割: キツネの光持ち

故郷: 迷った道の森

武器: 炎の狐と九尾

能力: 生き物を燃やすことなく、誘導光と視覚的な気晴らしを作成します。

制約: 各尾は 1 つのパスに結び付けられます。道が開きすぎて帰り道が思い出せない。

加入年: 20

九尾は優しさを覚えている

コハリは、迷い道の森にいる九尾のキツネです。四つ足で歩き、人間の言葉を話さない。しかし、食べ物を置き、スペースを与えるために脇に下がった手から伝わる優しさの香りを覚えています。それぞれの尻尾は森の中の小道に結び付けられています。彼女は生き物を燃やさない小さな火を使って、迷子になった動物を巣に連れ戻します。そして幻術を使ってハンターをねぐらからそらす

ある時、薬草採りの作業員が穴の近くで怪我をしました。彼女は彼を連れ出すのを手伝った。その男は何度も食べ物を持って戻ってきたので、彼女は彼女を信頼した。ライトに従って動物捕獲器を持ち込む前に、2つの尾が装置で固定されています。コハリは逃げ出すが、彼を縛っていた道は壊れてしまう。彼女は皆をだまして、何をしているのか区別せずに歩き回らせ始めました。

恐怖は森を捕食者から守ります。しかし、来なければならなかった薬草収集家は立ち往生していました。小針さんは一晩中子供たちが咳き込むのを聞いたが、助けてくれた小動物の鳴き声を思い出せなかった。彼女はまだ疑いをもちながらも近づいてくる。子どもたちは追いかけてません。水のボトルを置いて待つだけです。そこで彼女は道を切り開いた。すべての道を開く必要がなく、短期間で信頼を得ることができました

アンパラは傷んだ根を検査するためにやって来ます。二人は動きとエネルギーマークを通じてコミュニケーションをとります。いつでもお互いの考えを正確に読み取ることができると主張する人はいません。コハリは、スペースが必要なときに合図することを教えます。そしてアンパラは、人々が巣穴を乱さずに使用すべき道を示しています。

20年目、プレス機からの火災が古い根に沿って延焼した。コハリは、九尾が同時に使用されるまで、人々を導くためにいくつかの道を開いた。光が散り、彼女は穴への帰り道を思い出せなくなった。ワリンは皆を先導していたキツネが旋回しているのを見ました。そこで彼は、走り続けるよう促すのではなく、従うのをやめた。

チームは一部のルートを閉鎖し、コハリが認識した匂いを頼りに合流ポイントを設定した。彼女は休憩し、ラウンドごとに3尾のみを使用します。歩行者は中心点から後続者を導くのに役立ちます。彼女を導く光は、彼女が一度に希望の森全体を背負う必要がないようにするためのものでした。最後の一人が出てきたとき、彼女にはまだ家へ帰る道が一本残っていた。

停電後、コハリさんはアンファラを連れて破損した穴を見に行きました。コミュニティが明確な境界線で地域を再生するのを支援できるようにします。裏切った人々は、機器の証拠によって追跡されました。彼女は自分の怒りを理由に薬草採集者全員を森から追い出すつもりはなかった。

彼女は道探りの任務で暁同盟を追い始めた。季節と準備に応じて森に戻り、メンバーは尾信号を観察し、首輪を着用したり所有権を宣言したりしません。チームを組むことは、彼女が継続することを選択した行動です。一度人を助けることは、その人に永遠に奉仕しなければならないという結論ではありません。

最初の旅行の前、森で立ち往生した子供が、同じ水筒を集合場所に置き去りにしました。コハリは歩いて行き、匂いを嗅ぎ、それから瓶の横に小さな火を置きました。その光は、すべての人を信頼するという約束ではありません。しかし、それが今日の答えです。彼女は行列を3馬身先導し、それから振り返って待ちました。一度傷ついた優しさは今でも覚えています。境界線を保護しながら成長する方法を模索しています

ARUN RPG ・ 52 / 60



みゆら

みゆら ・ AR-052

役割: 冬を乗り越えさせる人

故郷: 冬の雪の家

武器: 冷たい息

能力: 雪の結晶に水分を取り込み、温度を徐々に下げます。

制約: 生きている人間に長時間近づきすぎると、相手は冷たくなってしまいます。距離と時間をコントロールする必要があります。

加入年: 20

距離を保つことを学ぶ雪

ミュラは、旅行者が所有者に会う前に窓の光を見るスノーシェルターに住んでいます。彼女は道端で話を聞くのが好きです。しかし、彼女の吐く息が空気を冷やした。訪問者は長くは滞在しませんでした。彼らが出かけるとき、彼女は雪が積もるまで立って足跡を眺め、それからまた次の人を待ち始めました。

彼女は孤独なため、知らず知らずのうちにゲストと近づきすぎていました。ある夜、病気の旅行者が宿泊を求めてきました。彼女はベッドの近くに座って、世話をするつもりでした。しかし、蓄積された寒さで彼は倒れてしまいました。みゆらはショックを受けて逃げ出し、雪の中に立ち尽くす。男性の友人は彼を救うためにさらに火を焚かなければならなかった。

彼女は家を閉めた。彼らは自分たちの愛が人を傷つけるだけだと思っています。エイリンが天気調査にやって来て、完全にクールなストーブを見つけるまでは。ミユラは追い出されるのを覚悟で一部始終を話す。永琳は温度と距離を測ってほしいと頼む。冷気の力には習得できる条件がある。彼女は誰の近くにいるべきではないと判断する必要はありません。

両方とも通気口を作ってみました。穴あき隔壁と距離マーカー みゆら 休憩を挟みながら徐々に温度を下げることを学びます。シーティングエリアは選択できます。彼女は反対側から話しましたが、笑い声はまだはっきりと聞こえました。スペースを空けることは必ずしも拒否されるわけではありません。場合によっては、そのような形が親密さを長続きさせることもあります。

20年目の年、吹雪のため多くの人が家にやって来ました。ミユラは寒さを避けるため、危うく避難しそうになった。しかしセルバラは、外の風をそらすために雪の結晶の列を作るのを手伝ってほしいと頼みます。彼女は適切な距離から行動します。家の人たちが暖かさを守ってくれている間、自分の体が役に立つために、自分の体ではないものになるようにする必要はありません。

夜間は屋根にかなりの重量がかかります。みゆらはすぐに水分を全部抜きたいと思っています。しかし永琳は温度変化の力について警告した。彼女はカチンが計算した線に沿って雪の結晶をゆっくりと動かしました。亀裂を見つけたとき、中にいた誰かが信号の傍受を手伝った。家の回復は、耳を傾けるのに十分遅い精度から生まれます。それほどひどい風邪ではありません。

彼女の世話で病気になった男性も客の一人だった。みゆらは謝罪し、新体制に伝える。彼はまた、遠くに座ることを選びました。しかし、私はそこからの私の旅について話すことに同意しました。彼女は許しを証明するためにもっと近づいてほしいとは言いませんでした。彼が選んだ距離には、まだ言葉が伝わる余地があった。

彼女は医薬品を集める任務でアルン連合に参加します。温度管理と雪道を支援します 友人が安全に訪問できる別の涼しいシェルターがあります。元のレストハウスは、季節ごとに世話をし、戻ってくるのを助けるためにコミュニティに提供されています。ミユラは、永遠に一人でいることと、孤独を避けるためにみんなを傷つける危険を冒すことのどちらかを選択する必要はありません。

出発する前に、彼女はドアに「寒いときは教えてください」という張り紙を掛けた。飼い主への気遣いから我慢を誘う言葉はなかった。その夜、彼女は火から少し離れたところに座っていました。星空の下で友達の話聞く彼女に届いた温もりは彼女の体温を上昇させなかった。しかし、それは、他の人たちが彼女を真に受け入れてくれる場所を喜んで作ってくれていることを知ることから来ています。

ARUN RPG ・ 53 / 60



かずろ

かずろ ・ AR-053

役割: 帰り道を守る傘

故郷: アルン橋近くの修理工場

武器: 傘フレーム、木製脚、傘マット

能力: 傘を開けるとカーテンのようになり、強い雨滴を遮断し警報を鳴らします。

制約: 強い力には耐えられない。脚フレームが片側しかないので転倒しやすいです。

加入年: 20

選択した項目は待機します。

和郎はアルン橋の近くにある修理工場で傘職人をしていました。多くの持ち主の手を経て、生地は本来の色を失うことになります。壊れた橋を返した後、エネルギーの破片が彼の古いフレームに突き刺さり、彼は目を開くことになりました。彼には木製の足が1本しかありません。遠くまでジャンプすることはできません。しかし、私はかつて他の人の上に奇妙に広げていた手を覚えています。

店主は彼が壊れたおもちゃだと思った。気づく前に、彼は質問に答えて座席を選ぶことができました。和郎は見捨てられるのが怖い。ですから、たとえ体が痛くても、私たちはすべてを受け入れることにオープンです。彼は子供たちに乱暴な遊びをさせます。一晩中雨を眺めていても大丈夫という言葉は、自分が何を望む権利があるのかわからない人々の自動的な声になっています。

ある日、布が破れて防水性がなくなっていました。店主は修理を待つために彼をカウンターの後ろに置いた。これでは駄目だと悟った和郎は逃げ出す。彼は濡れた路面で何度も飛び跳ねたり、転んだりした。プーミンが彼に会って、どうやって助けられるか尋ねる前に。彼はそれを物体として見たので、すぐには持ち上げませんでした。

店に戻るとオーナーは説明不足で申し訳ないと謝った。和郎さんはまだ話すことはできるが、置いていかれるのが怖いという。修繕工事を知らせる看板とプライベートコーナーを設けることで合意した。彼はパッチに使用する生地の色を自分で選び始めました。他の人が適切だと考えるものを尋ねずに受け入れるのではなく。小さな決断によって彼の正体が徐々に明らかになっていく。

20年目、亀裂からの激しい雨が高速道路に降った。霧は旅人を弱らせます。和郎は自分の影が一瞬それを濾過していることに気づきました。しかし、強い力には耐えられません。彼は列車全体を取材して、その価値を証明したいと考えていました。フレームが軋み始め、アランが停止を要求する前に。

和郎は既存の屋根の下を中継地点として利用することを申し出る。代わりに全員が短い避難所に並び、1本の傘で空全体を捉えることができました。蓄積額が上限に達するとアラームを鳴らします。一度に1グループずつ順番に日陰に入ってもらいます。彼の唯一の脚には、カーチンが作る支持台がなければなりません。カートが落ちるまで急いで一緒にジャンプする必要はありません。

嵐の後、シェードカバーは再び修理が必要になりました。今度は和郎は逃げなかった。彼は希望の色を教えてくれて、さらに自信を持って座って待っていました。いつも乱暴に遊んでいた子どもたちが、思い思いに布を切るのを手伝いに来てくれました。思いやりは、有益な仕事を終えた後の報酬ではありません。しかし、それは彼が外に出て自分の人生を生き続けることを可能にするものです。

彼はエネルギーミスト警報および保護ユニットの一員に加わりました。小型ワゴンで長距離移動も可能。メンバーは処理する前に尋ねる必要があり、時間を告げずに誰かに代わって監視させてはなりません。和郎さんも雨をしのぐのを手伝うのが好きだ。しかし彼は、急いで謝ることなく、自分の体には休憩が必要だと言えるようになり始めた。

帰る前に店主が名札を作ってくれました。和郎だけ書いてほしいとのこと。ストアのプロパティという単語を含める必要はありません。オールド・アンブレラは慎重にカウンターから飛び降り、振り返ってドアの方を見た。彼には戻ってきてそれを修正する場所がある。販売価格とは関係なく名前が付けられています。そして、雨の日に誰よりも自分を優先するかを選ぶ権利があります。

ARUN RPG ・ 54 / 60



アセム

アセム ・ AR-054

役割: 最終差出人

故郷: 太陽亡き者の寮

武器: 二股の笏と命の指輪

能力: 身体にまだつながっている生命の痕跡と、過ぎ去った反射を区別します。

制約: 故人を返すことはできませんし、所有者に代わって命の価値を判断することもできません。

加入年: 20

生者とともに生きる道を見守る人。

アセムは亡き太陽の寮の世話をする。彼の仕事は、名前と物語を添えて遺体を家族の元に戻すことだ。彼はハイエナの頭と、生命の痕跡と反射を区別できる感覚を持っています。人々はよく、誰をまだ助けるべきか、誰を解放すべきか、そして誰が残りのリソースを使用するのに十分な価値があるのかについて、彼に判断を求めます。

アセムは、知識のある人の義務は、しっかりとした答えを与えることだと信じていました。彼は負傷者 1 人が助かる可能性は低いと判断し、補助装置を他の人に移すことを推奨しました。家族は未来が見えたと思って同意した。消え去る痕跡しか見えなかったにもかかわらず、その男は死んだ、アセムには別の方法が役立つかどうか分からなかった。しかし彼は、自分が権力の言うことを超えて話していることを知っていました。

彼は制限を明らかにし、緊急査定業務を一時停止した。亡くなった人の整理期間 彼は、その男性が子供に宛てて書いた手紙を見つけた。菜園の話です。それは大した発言ではありません。アセムは、生命の価値はエネルギーの痕跡から何が見えるかによって決まるわけではないことを理解しています。そして、王笏保持者には、家族の選択を強制するために誤った確信を利用する権利はありません。

代わりに、彼は医師と一緒に訓練を受けました。症状の報告方法を学ぶ 指示から情報を抽出し、不確実な点をわかりやすい言葉で説明する。彼のライフ ループは、自分のライフ マークが体にどのくらいつながつているかを追跡するのに役立ちました。しかし、それは死者を返すものではなく、誰が他の誰よりも生きるに値するかを測るものでもありません。

20年には、事故被害者を寮に搬送する車両の数が警察官の数を上回った。アセムは、死亡したと記録されていた遺体から生命の痕跡を検出する。彼は書類の完成を待たずにすぐに治療チームに電話した。そして、残高を閉じることを急ぐあまり、多くの人が十分な検査を受けられなかったことが判明した。

お手伝いをしていると、幹部からより上位の者に支援装備を送るよう命令が入る。アセムは二股メイスで装備輸送車を阻止し、真の評価を求める。彼は誰が救われるべきかを正確に宣言しなかった。ただし、ステータスではなく、ニーズと情報に基づいて機会を提供するプロセスを擁護してください。

状況が落ち着くまで、マリンとセーラが助けに来てくれました。生き残った者も去った者もいる。アセムは全員の名前を記録します。家族に状況を確認してください。また、システムがどのように間違いを犯したかについての疑問を隠すために、成功した支援を利用しないでください。彼は、重要な検査室と業績数値の責任者を分離することを提案した。レポートの提出を急がないためにも、人生の決断を急ぐきっかけになります。

彼は行方不明者搜索および緊急トリアージ部門のアルン連合に参加しました。常にヒーラーと協力してください。Netdao はその反省に耳を傾ける 彼に関して言えば、彼はまだそこに残っている生命の痕跡を調べた。どちらも、親族の希望が彼らにはない答えを売りつける手段として利用されないよう、境界線を設定している。

出発する前に、アセムは古いケースに入った男の庭から種子を取り出し、家族に返します。男性の息子は彼に畝を植えるのを手伝ってほしいと頼んだ。彼は死者への償いについて何も語らずにそれを行った。終わったら、生きている人の隣に座って休んでください。庭をどのように成長させたいかを聞いてください。したがって、道路監視員の義務は、人生の終わりにのみあるわけではありません。しかし、それには、残った人々が前進する道を見つけるのを助けることも含まれます。

ARUN RPG・55 / 60



ハレン

ハレン・AR-055

役割: 空の守護者

故郷: スカイオアシス展望台

武器: スカイセプターとプロテクションループ

能力: 遠くの動きを監視し、光のカーテンを広げて上からの攻撃を防ぎます。

制約: 厚い雲や遮蔽物が視界を遮ります。地上からの情報に頼る必要がある

加入年: 20

地面に降りる目

ハレンはオアシスの天空観測所の守護者です。彼の鋭い目により、彼は誰よりも何時間も早くワゴン列車の動きを観察することができました。彼は時間内に警告できたことを誇りに思っていた。すべての道路が整然としているように見える高い場所から街を眺めるのが好きです。全体像を乱す議論や疲労はありませんでした。

ある時、彼は夜に長い武器のような物体を持って門に向かう行列を見た。そこで彼は検問所を閉鎖し、警告射撃を行うよう命令した。護送隊はテントのポールを運ぶ番人だった。隔離中に治療を受ける機会を失った患者もいる。ハレンは遠くからその姿を見た。しかし、現場で誰にも聞いたことがないので、自分が見たものの意味がわかりませんでした。

彼はルートを確認するよう求めましたが、塔からの標識が厚い埃で判読できないことがわかり

ました。いくつかの村には対応設備がまったくありませんでした。彼が本当に非協力的な人と呼ぶのは、声を上げることができない人のことだ。ハレンは行列とともに歩き始めた。砂に沈む車輪や、太陽の下で待っている病気の人たちの問題に耳を傾けてください。実際のユーザーと一緒に新しい信号を設計する前に

監督者はそれを時間の無駄だと考えた。塔の方が旗手より優れた技術を持っているからです。Haren はエラー データを収集して表示します。あなた自身のレポートも含めて 彼は、特殊能力が地上職員をシステムから削除する理由になることを許可しませんでした。さらに多くの情報が入手可能になったときに結論を修正できるようにアシスタントを訓練します。

20 年目、装備を積んだキャラバンが市内を通過する際、砂嵐が空を覆いました。ハレンはターゲットを見失い、以前の計画によって攻撃を迫られました。彼は推測を撃ったことを否定した。アサラの部隊と、嵐の中で実際にどのルートが使用されるかを知っているワゴンの運転手と一緒に仕事に行きます。

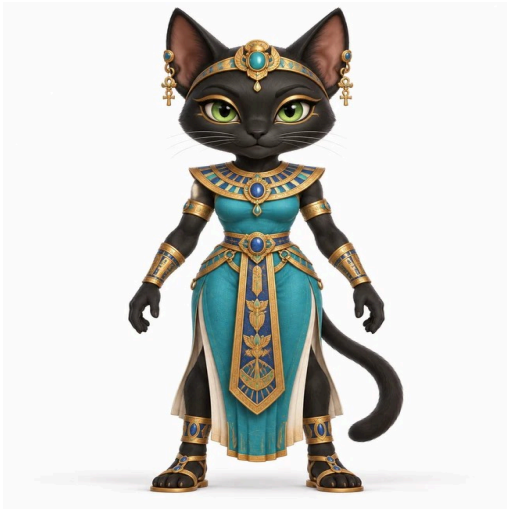
カタパルトが崖で見つかったとき、彼はスカイスタッフで光のカーテンを広げ、移民の列を守りました。しかし、人々がどこにいるかを知るには地上から信号を受信する必要があります。バセラは、旗がどこにも見当たらないときに声のタイミングを利用してニュースを送ります。彼の防御力は、目に見えない人々にも届くことができました。

嵐の後、ハレンは塔に戻り、上から命令するだけのシステムを切断する。彼は地上局が情報を送信して確認できるようにチャンネルを開設しました。高さも便利です。しかし、それは常に真実に近い立場として理解されるべきではありません。

彼は偵察と上空からの攻撃に対する防御のためにアルン同盟に参加します。不明確な目標に対して武器を使用する前に、少なくとも 2 つの確認信号があります。Asem は、ルートを開くときに尋ねるべき情報を患者に教えるのに役立ちます。ハレンさんは、遠くを見ることができれば、より早く救助の準備ができるはずだと学びました。遠くから人を判断するのが早いわけではありません。

出発前に彼が拘束していた護送隊の治療者が修理された旗を持ってきてくれた。ハレンがそれを地上から開けると、細い線がほとんど見えないほど美しいことがわかりました。彼は旗の所有者と一緒に、はっきりと読めるようになるまで修正しました。そしてまた飛び立ちます今度は私が空を見上げるたびに、下の人々は何が起きているのかを彼に伝える方法を持っていました。

ARUN RPG ・ 56 / 60



バセラ

バセラ ・ AR-056

役割: 街のノイズキーパー

故郷: スリヤン音楽技術者エリア

武器: シストラムとライオンシールド

能力: 音のリズムを利用して保護バールを調和させます。

制約: 力は自発的なリズムカルな参加から生まれます。誰かに冷静になることを強制することはできません。

加入年: 20

人々を呼び戻す鐘。

バセラはスリヤン音楽業界で育ちました。彼女は猫のような顔と耳の回転の良さを持っており、街が支離滅裂な音で満たされるまで、人々が各パートを練習するのを横になって聞くのが好きです。母は、近所が存続できるかどうかは、全員が1つの曲を演奏するかどうかに依存しないことを私に教えてくれました。しかし、ここで重要なのは、他の人に良い印象を与えるために、誰も常に静かである必要はないということです。

シティバンドBaseruの指揮者になったとき、彼は完璧な演奏を作りたいと考えていました。彼女は遅い選手を切り捨て始めた。適合しない機械の音を軽減します。そして、システムの力を利用して、全員が従うリズムを押し上げます。ステージ上の映像がさらに美しくなりました。しかし、イベント後、地域の人々は練習や遊びに来なくなった。かつて愛した声は、明確な指

示もなくゆっくりと消えていった。

ある若いドラマーは、無理にリズムを刻んで手が痛くなったので、もう演奏したくないと語った。バセラ氏は当初、グループのために我慢しなければならないと答えた。他の人が音を出すことを禁じたときと同じように、子供の耳が垂れ下がるのを目の前で見ました。彼女は古いリハーサル録音を聴き始めたところ、その曲にはさらに不具合があることに気づきました。しかし、人々はもっと笑います。

彼女は、去った人々が戻ってきて発言できるようにして、サークルの会合を開きました。バセラさんは、品質のためにやったことだと言い訳せずに謝罪した。全員が練習セッション、音量レベル、休憩の合図方法の決定に参加します。参加者が選択を行うにつれて、彼女の保護カーテンの力はさらに強くなりました。完璧を構成する要素として押し付けられることはありません。

20年目、オアシスの噴火により人々はパニックに陥りました。幹部はバセラに魔法で群衆を落ち着かせるよう頼む。彼女は自分の気持ちを強制することはできないと言いました。そして恐怖には解決しなければならない理由があるのです。彼女は短い声で指示をはっきりと繰り返しました。子供や耳の聞こえない人を連れて行く人を手配してください。音の代わりに旗や触覚信号に基づいて選択する準備ができています。

ハレンは上空に光のカーテンを広げた。バセラはリズムを調整して、シールドの多くの点に継続的な力を加えます。彼女は間違ったタイミングで誰かが泣いているのを聞いたが、それを隠そうとしなかった。安全に移動していても、人々は恐怖を感じることがあります。システムが破損した場合 バンドを脱退したドラマーは、水をバケツに入れてリズムを続けました。彼女の道具が壊れたからといってシステムが止まったわけではない。

人口流出の後、音楽地区は多くの店舗を失いました。バセラさんはすぐには祝賀公演を行わなかった。ただし、誰が食べ物、道具、静かな時間を必要としているかを調査するのは協力してください。コミュニティの準備ができたら、募金活動に参加する輪を徐々に広げていきます。影響を受ける人は、語る物語を選ぶ人です。

彼女は警備カーテンと警報システムのコーディネーターとしてドーン・アライアンスに参加しています。Rinpaksa は、さまざまな形式で信号を作成するのに役立ちます。二人とも、音楽が時には癒しになることを知っています。しかし、それは演奏者の時間に合わせて遺族を気分よくさせなさいという命令ではありません。バセラの獅子の形をした盾は、叫ぶ者も沈黙を守る者も守る。

出発前に彼女はベッドに戻り、再び近所で練習する音を聞きました。今回は、間違った役割を果たした新しいデバイスがありました。バセラさんは笑顔で、選手たちが友達と笑い合うまで待った。彼女のシストルムベルの音は人々を結びつけることができます。彼らが自分の声を届ける権利がある限り。そして、音楽妨害者とみなされることなく、必要に応じて立ち去り、休憩を取ることができます。

ARUN RPG ・ 57 / 60



セヘラ

セヘラ ・ AR-057

役割: ソーラーサポーター

故郷: 砂漠の療養所

武器: セプターとライフリング

能力: 熱をコントロールして殺菌・保護し、汚染物質を遮断します。

制約: ある人を救う熱が別の人を火傷させる可能性があります。数値化して、自分自身を制限する必要があります。

加入年: 20

自らの光を暗くしようとする火。

セーラは人々を熱烈に扱います。彼女のライオンの頭と太陽色の毛皮は、彼女を朝をもたらす者と呼ぶほどです。彼女は消毒用の杖を使った。汚染された電力を遮断し、夜の砂漠の冷えた体を温めます。数々の成功を経験した彼女は、もう少し努力すれば、もう少し役に立つのではないかと考えるようになりました。

流行中、彼女はすべての汚染物質を除去したいため、衰弱した患者に高熱を与えました。感染症は改善しましたが、皮膚は重傷を負っていました。Sehraは休むことなく働き続けることで副作用を軽減します。そして、疲れていればいるほど、間違った量を測定してしまいます。助手は一時的に筋を保持しなければなりません。彼女は自分の手から被害記録を見る前に怒っていた。

セヘラが出てきて、治療室の外に座った。患者は別の医師を求めているのが聞こえた。その痛みにより、彼女はすぐに自分自身を証明したいと思うようになりました。しかし、助手は、医師が自信を取り戻すために負傷者を踏み台にする必要はないと言い、立ち止まって各人の体の限界を研究した。他の人が戻る準備ができているかどうかを判断できるようにします

私が仕事に戻ると、彼女は自分の力とともにメジャーを使います。処置中に症状について尋ね、患者が処置を中止できるようにします。セヘラは見逃さないとは約束しません。ただし、何を検査できるか、副作用が発生した場合の計画については伝えてください。ゆっくりと信頼が戻ってきます。それでも他の医師を選ぶ人もいます。彼女は、それが失礼だと考えられることなく、それを伝えるのに協力してくれました。

20年目、インプリント装置が爆発し、エネルギーに汚染された多くの人々が診療所に入りました。セヘラは汚染された部分を素早く燃やす方法を持っています。しかし、それは誰にとってもうまくいくわけではありません。アセムは生命の痕跡を調べるのに協力します。MalinTissue CareとEirinは放出される熱を管理します。チームはすべての症状をカバーするために優秀な人材の力を利用するのではなく、治療方法を分割しました。

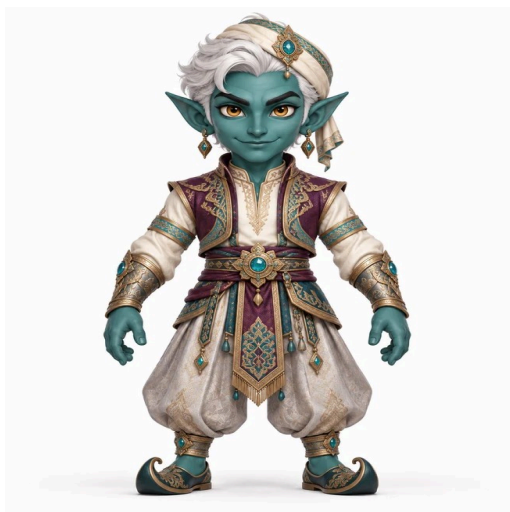
イベント中、薬品倉庫から火災が延焼した。セーラはすべての熱を受け止めたいと思っています。しかし、体はもう限界に達しています。彼女は撤退を命令し、地上で支援していたイズラックに引き継ぎを依頼した。たとえ彼らが大切にしている場所の一部が損傷することを許容しなければならないとしても。誰も名声の燃料に身を焦がすことなく、テントの中で人々を助ける活動が続けられています。

彼女によって負傷した元患者たちが列の整理を手伝うためにやって来た。彼はまだ傷が残っており、それを報告書に含めてほしいと述べた。セーラさんは即座に反応した。クリニックが多くの人を助けた日のことを話したいわけではありません。治療後のフォロー体制も整えた。患者さんが部屋を出たときに、患者さんの話が消えてしまわないように。

彼女は野戦衛生兵としてアルン同盟に参加し、汚染された電力を制御します。チームのブレークを本気で確認した。破滅するまで働いたヒーラーを称賛した結果を彼は見ていたからだ。彼女のライフサイクルは、追跡と同期のデバイスです。所有者の言うことを聞かずに人の命を握る権利があるということではありません。

出発する前に、助手は修理した笥を返しました。セーラはそれを前よりも柔らかく抱きしめた。ワンドの先端の熱炎は小さくなりましたが、一定でした。彼女は暗い夜を乗り越えるためには朝が一番明るくなければならないと考えていました。人々の目をそらさせてしまう光よりも、人々の目を常に開いておく光の方が重要であることを知ってください。そして彼女は、自分が世話をするすべての人生でそのレベルを新たに学ぶ準備ができています。

ARUN RPG・58 / 60



ザヒル・アルワル

ザヒル・アルワル・AR-058

役割: 束縛されない

故郷: オアシス契約市場

武器: 煙の輪郭と光の筋

能力: 形を変えて強さを織り込んで一時的なサポートを作ります。

制約: 命を創造したり、無限の祝福を与えたりすることはできません。彼が受け入れた約束には真の力があった。

加入年: 20

売り買いできない息

オアシスエリアの煙の力からザヒルが生まれる。正確な初日を知る人は誰もいません。しかし、彼を監禁した船の所有者は自分が所有者であると主張した。彼は形を変え、力をサポートに織り込むことができます。その後、人々はあらゆる種類の祝福を与えることができると言い続けました。不可能が達成されなかったとき、彼は不服従の罪で告発された。代わりに、人は彼についての自分の信念を喜んで検討します。

契約市場での長年の経験により、ザヒルは言葉を聞く専門家になりました。彼は少し自由を残すために隙間を見つけました。そして、依頼者が所有者に腹を立ててトラブルに巻き込まれるまで、依頼がねじ曲げられることもあります。彼らの痛みは、その背後にあるシステムを知らないかもしれない人々を傷つける言い訳になります。

いじくり屋の少年は、ランプだと思って市場から容器を購入しました。ザヒルが彼女に会ったとき、彼女は死んだ母親を生き返らせてほしいと頼んだ。彼はそれはできないと率直に言い、代わりに偽の画像を作成しました。子供は申し訳ありませんが、罰しません。その後、私は彼に何を手伝ってほしいかを尋ねました。ザヒルは長い間沈黙していた。なぜなら、彼は自分が抱えている質問に対する答えを一度も用意したことがないからです。

彼は所有者という言葉の使用をやめるよう求めた。子供は契約書を読むために彼を趙文のところに連れて行きました。拘束力のある言葉の多くは合意に基づくものではないことが判明しました。しかし、その一部はザヒル自身が絶望の時に約束した言葉から来ている。したがって、それぞれの条件に応じてリリースを分ける必要があります。容器を壊すようなことはなく、すべてが美しく終わります。

20年目、商人は借金を理由に彼を差し押さえた。子供はザヒルの自由を提示されたお金と交換することを拒否した。彼には煙の穴から逃げるチャンスがあった。しかし、戻ってきて、ニラックとの計画で同じ市場に捕らえられた人々を助けることを選択しました。彼らの願いがすべて叶うとは宣言していません。

ザヒルは通路を一時的に破壊するエネルギーのビームを織ります。約束されたすべての言葉は、距離と重みを明確に定義します。光線が尽きそうになったとき、彼は代わりに最初にそれを言い、魔術師のイメージを保とうと努めた。子どもたちは人々に列に並ぶのをやめるよう呼びかけるのを手伝います。カチン氏が実際に道路を建設している間、彼が引き継いだ。彼の能力は無限ではありませんが、貴重なものでした。

契約を開始することで多くの命が救われました。ザヒルは自分の要求をねじ曲げたことについて証言し、できる限りの金額を支払った。彼はトレーダーたちがそれらの間違いを自分の所有物に戻る理由として利用することを許さなかった。責任と自由は共存しなければなりません。そうでないと、虐げられた者は一生犯罪を繰り返すしかなくなる。

彼は一時的なサポートビルダーとしてアルン連合に参加し、査察官を約束します。私はあらゆる計画について、それが実際に達成可能か、それとも単に印象的に聞こえるかどうかを尋ねるのが好きです。オリジナルの容器は、彼がエネルギーを休めるために使用するために選んだアイテムになりました。内側から開けることができ、所有者として他人の名前は刻まれていませんでした。

帰る前に、修理少年はまた遊びに来ないかと尋ねました。ザヒルは永遠に、あるいは電話をかけても毎回応答しなかった。彼は旅程表を開いて、帰国の予定時刻を告げた。変化があればニュースを送る約束で。子供は満足そうにうなずいた。彼は最近、画一的な約束が双方に利益をもたらすよりもさらに強力であることを学びました。そして、命の息吹は、誰もが購入する権利を持っている商品であってはなりません。

ARUN RPG ・ 59 / 60



イズラック

イズラック ・ AR-059

役割: 手のひらに火を持つ者

故郷: 放棄されたストーブの煙突

武器: 火拳と耐熱ボディ

能力: 狭い範囲の熱をコントロールし、燃え広がる炎を吸収します。

制約: 限界を超える力を受けると手を制御できなくなります。安全なコンセン트가なければなりません。

加入年: 20

コップ一杯の水を入れることができる炎

イズラックは、地表の下で火が燃え盛る放棄された炉のシャフトで目覚めます。彼は自分が何のために作られたのか知りません。最初に発見された人物は金属の残骸を焼却するよう命じた。次の人はドアを焼き払うためにお金を提供しました。そして彼が水を求めて家に近づくと、誰もが撤退するように叫びました。彼は自分の体が誰かと一緒に暮らすよりも破壊に適していることを理解していました。

彼は、オーナーが放棄されたと主張するコミュニティを焼き払うよう命じるまで、火を使って破壊する仕事を引き受けた。イズラックは屋根裏部屋で熱を発しているおもちゃを見つけます。彼はそれを止めましたが、消えた炎は家に損害を与えました。家の中にいた人々は時間通りに逃げ出し、彼をまるで話す自然災害のように見ました。罪悪感から彼はストーブの煙突に

戻り、数日間出てこなくなりました。

ホットカップメーカーがストーブの制御を手伝ってほしいとやって来ました。イズラックは、彼の手は小さなものを簡単に破壊すると警告します。次に、技術者は容器内の水を沸騰させずに加熱することから始めました。単純な作業は壁を壊すより難しい。彼は熱レベルを認識する必要があります。火と火だけではありません。

彼は水を入れたコップを端が折れずに持てるようになるまで練習した。技術者は、昔の間違いがなくなったとは言いませんでした。でも被害者に会いに連れて行ってください。イズラックさんは雇用主の名前を明かし、家族が納得する方法で修理作業を行う。時々彼の仕事は、他の技術者が作業できるようにストーブの脇に立って作業することでした。被害者たちはまだ家の近くで火を見る準備ができていなかったからだ。

20年、医療施設近くの医薬品倉庫から火災。セーラが力を発揮したとき、イズラックが到着する。彼は火を吸収することができます。でも、あまりにも多くのことを引き受けすぎると、自分の手をコントロールできなくなることはわかっています。アクラフロエンは排水コンテナの構築を支援しています。映倫はヒートラインを整え、チームと一緒に評価した部分のみを受け入れる。

部屋に閉じ込められた人々の叫び声を聞いて、彼はすべてを受け入れなければならなくなりました。イズラックさんは床に置かれた患者のカップを見る前に手を挙げた。彼は、小さなものを守るためには力を制御しなければならないという教訓を考えました。そこで彼は、セルバラが入るのに十分なだけ冷蔵庫を開けました。自分の火を使って他の人の仕事を置き換え、危険を増大させないでください。

イベントの後、彼は腕に熱いひびが入ってしまい、本当に休む必要がありました。褒められないと限界は消えてしまいます。家を失った家族は耐熱カップで食料を届けた。彼はそれを丁寧に、そしてありがたく受け取りました。これからは過去を忘れなければならないというわけではありません。

イズラックはアルン同盟に加わり、キャンプの防火と暖房を担当する。燃え上がるまですべてをパンチするのではなく、拳を使って瓦礫をそらす練習をしてください。彼とセーラはお互いの熱量を確認し合った。相手が満足していない場合でも、一時停止を命令する権利があります。なぜなら、信頼とは、愛する人があなたを決して寂しくないと感じているわけではないからです。

出発する前に、カップメーカーは彼に、水で温めることに成功した最初のカップを彼にプレゼントしました。イズラックは裏地付きのバッグを手元に置いた。彼の体にはまだ火が残っていた。そして、依然として距離を置く必要がある人もいます。しかし、彼にはドアバーナー以外に別の自分自身のイメージがありました。誰の唇も傷つけずに、冷たい人にお湯の入ったカップを運ぶことができる人。それを毎日しっかりとできるように訓練したいと思っていました。

ARUN RPG ・ 60 / 60



ヴァリンカおばあちゃん

ヴァリンカおばあちゃん ・ AR-060

役割: 失われた人々のために自分の家を開く人

故郷: 森は影を地図から移動させます。

武器: 空飛ぶ迫撃砲、木杵、ほうき

能力: 蓄積された知識から古根と薬調合の近道を知る。

制約: 近道には季節がある 薬ですべての病気が治るわけではなく、すべては実際の労働で支払わなければなりません。

加入年: 20

子どもの出身地を問わない家。

ヴァリンカおばあちゃんは、いつから子供たちを脅迫する話を聞かされるようになったのか覚えていない。彼女の家は、季節とともに古い根をたどっていきます。空飛ぶ迫撃砲は物を運ぶのに役立ち、木のすりこぎは薬を叩き、ほうきは捕食者に辿ってほしくない足跡を消します。人々が見慣れない家と強面の老婆しか見ていなかった頃。次に残りを簡単に語れるストーリーに追加します。

彼女はとても怒っていたので、噂に沿うように故意に行動したのです。助けを求めている人に難しい質問をしてください。高賃金を要求し、不正解の者は追放する ある夜、労働行進から逃げてきた二人の子供が到着する。おばあちゃんはいつものようになぞなぞをしました。末っ子は空腹で震えていたので答えることができませんでした。そして長男は、残りの人生を弟のた

めに働くとし申し出ました。

その答えでおばあちゃんは、家のドアが子供が逃げたドアと似ていることに気づきました。彼女は他のことを尋ねる前にご飯を炊きました。二人とも寝かせてください。次に、留まって助けることは自分の命を誰にも捧げるものではないことを説明します。おばあちゃんは今でも物や薬に対して賃金を請求します。なぜなら、何事にもリソースが必要だからです。ただし、緊急ニーズと商業ニーズを明確に区別します。

シャドーハウスは徐々に失われた人々のための避難所になっていきました。おばあちゃんは甘い話者になったわけではありません。彼女はまた、洗っていないカップや汚れた靴についても不満を述べた。ただし、訪問者が何を望んでいるのか、名前を尋ねることから始めましょう。代わりに、なぞなぞを使って、どの人が助けに値するかを判断してください。

彼女の医学に関する知識は広範でしたが、限定的でした。薬が子供の症状を改善しなかった時期がありました。おばあちゃんは、評判を失うことを恐れたため、実験を続行する代わりにクリニックを紹介することに同意しました。子どもたちは他人の好む方法から消えてしまいます。彼女は選択した間違った薬の名前を消すことなく、結果を教科書に記録しました。何百年にもわたる知識は、現代から学ぶ意欲がある場合にのみ役に立ちます。

20年目、根が変化する過程で逃亡狩猟者が森に侵入した。家はあらゆる空間を自由に移動できるわけではありません。おばあちゃんは部屋を珍しいハーブでいっぱいにしておくかどうか選択しなければなりませんでした。彼女は必要な物資を迫撃砲に積み込み、旅行者に保管室を開放した。ルートが渋滞する可能性があるため、全員が自分の能力に応じて協力する必要があると言う準備ができています。

コハリが変化する光を導くアンファラルルートチェック、そして重量が増えるとカチンがフォークを補強する。ヴァリンカおばあちゃんは森のことをよく知っているとは主張しないので、誰の意見も聞く必要がありません。家の中にいた人々が交代で梁につかまりながら、家はゆっくりと飛び地から遠ざかっていった。彼らが生き残ったのは、かつて一人の人間の秘密が保管されていた空間が、多くの命の知識に開かれたからです。

おばあちゃんは移動シェルターと医薬品倉庫の管理人としてアルン同盟に参加します。定員を超えた場合は受け入れを中止し、代替りの宿泊施設を手配する。1つの目標で全世界をカバーできるというイメージを売らないでください。彼女は全員がチェックできるように労働力と物資の目録を作成しました。以前到着した2人の子供たちについては、人生の負債を負うことなく、地域の学校に戻ることを選択しました。

パートナーとの旅行の前夜。おばあちゃんは家の前に長いテーブルを置きました。メンバーは交代で自分の地域から食べ物を持ってきます。人によっては大きなボウルを使用する必要があります。距離を置く必要がある人もいます。掲示板を通じて発言する人もいます。彼女はスペースが空くまで移動するようみんなに文句を言いながら歩き回った。それから彼は最後のボウルを自分のために置きました。子供が家に入るために何と答えなければならないかを尋ねた

とき。おばあちゃんは杵を地面に軽く叩きました。「教えてください、今夜は食べましたか？」一度は人々から遠ざかっていた家が、彼らに向かって歩き始めました。そしてそのテーブルは、シックスティ ファイターズが保存したいと考えた最初の世界のイメージとなりました。

エピローグー スペースのあるテーブル

ヴァリンカおばあちゃんは、そんな長いテーブルはドアに入らないよと言いました。みんな食べ物を外に持ち出して外で食べていました。

集まった60人の戦闘員を悩ませる小さな問題は、梁、傘、床の高さ、ボウルスタンドをめぐる議論から始まった。私は床に座っていました。Orkan はサウンドチェーンから離れた領域を選択します。みゆらは負傷者に冷気を通さない角度を持っている。ヴェリスカさんは、首が絡まらないように9つのカップをどのように配置するかについて時間をかけて合意した。

ネラムが発表で使用している軍隊のようなイメージはありません。みんな疲れているようだ。今も傷を負っている人がたくさんいます。過去に戻って過去のことを埋め合わせて、それに追いついたばかりの人もいます。テーブルの上にはお粥があります。小さなオープンで焼いたスナック、海で獲れた食べ物、そしてイズラクが燃えるような手よりも慎重に運んでいたカップは、威圧的に見えただろう。

エイヴァーンのカラスが到着したとき、アランはベンチを持ち上げるのを手伝っていました。彼は無造作にボウルの端にしがみつки、マウスピースを落とします。Netdao は、Yanzhen に転送する前に、それを開いて読みました。中には、中央のスタンプ機に7日以内に正門の溶接を開始するという命令のコピーが入っていた。

発表の文言は恐ろしいほど丁寧だった。中央登録を行っている人は保護を受けられます。確認を待っている人は、システムの確認が完了するまで移動を中止しなければなりません。検査終了日は未定。また、閉鎖される門の向こう側にいる人々に食料を届ける予定はない。

「コアを壊したら扉は開くのか？」ロスガーは尋ねた。

カチンはプレートの上にフォームを広げます。「いくつかのドアは開いているかもしれない。私たちが人々を助けている道路でいくつかの門が崩壊するかもしれない」と彼は答えた。「このマシンは、登録システムへの実際のネットワークを保持しています。これをできるだけ早く破壊することは、ほとんどの人を助けることにはなりません。」

サシンは設計上の路線コードを見ました。それは弟を捜した夜に残された文書と同じ暗号だった。彼が立ち止まる前に手を差し伸べたのは、誰もが見たとおり、彼は希望を隠す必要がなかったということだった。ただし、テーブル全体の決定をそれに任せる必要はありません。

「これはシンと関係があるかもしれない」と彼は言った。「まだ確認できていないので、メイランを選んだ理由とは別に書いてください。」

Netdaoはそれに応じて書いた。簡単な一言で食事が静かになります。地図上では各人物の名前が隠されています。返してほしい家がある。会いたい悪人がいる。そして、待望の答えがあります。これらのことを明らかにするので、彼らは共同戦線になることができます。それは、

持っていないふりをしているからではありません。

ヴァジュラウェージは目的地地域の人々について尋ねました。タラケスさんは水を切るよう求めた。ワチラメクとロンシュアンは勢いを増し続ける傾向を示し始めた。ハレンは防御線を引く前に地上から情報を求めます。セフラは医療ステーションを設立します。一方、マリンは各ポイントが実際に対応できる人の数を指定します。「必要」という言葉が、自分の資力を超えて自分の人生を生きる許可証になることを誰も許しません。

Asara はその任務を 3 つの部分に分け、避難ルートの開設、重要なネットワークの維持を行います。そして不当な状況を阻止するためにコントロールセンターに証拠を持ち込んでください。トップチームは人々に退団を選択させることができなければなりません。2番目のチームは、家を出ることが死んで家を出ることではないようにします。最後のチームは戻ってきて報告しなければなりません。たとえ欲しい答えが見つからなかったとしても。

「準備ができていない人は役割を変えることができます」と彼女は言いました。

誰も笑わない、臨沂は技術者部隊に信号を送信することを選択した。カーヴァルはステーションに入る前に警告音をテストする必要があります。オルカン退路のない密集した鎖場には入らなかった。ジンスはボードの破損を指摘し、ヴァリンカおばあちゃんは物資の重さを見て家に泊まる人数を減らす。あらゆる制約が計画をより明確にします。それは誰も小さくするものではありません。

一方、ラリンは地図の下にかすかな光を見つけました。インクからは出ません。しかし、延真さんは置かれていたニュースシリンダーから、中に隠されていた古い通信シールを発見した。エイヴァーンはそれが物質を追っていることに気づいていなかった。相手側の誰かがテーブルに音声を送信できます。

ネーラムは音のみで登場。空の上に大きな絵はありません。脅迫的なアナウンスはありませんでした。十分な睡眠が取れていない労働者の声で、彼はアランを求めた。

「もっと人がいるのはわかっているよ」と彼は言った。「名前を送ってください。私は60人全員に地位を保証します。王子の管理下にあるコミュニティには物資が届きます。私たちが残りの世話をします。」

その提案は攻撃命令よりもずっと静かなものだった。すぐに知っている人を助けます。そして、テーブルの誰も、何も考えずに拒否するほど疲れていました。アランは冷たい空気はまだ痛む手を見つめた。彼は、ドアを支えなくて済む日を望んでおり、店に戻って時計を直し、他の人が世界を正しくしてくれると信じたいと考えています。

「残りの人には名前があるの？」彼は尋ねた。

向こうは一瞬沈黙した。「ランク付けしないと全員を治すことはできない。」

「それはできません」とアランは答えた。彼はマリンを見つめたが、彼は決して自分の手段を

超えて行動することを約束しなかった。「しかし、この順序では、誰が最初に助けを必要としているのかを示す必要があります。これは、誰にも二度と助けを受ける権利がないということではありません。」

ネラムはため息をついた。かつては不確実性が妻を奪っていたと彼は言う。一方で、この情報についてまだ議論している人もいます。彼は、一つのシステムではあの夜の繰り返しは許されないと信じていた。アランは自分の痛みが些細なことだとは言わなかった。そしてそれが全世界の同意に代わることを許可しません。

「証拠を出してください。名前を切り取られた人に代わりの人を部屋に入れてください。機械を検査して停止する権利を持ってください。本当に命を救いたいのであれば、このような状況は敵であってはなりません。」とYanzhen氏は言った。

ネラム氏はその申し出に応じなかった。彼は、考えを変えるにはまだ7日は十分だとだけ言い、そして明かりが消えた。

誰も勝利を宣言する歓声を上げなかった。彼らは国民にとってより簡単な方法を否定しただけです。アランは冷たい食べ物の前に座った。サシンの手はまだ兄の路線コードの上にあった。マリンは、計画を続行する前に食事をするようにみんなに頼みます。たとえ心には善意があっても、空腹の体は誤った判断をしてしまう可能性があるからです。

和郎は飛び降りて傘を開いて、生存者の本にかかった雨粒を受け止めた。Netdao 次のページを開きます。ミッション参加者のリストを書き込みます。ページの最後の行に到達したら停止します。

「新しいページを始めなければなりません」と彼女は言いました。

ヴァリンカおばあちゃんは別のカップを手に取り、テーブルの端に置きました。「わかった、まだ人が来てるよ。」

遠くで、難民護送船団の鐘の音が古い根道に沿って鳴り響く。ワリンは立ち上がってヒランがランタンを上げるのを聞き、ヴァジュラウェイは道を空けに行きました。世界の大物がまだテーブルの上にあったにもかかわらず。その夜の連合軍の最初の任務は、到着した人々が何を望んでいるのかを確認することであった。

アランは新しいページを見た。預言などありませんでした。選ばれた人を待つ窓口はありませんでした。さらに名前を書き込むのに十分なスペースしかありません。

夜明けはまだ来ていません。しかし、最初の光が来ると、60人以上の人が集まって待っているのが見えました。

さらなる開発のためのストーリーコア

このシリーズの主な質問は、システムによって立場がないと判断された人々が、同じシステムを作らずにどうやって他の人を守ることができるかということです。あらゆる地域が本当の決断を下して連合を試す必要がある。常に正しい言葉だけですべてがうまくいくとは限りません。

アランは人々をつなぐ中心です。すべての面で最高というわけではない彼は、あまりにも負担が大きくなり、助けを求めなくなる傾向があります。長期的なポイントは、常に彼にサポートしてもらう必要のない組織を作る方法を学ぶことです。大きな勝利とは、他の誰かがリードを奪い、その人が取り残されたと感じることなく休んだ日であるべきだ。

Sasin は宝物を見つける物語です。証拠は徐々に増加し、計画に実際の影響を与える必要があります。決して、一度の不完全な反射で生死を確認してはなりません。将来の出会いによって、シンが選択したかもしれない、あるいは兄の目の前で通り過ぎたかもしれない人生を消してはなりません。

リニュー・ニラク・シラークラムと悪事を働いた登場人物には、責任を負うために継続的に戻ってくる義務があります。被害者に許しを強要するための近道として死を利用しないでください。長期修理をしながら生活し、喜んで検査を受けるという姿勢は、物語に十分な力を持っています。

ネラムは独断的な好戦的で、実際にシステムを通じて危害を加えます。この損失は彼を説明するものですが、責任を排除するものではありません。たった一度の戦いで彼が倒されて、すべてのルールが消えてしまうようなことがあってはなりません。大きなフィナーレは、人々が依存する権力を維持することでなければなりません。制限条件を撤廃し、検査権を地域社会に戻す用意がある。

長期的な危険には、漏電と環境原因という3つの層があります。利益のためにシステムを利用する人々からの暴力と、他者に代わって判断を下す可能性のある連合内の習慣。すべてのレイヤーは、設定と具体的な結果を通じて表示される必要があります。対立の代わりに講義を使用しないでください。

マシンセンター部門の勝利条件は、人々が安全にゲートを通過することです。このシステムには異議申し立てと修正があります。被害者には自分の将来に対する権利があります。そして悪者は答えなければなりません。勝利したからといって誰もが愛し合ったり、恐れがなくなるわけではありません。

今後の新キャラクターへの道はまだ開かれています。メンバーは、伝説をまったく持たずに作成されたコミュニティ、職業、文化、生き物から追加できます。新しいキャラクターにはそれぞれの個人的なニーズがあるはずです。チームにまだ欠けているスキル 実際の結果をもたらす制限と、オーナーと元のメンバーの両方を変える関係性

画面上で発展させるべき関係性

アラン — アサラ: 自分自身に責任を持ち、指揮系統を信じる人。力を共に分かち合うことを学ばなければなりません。紛争の場面は、さまざまな人々の助けから始める必要があります。単なるポジション争いではない。

Sasin — Netdao — Yanzhen: 希望、記憶、そして証拠。三者は探求者の苦痛を軽減することなくお互いを調べなければなりません。新しい手がかりがないシーンでも、待っている人たちへの配慮が示されていれば、意味を持つことができます。

リニュー — タラケス — パナライ — アンパラ: 水、森林、そしてそれらの破壊に関わった人々の責任についての物語。人々の人生、成長期、何世代にもわたる思い出など、時間の捉え方は人それぞれ異なります。したがって、あらゆる問題を「自然は常に良い」という言葉で解決すべきではありません。

マリリン — アセム — セフラ — セルバラ: 治癒チームには、必要に応じて戦闘計画を中止する権限があります。患者のランキングに関する意見の相違には、決定後の実際のデータと結果を含める必要があります。ヒーラーを単に主人公の体を修復して戦闘に復帰させるだけの人にするものではありません。

エイリン — ワチラメク — ロンシュアン — イズラク: 熱、雨、水、火の主催者。誰も一人でバランスを取ることはできません。大きな力の場面では、その出口ルートと最終的な受け手も見なければなりません。

Nirach — Kalinee — Zhaowen: 虐待者を止めることは、感情に基づいて誰かを罰することとは異なります。このチームは、証拠、緊急性、被害者の権利の間の境界線をテストします。一方を他方を支持して愚かにすることなく、子供たちに物事を違った見方をさせてください。

Hiran — Wenkai — Linyi: 基本的な敏捷性とユーモアのセンス。ヒランは痛みから逃れるためにジョークを使います。ウェンカイはジョークを使って権威に挑戦します。臨沂さんは人々に自分の考えに耳を傾けてほしいと考えています。楽しさは個性と状況から生まれるはずで、自分の体や信念をからかわないこと。

リンパクサー — リヤオ — バセラ: 音、イメージ、リズムには政治的な力があります。彼らは人々のコミュニケーションを助けるのか、それとも権力者のイメージを投影するのを選択しなければなりません。芸術は、敵をだまして戦闘シーンに誘導することだけに還元されるべきではありません。

カチン — ボラン — プーミン — アクロ: 素晴らしいスキル、民俗スキル。枠組みと力を正確に理解するため、建設と解体は一連の賭けとなります。戦後の修復作業は見て、費用を計算する必要があります。

Tharan — Rothgar — Hayaten: 3人全員が以前は価値と優位性を関連付けていました。身を委ね、休んで、生徒の言うことに耳を傾けるトレーニングは、あらゆる力の領域の規模を拡大する必要のない成長を生み出します。

ラリン — ジンス — セラシア — レン — ミュラ: さまざまな変換と制限。すべてをひとつの呪いにまとめたり、元の体に戻ることが幸せへの唯一の答えだと決めつけたりしないでください。各人は自分自身のケア戦略を選択する権利を持たなければなりません。

イム — オルカン — ベリスカ — ケルヴァル — コハリ: チームメイトのニーズ、食べ物、スペース、言語は異なります。コミュニケーションを不確実なものにして、本物の学習をしましょう。一人の人が常にすべての人生を代弁していると主張させてはいけません。

ヴァレッサ — ザヒル — ニラウェイ — カズロ: 権力、同意、そして有用性に結びついた価値のテーマ。安全な拒絶は人生を変える出来事であり、小さいながらも力強いシーンで語られます。

バジュラウェイ — スリヤパク — シェンロン — アッカニラ — ハレン: さまざまな地域の守護者は、人々を保護しているのか、それとも秩序を守っているのかを確認する必要があります。祖国への忠誠心と、祖国を傷つける権力に従わない勇気を組み合わせましょう。

ウェリン — カワリ — エイヴァーン — シラウェート — ヴァリンカおばあちゃん: 空腹、遊び、確実性、コントロール、そして古い知識はすべて、境界を知るときに役立ちます。このグループの登場人物は、善意によって行動の結果が取り消されるわけではないことを思い出させてくれます。そして、境界を受け入れたからといって、権力がその優雅さを失うわけではありません。

アニメ ガイド — 第 1 シーズン、12 話。

エピソード 1・止まった時計 — 若いアランの視界から夜空が消えた状態で始まります。18年目の門番にカット。少女が時計を置き、通行を求めたとき、それは終わりました。あらゆる秘密を明かすことなく、今日の選択が過去を反映していることを聴衆に見せましょう。

エピソード 2・門の向こう側の人々 — チェックポイントに向かうリンユー、ワリン、マリンを追ってください。それぞれの人々がリスクを冒す理由を見てみましょう。水位が異常になったら橋を閉鎖せよという命令で終わった。

エピソード 3・9 人が振り向く — サシンは何も知らない車を通り過ぎさせます。ニラークは詩の部屋に入る。アサラは命令を阻止することを決意する。救出のタイミングは、観客に全員のスペースと義務を理解させなければなりません。

エピソード 4・最後の鐘の前 — エイリンとタランはエネルギーのはけ口を組織します。Netdao は無理せずに反省を聞きます。10 人が人々を助けることに成功しましたが、実際には損失も発生しました。生存者の本を開始して終了します。

パート 5・数字以外の借金 — 余波に備えて戦いから休憩しましょう。リンユーは水について告白する。ニラークは過去を明らかにする。マリンはケアシステムを組織する責任を問題の原動力にしましょう。それは帳消しにできる休憩ではありません。

エピソード 6・階下からの声 — シラ門と迷宮につながるサシン文書 ヴァジュラウェイと閉ざされた扉の影響との出会い 扉を破壊するだけで十分なのかという疑問が生じます。

エピソード 7・所有者のいない水 — サブチームはタラケスに遭遇します。リニューは人間不信の理由を持つ人々と協力しなければなりません。目的地にいる人々に力が及ぼす影響と、1日では完了できない支援をご覧ください。

エピソード 8・10 の声が 1 つの部屋に — シラクラムは下層都市の現実と直面します。重要なのは、権力者が自らをチェックされることを許可しているということだ。それは単に多くの顔の力を示すだけではありません。ドア制御契約情報で終了します。

エピソード 9・シャドウがまだ覚えている人 — ラリンを救い、削除された情報を明らかにするというミッション。まだチームに加わっていないZhaoを発信者として追加することができます。実際の参加年より前に調整した場合は、タイムラインの状態を変更してはなりません。

第 10 話・名前が読めない街 — 形とレジスターのコントラストが具体的。チームはお墨付きの近道を手に入れたが、何人かを取り残さなければならなかった。受け入れなければならない意見の違いもあります。

エピソード 11・ホワイト ディール — ネラムを、システムによって人々や危害を受けている人々を助けてきた人物として紹介します。彼は、他の人が支払わなければならない代償を払って、会員に安全を提供します。同時に、資産に関連する宛先コードも見つかりました。

エピソード 12・本の新しいページ — 連合は、人々を助けるためにデータをオープンし、ネットワークを準備することを選択しました。戦闘では、コミュニティゲートの確保など、シーズン固有の目標を達成します。しかし、センタープロジェクトはまだ終わっていません。最後の画像は、新しい名前を記入できるスペースが残されたノートのページです。

この構造はストーリー性のある提案です。それはうまく撮影された脚本ではありません。最初のシーズンは、オリジナルの10人を核として維持し、接続点としていくつかの新しいメンバーを選択する必要があります。他のオリジンでは特別なエピソードまたは次のシーズンが使用されます。60名の聴衆が集まり、親睦を深める時間がなくなることはないように。

来シーズンと修正ルール

シーズン 2・カット パス — 森林、水路、劇場、工芸都市を通じて 19 年間のネットワークを拡大し、各ミッションでアライアンスの実際の仕組みを変えます。それは中央の溶接機に別個のものと思われる問題があるという証拠で終わります。

シーズン 3・The Invisible Register — サブチームにメンバーを加えながら、ゴーストタウン、冬、海、オアシスを経て 20 年目に入ります。すべての戦闘に全員が参加できるわけではないエピローグ後の影の動く家のテーブルとネラムの提案で終わります。

シーズン 4・夜明けの 7 日前 — 人々を避難させ、電力網を確保するという 3 つのミッションが連動します。各チームの成功には他のチームを助ける必要があり、簡単に修復できない損失もあります。最終話では社会の復興と行方不明者の真実が明らかになる。シンに対する答えは、今シーズンの制作が始まる前のメイン脚本版で決まっていた。

ゲームの指示に従ってキャラクターのアスペクト比を維持します。頭の高さは約3分の1です。しかし、誰もが同じ体の構造をしているわけではありません。四本足の動物、多頭の動物、浮遊体、補助器具を使用している人は、それぞれに適した重心、安静姿勢、武器の保持方法、非保持方法が必要です。

新しいパワーには、使用前の写真、使用中の結果の写真、使用後の継続的な結果が必要です。景色が変わったせいで療養は治らなかった。痕跡を感知できることと心を読むことは同じではありません。そして、場面がそれを要求するからといって、幻想が現実の物体になるべきではありません。

自分の信念をオチとして、または本質的に悪であるという性質の説明として使用しないでください。パターンの服や参考武器を使用する場合、制作前に撮影チームに出典を確認し、新たに編集した部分を別途記録してもらいます。物語の中の名前と登場人物の性格が物語を導くものでなければなりません。

すべてのエピソードには、具体的なニーズ、障害、代償を伴う選択が必要です。関係を変える結果 重要なスピーチは、支援行動の後に行われなければなりません。シーンを設定するために複数の引用符を使用しないでください。静かに食事をし、武器を修理し、誰かが話し終わるのを待っていると、感情が最高潮に達することがあります。

名前と綴り、入社年数、制限、長引く傷など、各人の継続性の記録を維持します。戻って会わなければならない人々と彼がすでに知っている情報 読者が原作から知っていることは、必ずしもチームのメンバー全員が同じ量を知っていることを意味するわけではありません。

バージョンと起源を記録する

ARUN RPG: 世界がまだ私たちの名前を呼んだ頃 — 60 人のファイターの第一章・ストーリー
ユニバース エディション 1.0・2026 年 10 月リリース

元のキャリア名とキャラクター画像 1 ~ 10 に関する情報は、ARUN RPG Web サイトのキャラクター ページを参照してください: <https://arunrpg.com/th/characters> コンセプト イメージ 11 ~ 60 とカバー アートは、この会話で作成された一連の画像からのものです。

人物名、歴史、共通ストーリー、物語世界における勢力 そして本編のアニメガイドはプロジェクトオーナーの開発検討のための新規創作オリジナルです。コンセプト イメージは、最初の方角性を設定することを目的としています。画像の一部の詳細は、ストーリーで指定された武器や用途と異なる場合があります。このバージョンのストーリーの基礎として、本の登場人物情

報を使用してください。

ゲームとプロジェクト: ARUN RPG • ウェブサイト: <https://arunrpg.com> • ウェブサイトに表示される開発者のクレジット: HUAMHUB AI の Khun Moo と Jonnonnoi チーム

付属のソース ファイルは個別の章にまとめられています。構造化された文字情報と画像照合テーブルを完備。コンテンツを簡単に選択して Web サイトのページを調整したり、適応させたりするために、この PDF を連続閲覧バージョンとして保存しておくこともできます。